

TOKYO TECH

プロフィール 2012-2013



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology



本館を望む



【シンボルマーク】

上のシンボルマークは、1948年に当時東京美術学校教授であった堀進二氏の図案によるもので、工業の「工」の字につばめの「大」の字を図案化して配しています。「工」の字は窓を象っており、学窓の意味をも象徴しています。当初は、職員バッジの図案として採用され、以後、シンボルマークとして広く親しまれて使用されてきました。1981年、本学の創立百年に当たり、正式に本学のシンボルマークとして定め、今日に至っています。正式に定めるに当たっては、手島精一先生のご令孫で当時東京藝術大学助教授であられた手島有男氏に図案作成の協力をいただきました。

東工大【略称】

日本語略称は「東工大」、英文表記上の略称は、「Tokyo Tech」が使われています。



【スクールカラー】

2004年春、それまで明文化されていなかった「スクールカラー」を定めました。この色は「ロイヤルブルー」とも呼ばれ、躍進と進化を象徴する色です。



春の図書館



秋のすずかけホール

学長に就任して

自覚と熱意を持って 挑戦し続ける大学へ

東京工業大学長 三島良直



平成 24 年 10 月 1 日付で学長に就任いたしました。本学の長期的目標である「世界最高の理工系総合大学の実現」を目指して、まずは本学が誇る世界最先端の研究を軸に、世界のトップクラスの大学に伍す教育の質を確保するとともに大学自体の国際化を実現していきたいと思っております。これにより、本学の教育ポリシーが謳う「時代を創るグローバル理工人」の育成と本学のさらなる発展のために、微力ながら全力を尽くす所存ですので何卒ご支援のほどお願い申し上げます。

21 世紀において、理工系大学が果たす役割は無限に広がっています。地球規模で課題となっているテーマは多くあります。「環境問題」「エネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「高齢化社会、医療・介護問題」等、挙げればキリがありません。これらの課題は、全て理工系大学の研究テーマであり、解決の道標をつけるのは私たちの役割です。そして、私たちが抱えている課題を解決し、「今はまだない新しい価値」を生み出すのも理工人の役割です。これらの研究の社会的意義やどのように私たちが貢献しているのか、また貢献していくのかを伝えていくことが大学人としての使命だと思います。

東京工業大学は、理工系で日本一の大学です。しかし、そこに甘んずることなく、「教育」「研究」も世界レベルを目指したいと思っています。世界中の優秀な学生が、「東工大で勉強したい」と留学に来る。そして、東工大の学生も世界に出ていく。そんな国際色豊かな大学になりたいと考えています。そのためには、多くの課題もあります。宿泊施設等のインフラの整備といったハード面や、日本の学生の「気概」や「英語力」を養成するといったソフト面まで多岐に渡ります。簡単に実現できることではありませんが、工夫をしながら、一つずつ課題をクリアし、「世界最高の理工系総合大学」を実現したいと考えています。

国際競争力の低下、高齢化社会、少子化傾向など我が国の将来への危惧に加えて、世界的にしばしば顕在化する金融不安や昨年の東

日本大震災等々に起因する社会不安に対応するために、社会は大学に将来世界を舞台に活躍する人材を育てることを積極的に求めるようになっていきます。このような要請を受けて、東京工業大学は世界最先端の研究成果やイノベーションの創出を軸にして質の高い魅力あふれる教育体制を構築し、グローバル化の中で世界的に存在感のある大学となることを目指します。東工大には、「ものづくり」や「探究心」を大事にするという理工系大学ならではの雰囲気を受けつがれてきました。学生には、この伝統の中で、専門分野での基礎学力をしっかりとし身に付け、これをベースにグローバル理工人としての能力を磨き続け、自分を高めてほしい。さらに、自分の専門分野周辺のことを知り、世界のことを知る。そういう視野の広い人になってほしいと思っています。そのためには、学内にとどまっているだけではなく、主体的に考え、動きながら、色々な経験を積んで欲しいと思っています。そのために、大学は、学生に様々な機会を提供していきます。

グローバル化が加速する中、世界を舞台に活躍するグローバル人材を育成するためにはどのような大学教育システムを構築すれば良いかが問われ続けています。こうした人材育成のために、文部科学省が公募した「大学の世界展開力強化事業」には、東京工業大学から 2 件採択されました。採択された事業は、中国清華大学と韓国科学技術院 (KAIST) との日中韓 3 大学間の研究重視型相互学生交流プログラムと、欧米等の理工系トップ大学 (MIT、UC Berkeley、CalTech、Imperial College 等 17 大学) との連携による理工系学生の交流プログラムです。東工大では、これまでも ASPIRE League (アジアの理工系 5 大学間コンソーシアム)、AOTULE (工学系によるアジア 10 大学との連携)、SERP (欧米 7 大学との連携) プログラムといった充実した留学プログラムが整備されています。本事業が、採択されたことで、本学の学生がより世界の一流大学を経験することができるようになりました。

世界的な理工系大学では、近年文系科目を積極的に教えるようになってきました。しかし、東京工業大学は、他の大学に先駆けて文系科目を大切にし、文系科目の充実を図ってきました。国籍、文化、宗教という垣根を越えて活躍する理工人となるためには、異なる価値観を互いに理解、尊重できなければいけません。そのために、学生には専門科目のみに偏らず、文系科目を学んでもらうことで、幅広い視野、許容力、異文化理解といった素養を身につけてほしいと思っています。素養と専門力を身につけて初めて、「時代を創るグローバル理工人」となれるのです。

このように、東京工業大学は、社会の要請に応え、専門だけでなく人間力も備えた理工人を育てるため、様々な取り組みを行っています。そして、「自覚」と「熱意」をもって「挑戦」し続ける大学として歩み続けます。



緑が丘1号館

CONTENTS

組織	2
財務	3
学部	5
大学院	6
研究所・施設・センター等	9
附属図書館・博物館・附属高等学校	5
職員・学生・研究員数等	6
入学・卒業状況等	1
研究プログラム	3
産学連携	6
教育プログラム	9
国際連携	2
キャンパスマップ	0
歴史	4
役員等紹介	9

組織

2012.10.5 現在

組織

運営組織

学長
三島 良直

監事
清水 康敬

監事
鈴木 基之

役員会

学長選考会議

経営協議会

教育研究評議会

部局長等会議

内部監査室

コンプライアンス室

危機管理室

理事・副学長
(企画・人事担当)
岡田 清

理事・副学長
(教育・国際担当)
丸山 俊夫

理事・副学長
(研究担当)
辰巳 敬

理事・副学長
(財務・広報担当)
大谷 清

副学長 (総務担当)
事務局長
山田 道夫

副学長 (人権担当)
塚本 まみ子

副学長
(教育運営担当)
水本 哲弥

副学長 (安全・
コンプライアンス担当)
植松 友彦

副学長 (特命担当)
丸山 剛司

企画立案組織

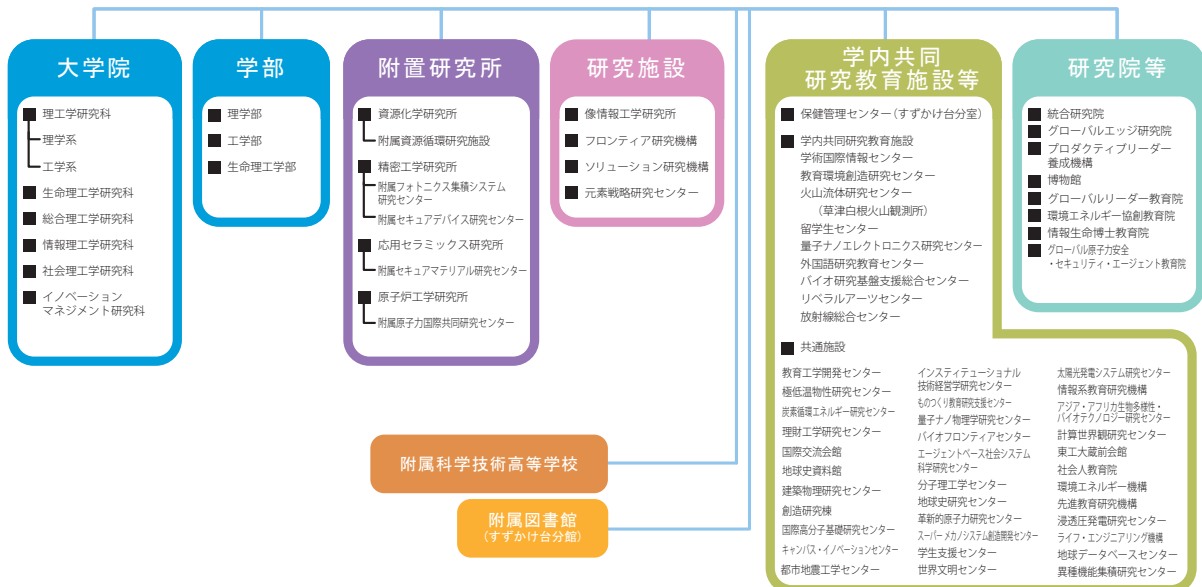
企画室	研究教育や管理運営などの企画・立案・連絡調整・情報収集
評価室	研究教育や管理運営などの自己点検及び評価に関する企画・立案及び実施、第三者評価等への対応
教育推進室	教育に関する理念・将来構想の提言 教育の効率的かつ円滑な推進
国際室	国際連携・国際教育に関わる戦略の策定・推進 国際水準の教育・研究環境の整備に対処
研究戦略室	研究戦略の企画・立案・調整・情報収集 研究の効果的かつ円滑な推進
産学連携推進本部	知的財産の創出・保護・管理・活用の推進 産業界との研究協力の推進
総合安全管理センター	総合安全管理に係る全学的事項の企画・立案・教育訓練など、 安全衛生管理の統括
財務管理室	財務戦略の策定・資産管理計画の取りまとめ 学内の予算及び決算の統括
情報基盤統括室	情報基盤等の整備に係る業務の統括 情報化に関する戦略の策定・推進及び実施
広報センター	学内外への広報活動
社会連携センター	社会連携活動の推進
大学マネジメントセンター	運営戦略に関わる事業の推進

特定業務企画組織

入試室
男女共同参画推進センター
創立130周年事業統括本部
総合プロジェクト支援センター
省エネルギー推進室
大学情報活用センター
アドミッションセンター

事務局	●監査事務局●総務部●財務部●国際部●学務部●研究推進部●施設運営部 ●すずかけ台地区事務局●大岡山第一事務局●大岡山第二事務局●田町地区事務局
技術部	●設計工学技術センター●精密工作技術センター●ナノ支援センター●半導体MEMSプロセス技術センター●情報基盤支援センター●遠隔技術支援センター●大岡山分析支援センター●すずかけ台分析支援センター●バイオ技術センター●共通教育支援センター

研究教育組織

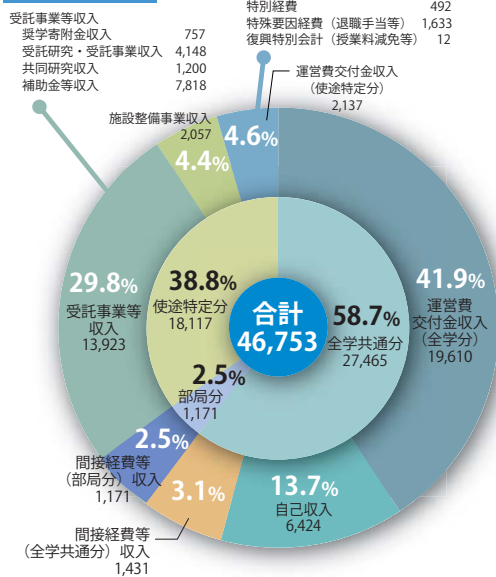


財務

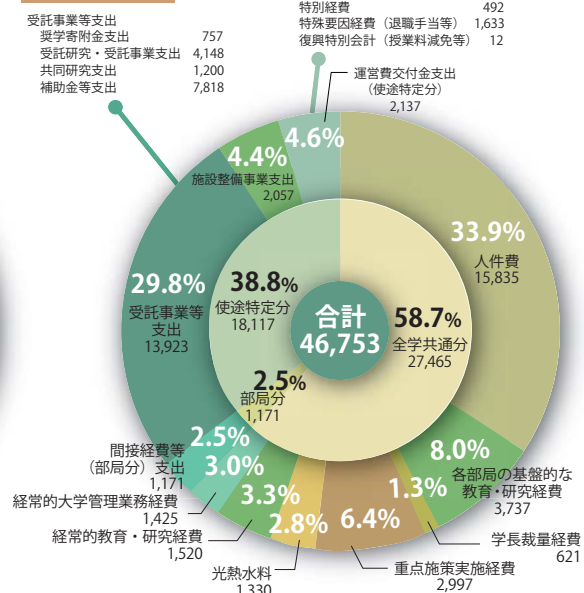
平成24年度収入と支出（見込）

（単位：百万円）

収入額内訳



支出額内訳



財務

貸借対照表

（単位：百万円）

（平成24年3月31日）

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	225,342	固定負債	25,860
有形固定資産	219,367	資産見返負債	24,566
土地	139,500	その他の固定負債	1,294
減損損失累計額	△ 74	流動負債	21,644
建物	79,589	運営費交付金債務	428
減価償却累計額	△ 23,956	寄附金債務	8,662
減損損失累計額	△ 55	前受金	13
構築物	4,800	預り科学研究費補助金等	884
減価償却累計額	△ 1,975	未払金	7,863
減損損失累計額	0	その他の流動負債	3,791
工具器具備品	43,943	負債合計	47,505
減価償却累計額	△ 30,583	純資産の部	
建設仮勘定	297	資本金	179,557
その他の有形固定資産	7,883	政府出資金	179,557
無形固定資産	487	資本剰余金	12,049
投資その他の資産	5,487	資本剰余金	38,646
投資有価証券	4,438	損益外減価償却累計額（－）	△ 26,470
その他の投資その他の資産	1,049	損益外減損損失累計額（－）	△ 126
流動資産	14,488	利益剰余金	698
現金及び預金	7,570	前中期目標期間繰越積立金	292
その他の流動資産	6,917	目的積立金	371
資産合計	239,830	積立金	13
		当期末処分利益	20
		その他有価証券評価差額金	19
		純資産合計	192,325
		負債・純資産合計	239,830

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

損益計算書

（単位：百万円）

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	金額
経常費用 (A)	41,990
業務費	39,515
教育経費	2,926
研究経費	7,157
教育研究支援経費	2,708
受託研究費	5,605
受託事業費	264
役員人件費	288
教員人件費	13,458
職員人件費	7,105
一般管理費	2,392
財務費用	48
雑損	34
経常収益 (B)	42,011
運営費交付金収益	21,440
学生納付金収益	4,074
受託研究等収益	6,721
受託事業等収益	276
寄附金収益	1,182
補助金等収益	2,469
施設費収益	140
その他の収益	5,705
臨時損益 (C)	—
目的積立金取崩額 (D)	—
当期総利益 (当期総損失) B-A+C+D	20

（記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。）

財務

外部資金の変遷

2012年5月1日現在
(単位:千円)

名称 年度	奨学寄附金		受託研究費		共同研究費		科学研究費補助金		合計金額
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	交付金額	
1993年度	1,244	1,553,966	90	292,233	21	132,952	622	2,278,270	4,257,421
1994年度	1,151	1,505,344	96	294,805	31	113,566	719	2,539,907	4,453,622
1995年度	1,165	1,514,461	110	934,342	32	81,506	860	3,429,317	5,959,626
1996年度	1,219	1,497,442	128	1,482,465	43	130,032	878	3,686,766	6,796,705
1997年度	1,153	1,373,547	179	1,980,309	61	313,719	883	3,922,595	7,590,170
1998年度	1,054	1,308,346	218	2,318,725	57	245,140	944	3,646,626	7,518,837
1999年度	1,058	1,073,273	216	2,715,194	81	369,526	943	3,892,840	8,050,833
2000年度	952	1,142,806	214	2,632,039	114	485,958	911	3,787,345	8,048,148
2001年度	916	1,002,015	175	1,416,838 (97,849)	149	551,852	901	4,219,317 (275,220)	7,190,022
2002年度	953	1,055,472	202	1,287,123 (61,264)	207	889,290	903	4,111,805 (355,830)	7,343,690
2003年度	929	1,040,681	238	2,519,600 (95,250)	264	863,578	885	4,387,534 (448,530)	8,811,393
2004年度	937	1,027,383	244	2,990,887 (215,869)	344	1,182,882 (174,146)	925	4,311,301 (422,517)	9,512,453
2005年度	856	1,067,970	260	3,837,512 (343,774)	423	1,309,985 (257,149)	926	4,646,263 (465,990)	10,861,730
2006年度	862	1,037,816	294	4,737,492 (484,671)	368	1,513,580 (317,323)	978	4,947,213 (625,438)	12,236,101
2007年度	869	982,818	309	5,478,090 (593,602)	447	1,787,062 (367,041)	973	5,023,916 (776,463)	13,271,886
2008年度	810	999,996	290	6,085,691 (724,971)	449	1,802,415 (377,330)	898	4,778,065 (838,992)	13,666,167
2009年度	653	934,860	310	5,390,329 (805,966)	416	1,458,526 (310,252)	927	4,914,463 (916,026)	12,698,178
2010年度	624	999,918	353	5,825,569 (814,374)	439	1,579,643 (323,503)	1,010	5,046,601 (1,066,431)	13,451,731
2011年度	609	1,035,906	352	5,326,505 (865,776)	477	1,530,202 (319,153)	1,005	5,001,808 (1,094,609)	12,894,421

(注) () 内は、間接経費で内数。

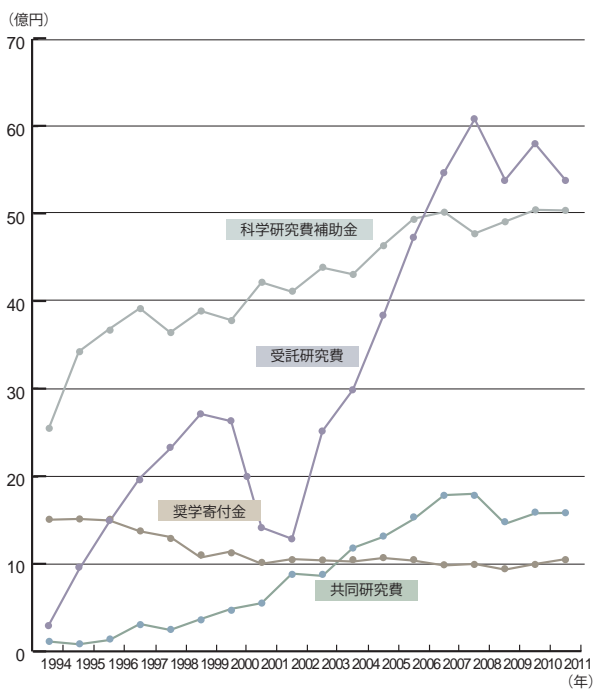
2011年度科学研究費助成事業

2012年5月1日現在

研究種目	件数	交付金額(千円)
特別推進研究	6	694,980 (160,380)
特定領域研究	13	107,300 (0)
新学術領域研究(研究領域提案型)	59	649,350 (149,850)
新学術領域研究(研究課題提案型)	2	12,870 (2,970)
基盤研究(S)	16	641,420 (148,020)
基盤研究(A)	75	837,850 (193,350)
基盤研究(B)	157	850,850 (196,350)
基盤研究(C)	148	226,337 (52,231)
挑戦的萌芽研究	91	170,560 (39,360)
若手研究(S)	4	60,060 (13,860)
若手研究(A)	31	207,874 (47,971)
若手研究(B)	177	293,150 (67,650)
研究活動スタート支援	15	23,517 (5,427)
学術創成研究費	1	74,490 (17,190)
特別研究員奨励費	210	151,200 (0)
合計	1,005	5,001,808 (1,094,609)

(注1) () 内は、間接経費で内数。
(注2) 翌年度への繰越額を含む。

外部資金の変遷



学部

理学部 (5学科・5学科目)

2012年5月1日現在

理学部は5学科からなり、本学のサイエンス教育の根幹を担い、それぞれの専門的知識と論理的思考力、問題解決能力を兼ね備えた、高度科学技術時代に求められる人材の育成を目的としています。

数学

<http://www.math.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 数学

物理学

<http://www.phys.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 物理学

化学

<http://www.chem.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 化学

情報科学

<http://www.is.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 情報科学

地球惑星科学

<http://www.geo.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 地球惑星科学

学部

工学部 (16学科・22学科目)

2012年5月1日現在

工学部は全学の23学科のうちの16学科が属し、第2類から第6類までに相当します。学部の学生数としては全学の70%が工学部であります。工学部の教育では、徹底した基礎学問の教育を行うとともに、各学科で創造性育成科目を設定し、基礎、アイデア、応用、もの作りを統合して、学生チームで問題発見から問題解決までを行うプロジェクトを通じた創造性・独創性の育成教育にも力を入れています。本学伝統の「くさび型教育」を基本として、卒業生に求められる「工学基幹学力」、「国際コミュニケーション力」、「リーダーシップ力」を入学から卒業までスパイラルアップ的に向上させる科目を新設するとともに、カリキュラムの構造化を図っています。

金属工学

<http://www.mtl.titech.ac.jp/metal-j.html>

■ 学科目: 金属工学

有機材料工学

<http://www.op.titech.ac.jp/op/index.html>

■ 学科目: 有機材料工学

無機材料工学

<http://www.ceram.titech.ac.jp/index.html>

■ 学科目: 無機材料工学

化学工学

<http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>

<http://www.apc.titech.ac.jp/apc-j.html>

■ 学科目: 化学工学 / 応用化学

高分子工学

<http://www.op.titech.ac.jp/polymer/index.htm>

■ 学科目: 高分子工学

機械科学

<http://www.mech.titech.ac.jp/homejp.html>

■ 学科目: 機械科学

機械知能システム学

<http://www.mep.titech.ac.jp/index.html>

■ 学科目: 機械知能システム学

機械宇宙学

<http://www.mes.titech.ac.jp/index-j.html>

■ 学科目: 機械宇宙学

制御システム工学

<http://www.ctrl.titech.ac.jp/home-j.html>

■ 学科目: 制御システム工学

経営システム工学

<http://www.me.titech.ac.jp/index-j.html>

■ 学科目: 管理技術 / 数理システム基礎

電気電子工学

<http://www.u.ee.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 電気電子工学 / 電子物理工学

情報工学

<http://www.cs.titech.ac.jp/csui/index-jap.html>

■ 学科目: 情報工学

土木・環境工学

http://www.cv.titech.ac.jp/index_j.htm

■ 学科目: 土木・環境工学

建築学

<http://www.arch.titech.ac.jp/>

■ 学科目: 建築学

社会学

<http://www.soc.titech.ac.jp/index.html>

■ 学科目: 都市計画・地域計画 / 景観デザイン / 公共政策 / 環境・経済システム

国際開発工学

<http://www.ide.titech.ac.jp/index-j.html>

■ 学科目: 国際開発工学

生命理工学部 (2学科・13学科目)

2012年5月1日現在

生命理工学部は、平成2年6月に、生命理工学の基礎教育を推進するため生命理学科、生体機構学科、生物工学科、生体分子工学科の4学科で創設され、平成11年度に生命科学科、生命工学科の2学科体制に再編されました。

生命理工学部の入学定員は150名で、高専・短大等からの編入定員は10名です。2年次までの教育は原則として大岡山キャンパス、3・4年次はすずかけ台キャンパスで行われますが、1・2年生にもすずかけ台キャンパスの教員・学生・院生と交流する機会が設けられています。

生命科学

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/gakubu/kagakuka.html>

■ 学科目: 生化学 / 細胞生物学 / 生体反応学 / 発生生物学 / 情報生体科学 / 生体物理化学 / 生物科学

生命工学

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/gakubu/kougakuka.html>

■ 学科目: 生物機能工学 / 生物化学工学 / 遺伝子工学 / 細胞工学 / 生体材料学 / 生体システム学



大学院

理工学研究科 (20専攻)

2012年5月1日現在

[]内は、寄附講座又は寄附研究部門 ©印は、客員教員を置く講座
 ☆印は、協力講座 ○印は、連携講座 △印は、連携教員を置く講座

【理学系】 理学系では、6専攻の教職員・学生がさまざまな新しい分野の研究に日夜励んでいます。研究の動機・推進力は、研究者個人の発見の喜びにあります。物事の根本から疑問を一つ一つ解きほぐして「自分の頭で論理的に思考する」事を学び取る人材を育てています。

それは、素数の成り立ち、量子コンピュータの原理、宇宙の究極構造、新しいナノ物質や分子の合成、地球史・生命の誕生のなぞまで、多岐に渡り、人類の追い求めてきた夢にあふれています。どの研究も分野の最前線で活躍する研究者による最先端の業績を挙げ、国際的にも高い評価を受けています。

【工学系】 工学系には15専攻があり、教員および大学院生の数で全学の30%を抱えています。大学院の工学系では、修士を中心とした体系的な教育に加えて、所属する研究室で最先端の研究テーマに取り組むこととなります。工学系では、アジアオセアニアトップリーグ (AOTULE)をはじめ、海外有力協定校との学生交換プログラムによりグローバルに通用する学生の育成を行っております。さらに、名古屋大学および大阪大学との三大学工学系人材交流プログラム等を通して、教員の育成にも努めています。

数学

<http://www.math.titech.ac.jp/>

講座名

代数幾何論/代数空間論/幾何学/位相数学/解析学/大域数学

兼任教員等の所属する専攻等名

数理・計算科学

基礎物理学

<http://www.phys.titech.ac.jp/>

講座名

基礎物理学理論/基礎物理学実験/境界領域基礎物理学/△先端領域基礎物理学/○原子核・素粒子実験/○少数系物理学理論

兼任教員等の所属する専攻等名

バイオ研究基盤支援総合センター

物性物理学

<http://www.phys.titech.ac.jp/>

講座名

量子物性物理学/統計固体物理学/応用物理学/分子物理学/量子基礎実験/新領域物性物理学/極低温物性物理学/○最先端物性物理学

兼任教員等の所属する専攻等名

材料物理科学/物理電子システム創造

化学

<http://www.chemistry.titech.ac.jp/>

講座名

分子凝縮系化学/分子化学/有機化学/地球環境化学/☆火山化学/○天然物合成化学/○界面物理化学/○ハイブリッド炭素化学

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学/火山流体研究センター

地球惑星科学

<http://www.geo.titech.ac.jp/>

講座名

地球惑星物理学/地球惑星進化化学/太陽系創世学/△宇宙探査学

兼任教員等の所属する専攻等名

火山流体研究センター

物質科学

<http://www.cms.titech.ac.jp/>

講座名

物質構造/物質変換/物質設計/物質機能/○光物理化学

兼任教員等の所属する専攻等名

化学/材料工学/応用化学

材料工学

<http://www.macs.titech.ac.jp/>

講座名

金属物理学/金属化学/材料設計工学/△無機機能材料/無機環境材料/複合材料

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学/原子核工学/物質科学創造/材料物理科学

有機・高分子物質

<http://www.op.titech.ac.jp/index.html>

講座名

高分子科学/ソフトマテリアル/有機材料工学

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学

応用化学

<http://www.apc.titech.ac.jp/apc-j.html>

講座名

分子機能設計/化学反応設計

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学

化学工学

<http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>

講座名

プロセス解析/プロセス設計/プロセス操作/☆情報解析

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学/化学/経営工学/化学環境学

機械物理工学

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

熱流体科学/ダイナミクス調和工学/機械システム学/創成工学/◎構造システム科学/△材料システム科学

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学

機械制御システム

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

知能工務学/材料機能システム学/エネルギー工学/動的システム学/計測制御学/システム制御/地球環境工学

機械宇宙システム

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

極限熱流体力学/構造設計学/○機械創造学

電気電子工学

<http://ee.titech.ac.jp/>

講座名

△自律システム工学/△電力エネルギー/通信伝送工学/☆光デバイス工学/○ナノバイオ磁気工学/【鉄道の技術イノベーションと標準化(UR東日本)】

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学/集積システム/電子物理学/物理電子システム創造/創造エネルギー/計算工学/人間行動システム/量子ナノエレクトロニクス研究センター

電子物理学

<http://pe.titech.ac.jp/>

講座名

△先端電子工学/電気電子物性/集積デバイス/☆量子デバイス物理

兼任教員等の所属する専攻等名

電気電子工学/材料物理科学/量子ナノエレクトロニクス研究センター

集積システム

<http://www.ss.titech.ac.jp/index-j.html>

講座名

△先端情報システム/高機能集積システム/情報通信システム/☆知的ネットワーク

兼任教員等の所属する専攻等名

電気電子工学/人間行動システム/技術経営/学術国際情報センター

土木工学

http://www.cv.titech.ac.jp/index_j.htm

講座名

◎社会基盤工学/広域環境工学/△国土計画工学

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学/人間環境システム/環境理工学創造/情報環境学

建築学

<http://www.arch.titech.ac.jp/>

講座名

建築基礎学/建築計画学/建築設計学/環境建築学/☆地域施設計画学

兼任教員等の所属する専攻等名

情報環境学/人間環境システム/教育環境創造研究センター

国際開発工学

<http://www.ide.titech.ac.jp/index-j.html>

講座名

△国際環境/開発基盤工学/開発産業システム/☆国際共存

兼任教員等の所属する専攻等名

電子物理学/土木工学/留学生センター/学術国際情報センター

原子核工学

<http://www.nr.titech.ac.jp/graduate/>

講座名

☆原子核エネルギー/☆原子燃料システム/☆システム・安全/△バックエンド工学/△革新炉工学/[国際原子力人材育成(日立GEニュークリアエナジー)]

兼任教員等の所属する専攻等名

化学工学/創造エネルギー/環境理工学創造/学術国際情報センター

共通講座

講座名

◎広域理学(理学研究流動機構)

<http://www.ircs.titech.ac.jp/index-j.php>

工学基礎科学

<http://www.fesp.titech.ac.jp/>

生命理工学研究科(5専攻)

2012年5月1日現在

☆印は、協力講座 ○印は、連携講座

大学院生命理工学研究科は、平成4年4月に、バイオサイエンス専攻、バイオテクノロジー専攻の2専攻で創設され、平成11年度及び平成12年度に研究主導型教育体制の確立を目指した改組を行い、分子生命科学専攻、生体システム専攻、生命情報専攻、生物プロセス専攻、生体分子機能工学専攻の5専攻に再編されました。

大学院生命理工学研究科の修士課程に約100名、博士後期課程に約40名が毎年入学し、バイオサイエンス・バイオテクノロジー、環境、農薬、化学製品等の最先端分野にチャレンジしています。

分子生命科学

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/ls/index.html>

講座名

バイオダイナミクス/バイオ構造化学/バイオ情報制御学/☆生命フロンティア/☆バイオ情報分子科学/○広域生命科学

生体システム

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/bs/index.html>

講座名

情報・形態形成学/進化・統御学/細胞・発生生物学/☆ゲノム機能解析

生命情報

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/bi/index.html>

講座名

生命情報医科学/高次生命情報/生命情報工学/☆生命情報科学/○広域生命情報

生物プロセス

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/b/index.html>

講座名

細胞・分子工学/生体分子プロセス/生物機能工学/☆細胞生物学

生体分子機能工学

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/be/index.html>

講座名

生体分子物性/生体材料設計/生体機能制御工学/☆生物計算化学/☆生物有機科学/○広域生体機能工学

大学院

総合理工学研究科(11専攻+複合創造領域)

2012年5月1日現在

※印は、大講座 ◎印は、客員教員を置く講座 △印は、連携教員を置く講座

大学院総合理工学研究科は学部を持たない大学院であり、従来の学問領域を超えた学際的で創造性豊かな教育研究に力を置いています。研究科には11の専攻があり、これらは物質・材料系、環境・エネルギー系、システム・情報系の3つに分類でき、その全てをつなぐものとして複合創造領域が設置されています。本研究科は、豊かで安全・安心な、持続可能な社会づくりのために求められる、新たな学際領域の開拓を目指した教育研究を国際的に展開しています。

物質科学創造

<http://www.iem.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△環境適応型物質

協力講座名

※超機能物質/※物質ダイナミクス

物質電子化学

<http://www.echem.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△分子変換/※△物質エネルギー変換

協力講座名

錯体電子化学/触媒電子化学/有機電子化学/生物電子化学/電子分光化学/固体物性化学

材料物理科学

<http://www.materia.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△材料構造機能/※△量子表面

協力講座名

超環境物質合成/低負荷物質合成/精密構造解析/電子活性物質/相乗機能物質/材料機能評価/材料構造設計/物質フロンティア

環境工学創造

<http://www.depe.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△自然環境/※△社会環境

協力講座名

環境エネルギー工学/環境材料工学/環境構造工学/環境安全工学/環境化学システム/環境国際協力

人間環境システム

<http://www.enveng.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△人間環境評価/※△人間都市計画/※△ニューフロンティア基礎

協力講座名

景観工学

創造エネルギー

<http://www.es.titech.ac.jp/index-j.html>

基幹講座名

※△エネルギー環境/※エネルギー変換システム/※△エネルギー創造

協力講座名

エネルギー環境システム/直接変換システム/超高輝度光工学

化学環境学

<http://www.chemenv.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△環境解析構築/※△環境プロセス化学

協力講座名

環境分子変換/化学プロセス計画/高分子プロセス/化学環境プロセス設計/環境調和分子設計/環境微生物工学/環境材料化学

物理電子システム創造

<http://www.ep.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△先端デバイス/※△新機能デバイス

協力講座名

イメージング材料/フロンティア物性デバイス/フォトリソシステムデバイス/知的電子システム/物質情報フロンティア/集積フォトニクス

メカノマイクロ工学

<http://www.pms.titech.ac.jp/Japanese/index.html>

基幹講座名

※機能創造

協力講座名

極限デバイス/先端メカトロニクス/先端メカ/材料/セキュアデバイス

知能システム科学

<http://www.dis.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△◎知能システム基礎/※△複雑システム解析/※△創発システム

協力講座名

知覚認識機構/脳情報伝達/神経情報演算

物理情報システム

<http://www.ip.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△未来型情報システム/※△新機能情報システム

協力講座名

知覚像処理/応用像情報/感覚情報システム/波動応用システム/生体情報システム/離散情報システム

複合創造領域

<http://www.igs.titech.ac.jp/iper/>

- 博士複合創造領域コース
- 教育研究コアグループ

大学院

情報理工学研究科 (3専攻)

2012年5月1日現在

◎印は、客員教員を置く講座 △印は、連携教員を置く講座

あらゆる分野において、産み出される情報および収集される情報の量が爆発的に肥大化しており、情報技術の活躍が期待される場面が増えています。情報理工学研究科では、自然科学の諸問題の解決に留まらず、社会における諸問題に対する取り組みにおいても、いかに情報科学が適用できるかを学びます。コンピュータ科学の基礎と統計からアーキテクチャデザイン・ソフトウェア開発・ユーザインタフェイスの発展までを基盤に、本研究科3専攻は共に、人間、コンピュータおよび社会の相互関係の更なる発展と調和を目指しています。

数理・計算科学

<http://www.is.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

◎計算機支援情報科学(計算機支援数理/ソフトウェア界面/数理情報科学)/数理科学(離散数理/非線形数理/統計数理/計画数理)/計算科学(ソフトウェア解析/ソフトウェア構成)/計算科学基礎/ソフトウェア科学基礎

■兼任教員等の所属する専攻等名

学術国際センター/社会工学

計算工学

<http://www.cs.titech.ac.jp/cs-home-j.html>

■大講座名(分野名)

情報統合システム学(ソフトウェア環境学/マルチメディア情報処理)/△計算組織学(超信頼性計算システム/大規模計算機システム/先端アーキテクチャ設計)/△先端計算工学/ソフトウェア機構学(ソフトウェア設計論/ソフトウェア論理学)/認知機構学(知識工学/推論機構/計算言語学/情報認識機構)/情報工学基礎/情報ネットワーク

■兼任教員等の所属する専攻等名

電気電子工学/情報環境学/学術国際情報センター

情報環境学

<http://www.mei.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

◎統合情報環境学(現象の情報化と意思決定/情報環境制御論/情報政策科学/情報環境社会)/人間環境情報学(人間環境情報/情報環境適応)/情報駆動システム(自律分散協調システム/情報環境センシング)/情報環境設計学(広域知識ベース/情報空間意匠論/知的情報基盤論)/情報環境基礎/△環境モニタリング・モデリング/沿岸環境学/△ロボット情報学

■兼任教員等の所属する専攻等名

機械制御システム/社会工学/学術国際情報センター

大学院

社会理工学研究科 (4専攻)

2012年5月1日現在

◎印は、客員教員を置く講座 △印は、連携教員を置く講座

情報技術、バイオテクノロジー、遺伝子技術などの先端技術の飛躍的な発展とともに、私たちは産業化の新たな段階を迎えつつあります。技術革新は私たち人類に新たな機会と可能性をもたらしてくれますが、一方で、地球環境の破壊や生命の尊厳の侵害などの諸問題も引き起こしています。これらの問題の解決には、科学技術と人間社会のインターフェースをうまく設計し運用することが肝要です。私たちは、このインターフェースに位置する文化や科学技術を対象とする学問領域を切り拓くため、「社会理工学研究科」を設立致しました。

人間行動システム

<http://www.hum.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

△人間開発科学(認知学習科学/教育システム開発/科学技術人材養成/教育評価)/行動システム(生体動態/身心相関/言語行為)/☆教育工学(学習メディア工学/先端学習システム)/◎科学技術教育推進

■兼任教員等の所属する専攻等名

数理・計算科学/計算工学/教育工学開発センター/留学生センター

価値システム

<http://www.valdes.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

価値論理(価値構造/表象機能/価値表象/言説編成)/社会数理(社会システム/社会計測)/△決定過程論(社会的選択/政経論理/政治決定)

■兼任教員等の所属する専攻等名

社会工学/外国語研究教育センター/学生支援センター/知能システム科学

経営工学

<http://www.me.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

開発・生産流通工学(技術開発戦略基盤/技術経営戦略工学/生産・人間相関/プロセス評価)/財務経営工学(経営計算)/経営数理・情報(経営数理工学/経営情報システム)/技術構造分析(技術発達動態分析/科学社会連関分析/科学技術方法)

■兼任教員等の所属する専攻等名

技術経営

社会工学

<http://www.soc.titech.ac.jp/>

■大講座名(分野名)

国土・都市計画(都市計画/国土デザイン)/△公共システムデザイン(公共政策/制度設計/公共空間/歴史空間/地球環境政策)/社会工学基礎(決定理論/応用経済/社会制度)

■兼任教員等の所属する専攻等名

情報環境学

イノベーションマネジメント研究科 (2専攻)

2012年5月1日現在

☆印は、協力講座

技術を創造し、知的資産として事業化・社会化するイノベーション創出サイクルのマネジメントに秀でた実践的人材と研究者を育成することを研究科の使命としています。

技術経営専攻は、グローバルな視野と高い倫理観を持ち、イノベーション創出のリーダーとして活躍できる能力を持つ人材の育成を行う専門職学位課程です。日本の高い技術力や日本の企業文化・マーケット文化に根ざした日本型MOTの教育を提供し、イノベーション創出サイクルのマネジメントに秀でた実践的人材とともに、知的財産マネジメントや金融工学の専門家の育成を行っています。

イノベーション専攻は、将来のMOT教育・研究を担い、MOTをリードする人材を育成する博士後期課程です。技術経営戦略、知的財産マネジメント、ファイナンス、情報・サービスイノベーションの各分野の研究を行うとともに、日本型MOTの体系化・理論化のための研究を行っています。

技術経営^{※1}

<http://www.mot.titech.ac.jp/>

■講座名(分野名)

技術経営戦略/知的財産マネジメント/ファイナンス/情報・サービスイノベーション/☆最先端技術

※1 専門職学位課程:修士

■兼任教員等の所属する専攻等名

経営工学

イノベーション^{※2}

<http://www.mot.titech.ac.jp/>

■講座名(分野名)

技術経営戦略/知的財産マネジメント/ファイナンス/情報・サービスイノベーション

※2 博士後期課程

■兼任教員等の所属する専攻等名

価値システム/経営工学

研究所・施設・センター等

統合研究院

2012年8月1日現在

<http://www.iri.titech.ac.jp/>

本研究院は、本学の多様な研究組織の統合的運用を図るため、平成22年4月に発足しました。資源化学研究所・精密工学研究所・応用セラミックス研究所・原子炉工学研究所・情報工学研究所の研究所群と、ソリューション研究機構及びフロンティア研究機構をその構成組織としています。院長には理事・副学長（研究担当）が就任、院長と各構成組織の長らからなる「統合研究院会議」において本研究院の基本的な運営方針を示し、その方針の下に各構成組織が運営されます。特に、ソリューション、フロンティアの両機構は組織的な連携研究の実施の枠組み（プラットフォーム）の機能を担い、研究プロジェクトを進めていきます。

本研究院は、文部科学省科学技術振興調整費の戦略的研究拠点育成プログラム（スーパーCOE）による東工大「統合研究院」（平成17～21年度）の成果を継承・発展し、本学の多様な学術基盤と連動して本学の総合力発揮のため活動していきます。

※印は、客員部門（ ）は、連携客員研究分野 ◎印は、客員教員を置く部門

資源化学研究所

<http://www.res.titech.ac.jp/>

資源に関する化学の学理および応用の研究を基本理念として、有機化学、無機化学、物理化学、生化学などの基礎化学の分野から、実用への展開には欠かせない触媒化学、高分子化学、材料化学、生化学など多様な応用化学、工業上必要な化学工学など、化学全般にわたる広い分野を対象に総合化学研究所として活発に活動しています。

13部門・1寄附研究部門

無機資源／新金属資源／有機資源／生物資源／触媒化学／高分子材料／合成化学／分光学／化学システム構築／プロセスシステム工学／無機機能化学／集積分子工学／◎スマート物質化学／エネルギー変換材料（凸版印刷）寄附研究

資源循環研究施設

<http://www.res.titech.ac.jp/~juncan/index-j.html>

地球資源の有効活用に関する基礎および応用研究を行うとともに、光合成微生物の利用などこれに資する研究を推進

精密工学研究所

<http://www.pi.titech.ac.jp>

精密機械研究所（昭和14年創設）と電気科学研究所（昭和21年創設）を統合して昭和29年に設立。情報・電気・機械・材料の多様な分野から構成され、精密と知能の融合を旗印に、各専門分野の確立と学際領域を含む新しい分野への展開により、社会への貢献を目指します。

5大部門・1客員部門

知能化学（知覚情報処理・認知機構／ヒューマンインターフェース）／極微デバイス（電子デバイス／光デバイス／波動応用デバイス）／精機デバイス（超微細加工／精密機素／集積マシン）／高機能化システム（制御システム／動的システム／知的システム）／先端材料（材料設計／極限材料／機能評価）／知的財産利用支援システム

フォトリソ集積システム研究センター

<http://vcsl-www.pi.titech.ac.jp/index-j.html>

大容量光通信システム、並列情報処理システムなど、超高速・大容量光電子を実現するための新しいデバイス、サブシステムの基礎研究を行っています。

セキュアデバイス研究センター

<http://www.cns.pi.titech.ac.jp/Secure/>

人間及び社会の安全安心を支援するデバイス・機器・システムの開拓を目指してハード、ソフト、システムの観点から研究を進めています。

元素戦略研究センター

平成24年8月に新しい材料科学分野の発展に資する研究を実施する組織として設置されました。本格的な異分野共同研究拠点「東工大元素戦略拠点（TIES）」の活動などを推進します。

ソリューション研究機構

<http://www.ssr.titech.ac.jp>

ソリューション研究機構では、東京工業大学の職員及び学外の研究者等が共同して、近い将来に実現すべき社会・産業課題を設定し学内外と広く連携して取り組む組織的研究（ソリューション研究）を行う。

研究センター

先進エネルギー国際研究センター / 社会情報流通基盤研究センター

プロジェクト

原子燃料サイクル／グリーンCEイニシアティブ／ニューロリハビリテーション／バイオマス必須化学資源化／グリーン環境 他

応用セラミックス研究所

<http://www.msl.titech.ac.jp/>

セラミックスを含む先端無機材料と建築構造物の材料・システムなどの基礎科学及び応用に関する研究と教育を行っています。本研究所以は、全国共同利用・共同研究拠点「先端無機材料共同研究拠点」に選ばれており、上記両分野の拠点として国内外の研究者と毎年多くの共同研究を行っています。

3大部門・3客員部門・1外国人客員部門・

3連携客員研究分野・2協力研究部門・1共同研究部門

◎セラミックス機能（超機能薄膜／ナノ機能開発／強相関機能／コンビナトリアルテクノロジー／固体強酸触媒）／◎セラミックス解析（熱解析／結晶構造解析／電子解析／超構造解析／物質ダイナミクス／極限材料）／◎材料融合システム（防災材料／複合構造材料／融合材料）／反応化学デザイン）／衝撃現象数値シミュレーション）／（免震制振構造学）

セキュアマテリアル研究センター

<http://www.msl.titech.ac.jp/~secure/index.html>

社会の安全・安心のために、壊れ方機能を制御した材料ならびに、資源セキュリティ解決につながる「元素戦略」テーマを中心に研究しています。

原子炉工学研究所

<http://www.nr.titech.ac.jp/>

3大部門・2連携客員研究分野

◎エネルギー工学（高密度エネルギー／高密度エネルギー／エネルギー変換／複合機能流体／エネルギー環境工学研究）◎物質工学（粒子線エネルギー／燃料サイクル／物質変換／物質分離／（地層処分工学））◎システム・安全工学（超高速エネルギー／エネルギー材料／システム安全／※システム構成／核燃料廃棄物処理工学）

原子力国際共同研究センター

原子力平和利用と核不拡散の両立を目指した科学技術に関する国際共同研究を進めています。

情報工学研究所

<http://www.isl.titech.ac.jp/>

5研究部門・寄附研究部門

情報記録／情報解析／情報システム／知的システム／応用画像／電子行政システム工学（NTTデータ）寄附研究

情報を正確に伝える作業とは、情報をどのような物理的形態（光、電荷、スピンなど）で定量化し、それを、人間に対して環境無依存でどのように再現するか、を研究することである。物理的形態となった情報を人間五感のパラメータ空間に投影したものが像化（可視化）した情報であり、我々はそれを学術上・産業上重要な研究テーマにより追究する。所属の研究領域は、物理、化学、電気電子工学、情報科学にまたがっている。

センター等
研究所・施設

研究所・施設・センター等

学内共同研究教育施設等

2012年5月1日現在

◎印は、客員教員を置く施設

保健管理センター

<http://www.gakumu.titech.ac.jp/gakuseisien/health/center/index.html>
 本学における保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の心身の健康の保持増進を図っています。

◎学術国際情報センター

<http://www.gsic.titech.ac.jp/>
 本学の学術研究及び情報教育を支援するため、スーパーコンピュータ、認証・認可システム、基幹ネットワーク等の情報基盤の整備及び包括契約によるソフトウェア提供を行うとともに、HPCIへの参加や学際大規模共同利用・共同研究拠点として学外への資源提供も行っていきます。また、これらの情報基盤を活用した国際共同研究および国際交流を推進していきます。

◎教育環境創造研究センター

<http://www.rcf.g4.titech.ac.jp/center/index.htm>
 学校施設をはじめとする教育・学術・スポーツ・文化施設について、社会の進展に寄与する機能的、効果的な利用を図るための総合的な施設計画に関する研究開発を行っています。

火山流体研究センター

<http://www.ksvio.titech.ac.jp/jpn/index.html>
 草津白根山をはじめとする全国の活動的火山において、化学的及び物理学的方法で総合的な火山学の研究を行っています。また、観測調査ならびに研究等の実習の場として学生に利用されています。

留学生センター

<http://www.ryu.titech.ac.jp/>
 留学生に対する日本語と日本事情教育、相談業務、更に本学からの海外への留学の促進と支援を主な任務としています。実際の教育や指導だけでなく、それらがより有効で意味のあるものとなるように、調査研究にも力を入れています。

◎量子ナノエレクトロニクス研究センター

<http://www.pe.titech.ac.jp/qnecr/jp/index-j.shtml>
 ナノメートル構造で生じる量子効果による光・電子デバイスの飛躍的性能向上、新機能発現、そのための結晶成長・加工・デバイス集積化法を研究しています。

外国語研究教育センター

<http://www.flc.titech.ac.jp/>
 言語一般及び個別言語について基礎理論研究及び応用研究を行い、言語コミュニケーション理論の発展及び異文化理解の深化を目指すとともに、本学における新しい言語教育システムの確立を図っています。

◎バイオ研究基盤支援総合センター

<http://www.grc.bio.titech.ac.jp/>
 最先端の生命科学の推進と支援のため、研究部門と基盤部門から構成されています。研究部門では蛋白質情報解析、ゲノム情報解析及びRNA情報解析の研究が行われています。基盤部門は、生物実験分野、遺伝子実験分野から構成され、実験動物の飼育・管理、遺伝子実験の教育・研究支援を行っています。

リベラルアーツセンター

<http://www.liberal.titech.ac.jp/>
 本学全学科目における文系科目の一層の充実を図るとともに、文系分野のリベラルアーツ教育を推進するためにリベラルアーツセンターを設置しました。センター教員にはその時代を代表する知性を持ち、その講義や演習が学生に深い感銘を与えることができる人材を広く採用します。

放射線総合センター

<http://www.ric.titech.ac.jp/>
 学内の放射性同位元素、放射線発生装置及び表示認証機器を利用する者の教育研究を支援するとともに、安全管理、教育訓練の実施等全学の放射線安全管理の中心的役割を担っています。

グローバルエッジ研究院

2011年5月1日現在

<http://www.global-edge.titech.ac.jp/>

本研究院では、世界レベルの活躍が見込まれる優秀な若手研究者を国内外より発掘・採用し、自立した研究の促進、分野を越えた研究交流の場の形成を目指しています。その実現に向け本学初のデューア・トラック制度、メンター制度を導入し、全学的な人材システム改革を促進しています。本研究院にデューア・トラック助教として採用された若手研究者は、約5年間の任期において、独立した研究スペースとスタートアップ資金を足がかりとして、メンターの指導を仰ぎながら世界最高水準の研究を進めていきます。英語使用を原則とし、国際性も培っていきます。任期満了前に行うデューア審査に合格した場合には、本学の准教授もしくは教授への道が開かれます。

世界文明センター

2011年5月1日現在

<http://www.cswc.titech.ac.jp/>

科学を人類の幸せに、確実に結びつけるにはなにが必要か。これまでさまざまな文明を支えてきた先人の叡知に学ぶこと、そして人間性を奥底まで洞察することです。その探究のため、2006年に設置されたのがこのセンターです。世界文明センターは、人文学院、芸術学院の2部門を擁します。人文学院は、人類文明の精髓をなす価値観や思想の成り立ちを、講義、講座、研究会などあらゆる機会を通じて、学生、教職員、市民が共有します。芸術学院は、多彩な創造活動を通じて、文化の基盤である感受性と想像力をふくらませます。これらを踏まえこのセンターは、もう一步先の未来を見据えて現代文明が進むべき方向を指し示し、広く内外に提言を行なっていくことを任務とします。

プロダクティブリーダー養成機構

2012年5月1日現在

<http://www.productiveleader.jim.titech.ac.jp/>

若手研究者(博士課程学生及び博士学位取得後5年以内のポスドク)を対象に、産業界で活躍できる研究者の養成と多様なキャリアパス創出のための様々なプログラムを実施しています。以下のプログラムを通じて、「専門分野の領域だけでなく国際的で幅広い視野、柔軟な課題設定能力、研究シーズの事業化へ向けた価値創造能力、自己の考えを的確に相手に伝える能力、チームとして研究開発にあたる協調性」を身につけ、活躍の場を広げることを支援しています。「On-Campus Training(講義と公開講座)」:学内外の専門家を講師に招き、研究シーズの事業化、海外企業の研究取り組み実態あるいは専門性に異分野を付加した事業などを学ぶ講義/「フュージョンプロジェクト」:企業関係者を招いて行う受講生によるプレゼンテーションとディスカッション/「イノベーションツアー」:PLIP連携企業へ受講生が訪問し、若手研究者と懇談/「価値創造インターンシップ」:最大の特徴となる3ヶ月以上にわたる長期インターンシップ

社会人教育院

2012年5月1日現在

<http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/>

社会人教育院は、本学が社会との関わりを積極的に探求し、科学と技術に基づく政策提言機能を強化するとともに、地域貢献・連携を進めるという観点から、特色ある社会人教育を拡充することを目的としています。そのためのプログラムは、東工大が得意としてきた「高度先端技術の追求」のみならず、産業界が求める新たな高度技術や知識の広がりが必要とする人々に、技術系の継続教育プログラムを提供します。



男女共同参画推進センター 2012年5月1日現在

<http://www.gec.jim.titech.ac.jp/>

男女共同参画推進センターは、研究教育の現場で、男性女性が互いに人格を尊重し、それぞれの能力を十分に発揮できるよう、男女共同参画の推進をミッションとしています。本学の「男女共同参画ポリシー」及び「男女共同参画を推進するための基本指針」に基づき、「男女共同参画推進行動計画」を策定して、全教職員・学生向けのベビースITTER派遣支援、出産・育児・介護中の教員に対する研究・教育等支援アシスタントや非常勤講師の雇用支援などを実施して、ワークライフバランスを保ちつつ仕事・学業に取り組めるよう、支援体制や環境の整備を進めています。また、多彩性のあるファカルティーこそ良い研究・教育の源と考え、女性研究者のための公募情報提供や女子高校生の理工系進学支援などにも、積極的に取り組んでいます。

技術部 2012年5月1日現在

<http://www.tsd.titech.ac.jp/>

技術部は、研究教育の高度化に伴い、本学における研究教育支援業務が高度化・専門化してきている状況に鑑み、本学技術職員を全学的に集約し、高い能力を持つ技術職員を養成・確保することにより、技術に関する専門的業務を円滑かつ効率的に対処します。現在、10の技術支援センターで構成されており、本学の発展に寄与しています。

総合プロジェクト支援センター 2012年4月1日現在

<http://www.rps.titech.ac.jp/index.html>

本学の研究理念、研究戦略に基づくプロジェクトの推進・運営を組織的にマネジメントする全学的組織として設置されました。研究支援に専念するプロジェクトマネージャーや研究のマネジメント支援や資金提供機関との連携を担当する特任教員が研究推進部のスタッフと協働して、プロジェクトの構想立案、資金獲得、実施、運営、評価、成果の展開、社会連携、広報戦略等の研究支援を行います。ニーズに応じた研究支援の相談窓口として「研究支援リクエスト」を開発しています。センター内の研究支援管理室はプロジェクト管理事務を集約的に扱い、同室の「研究支援窓口」では研究支援事務に関する各種問合せに応じています。

省エネルギー推進室 2012年5月1日現在

<http://www.sisetu.titech.ac.jp/news/syouene/ene.html>

省エネルギーに対する意識向上並びに職員及び学生が協同した省エネルギーを図るため省エネルギー推進室を設置しました。省エネルギー推進室は、省エネルギーに関する諸施策の企画、立案及び実施並びに連絡調整及び情報収集等を行うことにより、最大限の省エネルギーを実現します。

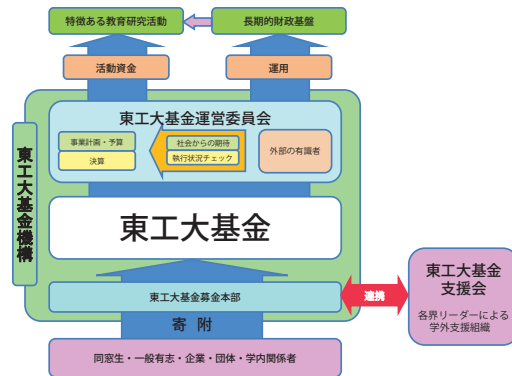
センター等
研究所・施設

東京工業大学基金（東工大基金）

東工大基金は、「世界最高の理工系総合大学の実現」を目指し、「教育・研究・貢献」という3つの核となるテーマにおいて、ふさわしい目標を達成する大学運営の財政基盤強化のために、創立130周年を契機に、2008年12月に創設されたものです。

将来構想に基づき、いわゆる基金として長期的財政基盤を強化するほか、一部を活動資金として臨機応変に東工大の特長ある事業投資に充当します。

基金の管理と運営については、東工大基金機構が、その責務につきます。基金機構は、卒業生を中心的なメンバーとして設立いただいた支援組織である「東工大基金支援会」の協力の下で東工大基金への募金活動を行う「東工大基金募金本部」と、東工大基金の用途決定を行うための「東工大基金運営委員会」で構成されています。東工大基金運営委員会においては、構成員に外部の有識者を含むことにより、計画段階から社会からの期待・要請を反映させるとともに、執行状況について適時チェックを行い、結果を公表するなど透明性の高い運営管理を実施しています。



かがくでつながる人と街
～清水窪小学校と東工大のとらけみ～



ホームカミング日の開催

研究所・施設・センター等

合同棟(J2棟)・産学共同研究棟(J3棟)

J2・J3棟は、各分野における最高水準の研究実験及び研究開発等が行われる総合研究棟です。新築されたJ3棟は、J2棟と一体型の免震構造を有し、緊急シャワーやユニバーサルデザイン等、安全で安心な研究教育環境が整っています。新たな取組として産業界とコラボレートし、研究プロジェクトを行う「東京工業大学J3レンタルラボ」を設置しており、新たな研究の成果がすずかけ台キャンパスから広く世界へ発信されていくことが期待されます。



グリーンヒルズ1号館(環境エネルギーイノベーション棟)

グリーンヒルズ1号館は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を約60%以上削減し、棟内で消費する電力をほぼ自給自足できるエネルギーシステムをもつビルとして設計された、世界でも類をみない研究棟です。北面以外すべての壁面に高密度に設置した太陽電池パネルによる発電(再生可能エネルギー)と、不足分を補うための燃料電池(化石エネルギー)を組み合わせた複合型の高効率分散型発電システムを導入し、かつ、高効率な設備の導入とその効率的運用による省エネルギー化を徹底することで電力の自給自足を実現します。

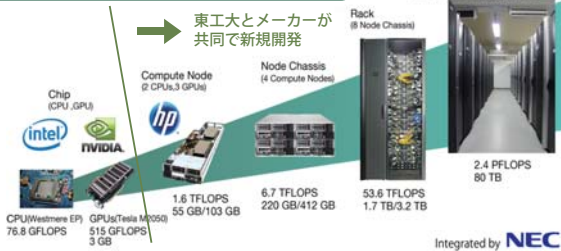


センター等
研究所・施設

TSUBAME1.0から2.0へ発展

TSUBAME2.0：我が国初・最速のペタフロップススパコン

東工大の数々の基礎研究に基づいた種々の実装技術の適用
 - 200m²以下の設置面積 → 低コスト・高信頼
 - Green 500 運用スパコンとして世界一、Top500 世界 5 位
 - 多くの画期的科学的成果が既に



160 テラフロップス
(TSUBAME1.2)

→
2,400 テラフロップス
(TSUBAME2.0)

- 17,664CPU + 4,224GPU
- 80 テラバイトメモリ
- 7 ペタバイト HDD
- ラック数 81
- 床面積約 335m²
- 最大消費電力 1.4MW
- 重量約 72 トン



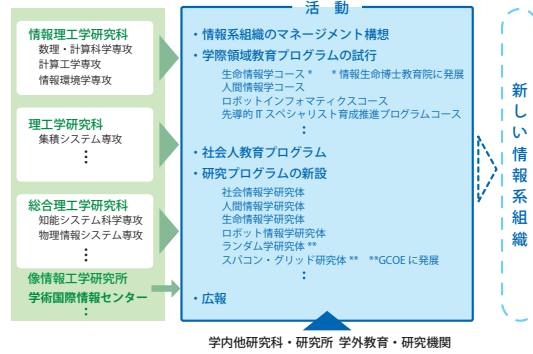
大気モデル計算例

2011年11月 TSUBAME 2.0
 TOP500 第5位 Green500 運用スパコン世界一 達成

情報系教育研究機構

東工大の情報関連組織の協力のもとで、組織と教員の横断的な連携により、情報学の先端的・複合的な研究課題等を解決し、これを反映した教育を推進します。

東工大 情報系組織



センター等
研究所・施設

環境エネルギー機構

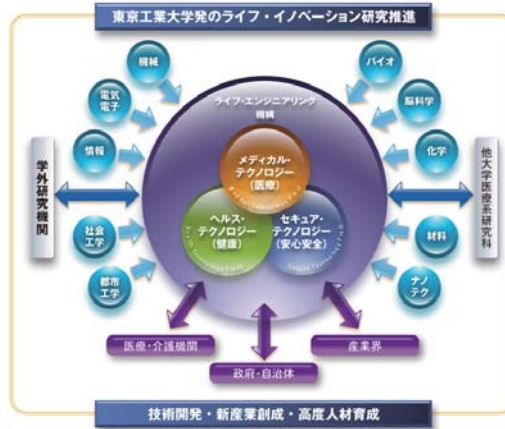
全学横断組織「環境エネルギー機構」には、環境・エネルギー分野の教員230名余が参画しています。組織及び教員の連携・協力により、萌芽的な革新技術を創出するとともに、分化と深化によって複雑化した環境・エネルギー関連技術を融合、再構造化し、俯瞰と知識の有効活用を可能にする新たな学問領域を開拓することによって、将来の環境・エネルギー問題解決に寄与する技術開発と人材育成を強力に推進します。



ライフ・エンジニアリング機構

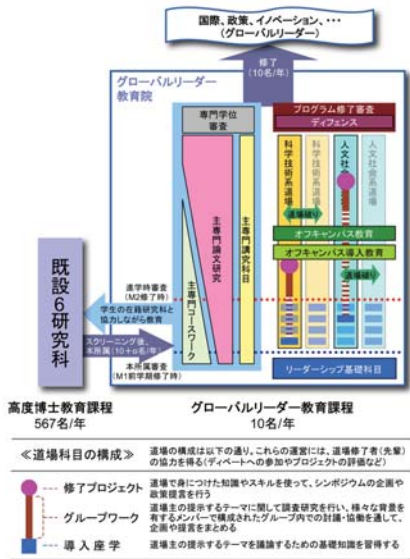
2012年7月1日現在

ライフ・エンジニアリング機構にはメディカル・テクノロジー、ヘルス・テクノロジー、セキュア・テクノロジーの3つの研究領域を設定し、本学のあらゆる分野の教員への参加を要請し、人材が結集しました。このような体制のもと、教員間の情報ネットワークの構築と新たな融合研究開発に取り組む際の研究者プラットフォームの形成、学内外における、ライフ・イノベーションに関わる研究開発の情報交換や動向把握のためのサロン、ワークショップ、シンポジウムなどの企画と実施、医療系機関や学外研究機関との連携強化による共同研究の推進、産学フォーラムや地域技術セミナーなどを頻繁に実施することにより、ライフ・イノベーションに関する横断的な教育プログラムなどを設定し、様々な研究開発に対応でき、かつ少子高齢化社会に必要なイノベーションを先導することが出来る人材育成を推進します。



グローバルリーダー教育院

既設の研究科を横断した修士・博士一貫型の教育体系によって、グローバル社会を牽引するリーダー人材を育成します。東工大ならではの高度な専門分野の教育に加え、さまざまな専門性を持った学生が異分野を理解しつつ切磋琢磨する「道場」を設けて、俯瞰力、国際性、行動力などのリーダー人材に求められる能力を養成します。



センター等
研究所・施設

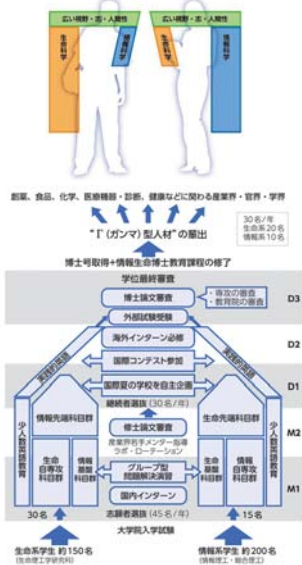
環境エネルギー協創教育院

環境・エネルギー両分野において高度な専門性を有し、時空間的にその形態を変えていく問題を複眼的視点から判断できる俯瞰力、的確かつ迅速な自立的課題抽出・解決力、及び国際的リーダーシップ力を兼ね備え、イノベーションを牽引できる2S(安全性、持続性)×3E(エネルギー、経済、環境)時代を担う人材を養成します。



情報生命博士教育院

生命科学と情報科学の複合領域でグローバルに活躍するリーダー人材を、修士・博士一貫(5ヶ年)の「情報生命博士教育課程」を通じて養成します。主分野の深い専門性を確保した上で、第二の分野の知識と柔軟なコミュニケーション能力を獲得させ、複合領域でリーダーシップを発揮する「r(ガンマ)型人材」として輩出します。



グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院

「人類の生存基盤を脅かす核拡散、核テロ、大規模な原子力災害や緊急被ばく問題等のグローバルな原子力危機の分野(原子力安全・セキュリティ分野)」において、高い国際交渉能力を有し、国内外の原子力関連の産官学界で国際的リーダーとして活躍する人材「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント」養成します。



附属図書館・博物館・附属高等学校

附属図書館

2012年4月1日現在

<http://www.libra.titech.ac.jp/>

附属図書館では、理工系外国雑誌を中心とした専門性の高い蔵書を整備して、学内外の利用に供しています。電子図書館にも取り組んでおり、インターネットを介して電子ジャーナルをはじめとして、豊富なサービスを提供しています。2007年からは機関リポジトリとして「Tokyo Tech Research Repository (T2R2)」を運用し、学内における研究成果を広く公開しています。2011年7月に新しい図書館が全面開館しました。

蔵書数 (2012年4月1日現在)

図書	本館(大岡山地区)	分館(すずかけ台地区)	計
和書	294,314冊	45,558冊	339,872冊
洋書	360,983冊	100,490冊	461,473冊
計	655,297冊	146,048冊	801,345冊

雑誌	本館(大岡山地区)	分館(すずかけ台地区)	計
和書	2,674種類	696種類	3,370種類
洋書	11,393種類	2,005種類	13,398種類
計	14,067種類	2,701種類	16,768種類

電子ジャーナル(本学契約分) 11,532 種類



2011年度利用状況

	本館(大岡山地区)	分館(すずかけ台地区)	計
入館者数	213,018人	52,191人	265,209人
館外貸出	69,188冊	20,776冊	89,964冊

附属図書館・博物館
附属高等学校

博物館

2012年7月1日現在

<http://www.cent.titech.ac.jp/>

東工大博物館では、本学創設以来130余年の科学・技術における教育や研究の歴史的な成果や記録、すなわち「東工大の産物」ともいえる資料を収集・保存し、その価値の調査と伝承・活用方法の検討を行い、展示・発信が行われています。東工大のアイデンティティを育み、教育に資するとともに、社会に向けて広く東工大を表現する拠点とすることを目的に2011年博物館組織は設立されました。大岡山の百年記念館、すずかけ台のフロンティア創造共同研究センター棟1階展示室が中核的な展示施設として、公開されています。

<公開中の展示室>

大岡山/地階特別展示室A・B、2階展示室(東工大の沿革、電気～光/通信研究、地球史、百年記念館の紹介)
すずかけ台/新技術コーナー



附属科学技術高等学校

2012年5月1日現在

<http://www.hst.titech.ac.jp/>

東京工業大学附属科学技術高等学校は、スーパーサイエンスハイスクール指定校として研究・開発した教育システムを定着させ、科学技術を志向する全人的教育を目指します。また、本学と一体となった理工学教育のあり方を求め、その一環として本学入学者に特別枠を設け、別途の選抜による受験も可能としています。



生徒数

学科名	入学定員	1学年		2学年		3学年		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	計
科学・技術科	200	156	40					156	40	196
材料科学・環境科学・バイオ技術分野				28	13	31	9	59	22	81
情報・コンピュータサイエンス分野				37	3	39	1	76	4	80
システムデザイン・ロボット分野				37	4	38	3	75	7	82
エレクトロニクス・エネルギー・通信分野				38	3	33	7	71	10	81
立体造形・デジタルデザイン分野				27	9	27	9	54	18	72
計	200	156	40	167	32	168	29	491	101	592

(注)本科の入学生は科学・技術科で受け入れ、2学年から5分野に所属します。

職員・学生・研究員数等

職員数 部局別職員数

2012年5月1日現在

区分	役員等				教員								その他の職員				合計	
	学長	理事副学長	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	教務職員	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務職員	技術職員	その他		小計
学長・理事副学長・監事	1	4	2	7														7
大学院理工学研究科(理学)					50	39		61	2				152					152
大学院理工学研究科(工学)					109	103		110	1				323					323
大学院生命理工学研究科					27	17	4	37	2				87					87
大学院総合理工学研究科					48	41	6	36	2				133					133
大学院情報理工学研究科					23	25	3	18					69					69
大学院社会理工学研究科					29	23		23					75					75
大学院イノベーションマネジメント研究科					9	4		1					14					14
資源化学研究所					8	11	2	19					40					40
精密工学研究所					14	13		18					45					45
応用セラミックス研究所					11	13		10					34					34
原子炉工学研究所					10	9		12					31					31
像情報工学研究所					6	3		3					12					12
フロンティア研究機構					4								4					4
ソリューション研究機構					4	1							5					5
学内共同教育研究施設					33	26	3	11	1				74			4	4	78
附属科学技術高等学校											43	6	49					49
事務局													474			2	476	476
技術部														88			88	88
合計	1	4	2	7	385	328	18	359	8	43	6	1147	474	88	6	568	1722	

※外国人教師1名は外国語センターの講師として算入
 ※特定有期雇用教授5名は教授として算入
 ※監事1名、副学長2名は非常勤

非常勤職員数

2011年5月1日現在

	左の内数	特命教授		特任教授		特任准教授		特任講師		特任助教		連携教授		連携准教授		客員教授		客員准教授		その他
		計		計		計		計		計		計		計		計				
副学長	1	→																		1
教員	223	→	8	8	95	46	4	49	194								1	1		20
研究員	275	→			9	5		23	37											238
講師	205	→										104	42	146	43	8	51			8
教育研究支援員	48																			48
事務員	258																			258
技術員	87																			87
研究支援推進員	21																			21
補佐員	520	→																		520
総計	1,638	計	8	8	104	51	4	72	231	104	42	146	43	9	52					1,201

※外国人教師は1名常勤の講師へ

研究員数

2011年度受入延人数

部局名	受託研究員	民間等 共同研究員	私学 研修員等	プロジェクト 研究員	日本学術振興会特別研究員				合計
					PD	DC2	DC1	計	
理工学研究科(理学系)		5			18	20	13	51	56
理工学研究科(工学系)	20	21			12	13	23	48	89
生命理工学研究科	1				5	7	5	17	18
総合理工学研究科	1	14			10	15	24	49	64
情報理工学研究科		6			3	4	5	12	18
社会理工学研究科			2		5	2	2	9	11
イノベーションマネジメント研究科								0	0
資源化学研究所	1	13			2			2	16
精密工学研究所	1	4			3			3	8
応用セラミックス研究所	1	1			1			1	3
原子炉工学研究所		2						0	2
像情報工学研究所					1			1	1
フロンティア研究機構	3	9			1			1	13
ソリューション研究機構		3						0	3
学術国際情報センター					1			1	1
バイオ研究基盤支援総合センター								0	0
量子ナノエレクトロニクス研究センター								0	0
ナノファイバー先端研究戦略推進体								0	0
イノベーション研究推進体	2	2						0	4
計	30	80	2	0	62	61	72	195	307

(注)日本学術振興会特別研究員は、指導教員の所属部局による。また、新規採用及び継続を含む。

研究員数等
職員・学生・
計

客員研究員

2011年度受入延人数

(受入別)

部局名	人数
大学院理工学研究科(理系)	10
大学院理工学研究科(工系)	33
大学院生命理工学研究科	3
大学院総合理工学研究科	39
大学院情報理工学研究科	13
大学院社会理工学研究科	9
資源化学研究所	3
応用セラミックス研究所	3
原子炉工学研究所	9
像情報工学研究所	1
フロンティア研究機構	12
教育工学開発センター	1
計	136

(国別・地域別)

国又は地域	人数	国又は地域	人数	国又は地域	人数	国又は地域	人数
中華人民共和国	26	アメリカ合衆国	6	ポルトガル共和国	1		
大韓民国	13	カナダ	3	オランダ王国	1		
インド	12	メキシコ合衆国	1	カザフスタン共和国	1		
タイ王国	8	アルゼンチン共和国	1	アイルランド	1		
インドネシア共和国	6	ペルー共和国	1	スロバキア共和国	1		
ベトナム社会主義共和国	3	ドイツ連邦共和国	6	ノルウェー王国	1		
シンガポール共和国	3	英国	3	オーストラリア連邦	1		
日本	2	イタリア共和国	3	トルコ共和国	2		
ミャンマー連邦共和国	2	チェコ共和国	3	イラン・イスラム共和国	1		
カンボジア王国	2	デンマーク王国	3	合計(42カ国)	136		
フィリピン共和国	1	ロシア連邦	3				
バングラデシュ人民共和国	1	スペイン	2				
モンゴル国	1	フランス共和国	2				
ネパール連邦民主共和国	1	フィンランド共和国	2				
ラオス人民民主共和国	1	ギリシャ共和国	2				
パキスタン・イスラム共和国	1	ブルガリア共和国	1				
		ウズベキスタン共和国	1				

職員・学生・研究員数等

学部学生数

2012年5月1日現在

学部(1年次)	学部	学 科	入学定員	在 学 生 数								合 計		
				1年次		2年次		3年次		4年次			計	
				男	女	男	女	男	女	男	女		男	女
1類	理 学 部	計	185	195(3)	14(1)	175(3)	17(0)	183(6)	15(2)	247(3)	29(2)	800(15)	75(5)	875(20)
		数 学	25			27(1)	0(0)	25(1)	3(1)	44(1)	3(0)	96(3)	6(1)	102(4)
		物理 学	54			56(1)	6(0)	62(2)	3(0)	70(2)	6(1)	188(5)	15(1)	203(6)
		化 学	37			35(1)	8(0)	28(1)	5(1)	42(0)	8(0)	105(2)	21(1)	126(3)
		情報科学	34			33(0)	1(0)	40(2)	1(0)	46(0)	3(1)	119(2)	5(1)	124(3)
		地球惑星科学	35			24(0)	2(0)	28(0)	3(0)	45(0)	9(0)	97(0)	14(0)	111(0)
		1年次		195(3)	14(1)						195(3)	14(1)	209(4)	
2・5・6類	工 学 部	計	733	711(24)	78(4)	683(28)	83(6)	697(26)	86(12)	873(46)	77(14)	2,964(124)	324(36)	3,288(160)
		金属工学	33	81 ²	12 ²	34(1)	7(0)	32(2)	6(1)	35(0)	1(0)	101(3)	14(1)	115(4)
		有機材料工学	20			21(1)	1(0)	22(0)	2(0)	23(2)	4(1)	66(3)	7(1)	73(4)
		無機材料工学	30			25(0)	4(0)	33(0)	4(0)	36(0)	2(0)	94(0)	10(0)	104(0)
		化学工学	70	99 ³	18 ³	66(5)	9(0)	63(1)	15(5)	82(2)	9(0)	211(8)	33(5)	244(13)
		高分子工学	30			31(0)	5(0)	33(1)	3(1)	28(0)	5(0)	92(1)	13(1)	105(2)
		機械科学	52	220 ⁴	15 ⁴	50(2)	4(0)	47(0)	7(1)	60(3)	6(2)	157(5)	17(3)	174(8)
		機械知能システム学	40			32(1)	3(0)	43(3)	1(0)	48(1)	1(0)	123(5)	5(0)	128(5)
		機械宇宙学	40			46(0)	1(0)	37(0)	1(0)	48(1)	3(0)	131(1)	5(0)	136(1)
		制御システム工学	43			50(3)	3(0)	46(3)	5(2)	54(4)	1(1)	150(10)	9(3)	159(13)
		経営システム工学	36			31(0)	4(1)	35(0)	6(0)	44(1)	4(0)	110(1)	14(1)	124(2)
		開発システム工学				0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(1)	1(1)	3(1)	1(1)	4(2)
		国際開発工学	40			20(6)	4(3)	28(10)	2(2)	36(8)	8(8)	84(24)	14(13)	98(37)
		電気電子工学	82	229 ⁵	11 ⁵	88(5)	4(0)	100(4)	1(0)	107(9)	6(1)	295(18)	11(1)	306(19)
		情報工学	102			86(3)	7(1)	87(1)	8(0)	148(11)	2(0)	321(15)	17(1)	338(16)
		土木工学		82 ⁶	22 ⁶	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	2(1)	0(0)	2(1)
		土木・環境工学	34			29(0)	4(0)	28(0)	2(0)	37(2)	6(0)	94(2)	12(0)	106(2)
		建築学	45			37(1)	16(0)	36(1)	13(0)	45(0)	14(0)	118(2)	43(0)	161(2)
		社会工学	36			37(0)	7(1)	27(0)	10(0)	37(0)	4(0)	101(0)	21(1)	122(1)
				1年次	20 ¹	711(24)	78(4)						711(24)	78(4)
7類	生 命 理 工 学 部	計	150	133(0)	29(0)	112(1)	36(2)	128(1)	26(2)	146(2)	30(2)	519(4)	121(6)	640(10)
		生命科学	75			54(0)	7(0)	62(1)	7(0)	75(1)	12(1)	191(2)	26(1)	217(3)
		生命工学	75			58(1)	29(2)	66(0)	19(2)	71(1)	18(1)	195(2)	66(5)	261(7)
		1年次	10 ¹	133(0)	29(0)							133(0)	29(0)	162(0)
合 計			1,068	1,039(27)	121(5)	970(32)	136(8)	1,008(33)	127(16)	1,266(51)	136(18)	4,283(143)	520(47)	4,803(190)

(注) *1は第3年次編入学定員で1,068の外数。()内は外国人留学生数で、左側の数字の内数。
 *2~*6は、2類~6類の合計を表します。
 各類と学科の対応についてはP29の表を参照。

研究生数

2012年5月1日現在

区 分	理工学 研究科 (理学系)	理工学 研究科 (工学系)	生 命 理工学 研究科	総 合 理工学 研究科	情 報 理工学 研究科	社 会 理工学 研究科	イノベーション マネジメント 研究科	資源化学 研究所	精密工学 研究所	応 用 セラミックス 研究所	原子炉工学 研究所	その他	合 計
日本人	2	11	3	6	2	1	0	1	2	1	0	1	30
留学生	2	20	3	8	6	10	0	0	6	1	2	6	64
合 計	8	32	3	23	5	8	1	0	11	2	1	11	105

(注) その他は、学術国際情報センター等学内共同研究教育施設。

2012年 5月 1日現在

大学院学生数

研究科	専攻名	修士課程						修士 総合計	博士後期課程								博士 総合計		
		入学 定員	1年次		2年次		計		入学 定員	在学生数				計					
			男	女	男	女	男			女	1年次	2年次	3年次	計	男	女		男	女
理工学研究科	計	664	645(58)	91(25)	695(63)	112(33)	1340(121)	203(58)	1543(179)	212	131(44)	28(18)	165(60)	22(15)	197(63)	31(21)	493(167)	81(54)	574(221)
	数学	22	21	1	23	1(1)	44	2(1)	46(1)	8	5		7	1	7	2(1)	19	3(1)	22(1)
	基礎物理学	23	23	2	25	3	48	5	53	8	10		5		11(1)		26(1)	0	26(1)
	物性物理学	35	30		33(1)	2	63(1)	2	65(1)	12	4		9		5	1(1)	18	1(1)	19(1)
	化学	41	36	5	36(2)	8(1)	72(2)	13(1)	85(3)	12	12(1)	3	15	1	22(2)	2(2)	49(3)	6(2)	55(5)
	地球惑星科学	19	16	3	8	6	24	9	33	7	6(1)	2	10		10	4(1)	26(1)	6(1)	32(2)
	物質科学	32	32(1)	6	27	10(1)	59(1)	16(1)	75(2)	10	4	1	6		6		16	1	17
	材料工学	43	42(3)	7(1)	51(5)	5(2)	93(8)	12(3)	105(11)	13	8(4)	2(2)	13(9)		6(4)	2(2)	27(17)	4(4)	31(21)
	有機・高分子物質	51	54(9)	9(3)	52(8)	13(4)	106(17)	22(7)	128(24)	15	14(3)	1(1)	15(4)	9(5)	15(2)	4(1)	44(9)	14(7)	58(16)
	応用化学	27	25	4(1)	22(1)	7(1)	47(1)	11(2)	58(3)	7	1		5	1(1)	7(2)		13(2)	1(1)	14(3)
	化学工学	28	27(2)	1	31(1)	5(2)	58(3)	6(2)	64(5)	9	4(2)	1(1)	4(4)	1(1)	3(3)	2(2)	11(9)	4(4)	15(13)
	機械物理学	44	46(1)	3	54(2)	1	100(3)	4	104(3)	12	3(2)	2(1)	6(4)		5(5)	1	14(11)	3(1)	17(12)
	機械制御システム	52	54(7)	6(3)	62(4)	4(2)	116(11)	10(5)	126(16)	15	9(7)	1(1)	10(4)		10(4)	1(1)	29(15)	2(2)	31(17)
	機械宇宙システム	29	35(4)	2	29(2)	3	64(6)	5	69(6)	9	3(1)	1(1)	5(3)	1(1)	7(3)		15(7)	2(2)	17(9)
	電気電子工学	35	35	3(2)	43(8)	2(1)	78(8)	5(3)	83(11)	13	6(4)	2(2)	8(4)		7(1)	2(2)	21(9)	4(4)	25(13)
	電子物理学	36	38(2)	3(2)	39(8)	3(2)	77(10)	6(4)	83(14)	12	11(5)		14(7)		16(10)	3(3)	41(22)	3(3)	44(25)
	集積システム	32	37(5)	2	43(8)	1	80(13)	3	83(13)	10	12(4)	1(1)	7(5)	1(1)	13(7)	2(1)	32(16)	4(3)	36(19)
土木工学	27	25(10)	7	23(2)	8(5)	48(12)	15(5)	63(17)	8	5(4)	1(1)	5(5)	1(1)	5(3)	2(2)	15(12)	4(4)	19(16)	
建築学	36	26(3)	15(4)	32(3)	22(5)	58(6)	37(9)	95(15)	11	4	1	3(2)		8(3)		15(5)	1	16(5)	
国際開発工学	26	21(10)	11(8)	28(6)	8(6)	49(16)	19(14)	68(30)	9	3(2)	4(4)	7(5)	4(4)	21(9)	2(1)	31(16)	10(9)	41(25)	
原子核工学	26	22(1)	1(1)	34(2)		56(3)	1(1)	57(4)	12	7(4)	5(3)	11(4)	2(1)	13(4)	1(1)	31(12)	8(5)	39(17)	
生命理工学研究科	計	146	103(2)	39(9)	113(3)	30(7)	216(5)	69(16)	285(21)	44	30(4)	12(6)	23(6)	8(4)	44(8)	21(9)	97(18)	41(19)	138(37)
	分子生命科学	29	17	11(3)	27(1)	6(4)	44(1)	17(7)	61(8)	8	3	1(1)	6(1)	1(1)	9(1)	2(1)	18(2)	4(3)	22(5)
	生体システム	26	12	8(2)	20(1)	7(1)	32(1)	15(3)	47(4)	9	4	2(2)	5(2)	1	12(1)	12(3)	21(3)	15(5)	36(8)
	生命情報	31	22(2)	9(2)	21	5	43(2)	14(2)	57(4)	9	7	1	4	3(2)	10(4)	2(1)	21(4)	6(3)	27(7)
	生物プロセス	30	26	6(1)	20(1)	9	46(1)	15(1)	61(2)	7	8(3)	6(3)	4(1)	1	3	2(2)	15(4)	9(5)	24(9)
	生体分子機能工学	30	26	5(1)	25	3(2)	51	8(3)	59(3)	11	8(1)	2	4(2)	2(1)	10(2)	3(2)	22(5)	7(3)	29(8)
総合理工学研究科	計	494	466(47)	59(15)	506(36)	77(10)	972(83)	136(25)	1108(108)	219	112(36)	28(19)	144(46)	26(17)	183(40)	44(21)	439(122)	98(57)	537(179)
	物質科学創造	44	42(1)	4	38(1)	12(1)	80(2)	16(1)	96(3)	22	13(2)	4(1)	14(1)	3	15(1)	2	42(4)	9(1)	51(5)
	物質電子化学	48	40(6)	9(2)	47	9(1)	87(6)	18(3)	105(9)	20	12(6)	4(3)	18(7)	3(1)	12(3)	4(2)	42(16)	11(6)	53(22)
	材料物理学	43	39(2)	4	49(3)	3	88(5)	7	95(5)	19	7(3)	1(1)	10(3)		14(2)	2(1)	31(8)	3(2)	34(10)
	環境理工学創造	40	35(4)	11(4)	28(6)	12(3)	63(10)	23(7)	86(17)	26	8(3)	3(3)	11(7)	7(6)	15(7)	11(7)	34(17)	21(16)	55(33)
	人間環境システム	44	39(4)	9(2)	39	17	78(4)	26(2)	104(6)	18	6(2)	4(2)	9(3)	2(1)	13	8(4)	28(5)	14(7)	42(12)
	創造エネルギー	41	42(5)	3(2)	40(3)	4	82(8)	7(2)	89(10)	17	9(2)		7(2)	2	12(4)		28(8)	2	30(8)
	化学環境学	40	30(1)	6	43(2)	5	73(3)	11	84(3)	16	7(1)	2(1)	12(3)	5(5)	11(4)	4(2)	30(8)	11(8)	41(16)
	物理電子システム創造	46	42(5)	2(1)	53(2)	1	95(7)	3(1)	98(8)	23	10(3)	2(2)	12(6)	1(1)	14(4)		36(13)	3(3)	39(16)
	メカノマイクロ工学	31	36(5)	2	33(4)		69(9)	2	71(9)	10	4(2)	3(3)	4(2)		7(2)	1(1)	15(6)	4(4)	19(10)
	知能システム科学	76	73(7)	5(2)	77(9)	6(3)	150(16)	11(5)	161(21)	31	23(7)	3(2)	24(7)	2(2)	43(6)	8(1)	90(20)	13(5)	103(25)
物理情報システム	41	48(7)	4(2)	59(6)	8(2)	107(13)	12(4)	119(17)	17	13(5)	2(1)	23(5)	1(1)	27(7)	4(3)	63(17)	7(5)	70(22)	
情報理工学研究科	計	116	112(16)	12(2)	117(5)	12(1)	229(21)	24(3)	253(24)	38	21(12)	3(2)	27(14)	9(5)	32(9)	7(4)	80(35)	19(11)	99(46)
	数理・計算科学	31	26(2)	2	35(1)	1	61(3)	3	64(3)	10	5(2)		6(2)		11(2)	3(2)	22(6)	3(2)	25(8)
	計算工学	45	53(11)	1(1)	40(2)	2	93(13)	3(1)	96(14)	15	8(6)	2(1)	16(10)	5(5)	15(5)	2(1)	39(21)	9(7)	48(28)
情報環境学	40	33(3)	9(1)	42(2)	9(1)	75(5)	18(2)	93(7)	13	8(4)	1(1)	5(2)	4	6(2)	2(1)	19(8)	7(2)	26(10)	
社会理工学研究科	計	124	100(11)	24(9)	117(10)	29(9)	217(21)	53(18)	270(39)	44	22(5)	13(5)	27(6)	9(6)	45(8)	34(11)	94(19)	56(22)	150(41)
	人間行動システム	27	18(2)	5(3)	20(2)	10(5)	38(4)	15(8)	53(12)	11	4(1)	4(2)	5(2)	5(4)	7(1)	8(1)	16(4)	17(7)	33(11)
	価値システム	26	18(3)	7(4)	18(2)	7(3)	36(5)	14(7)	50(12)	9	7	4	11(2)	1	11(2)	7(1)	29(4)	12(1)	41(5)
	経営工学	38	41(6)	2(1)	45(5)	4(1)	86(11)	6(2)	92(13)	13	6(4)	4(3)	8(2)	1(1)	16(4)	6(5)	30(10)	11(9)	41(19)
	社会学	33	23	10(1)	34(1)	8	57(1)	18(1)	75(2)	11	5	1	3	2(1)	11(1)	13(4)	19(1)	16(5)	35(6)
イノベーション研究科	計	40	37(1)	6(1)	40(2)	5(1)	77(3)	11(2)	88(5)	10	3(1)	2	11(1)	2	31(2)	6(2)	45(4)	10(2)	55(6)
	技術経営 ^{※1}	40	37(1)	6(1)	40(2)	5(1)	77(3)	11(2)	88(5)										
	イノベーション専攻 ^{※2}									10	3(1)	2	11(1)	2	31(2)	6(2)	45(4)	10(2)	55(6)
合計	1,584	1,463(135)	231(61)	1,588(119)	265(61)	3,051(254)	496(122)	3,547(376)	567	319(102)	86(50)	397(133)	76(47)	532(130)	143(68)	1,248(365)	305(165)	1,553(530)	

(注) ()内は、留学生で内数。※1は、専門職学位課程。※2は、博士後期課程。

STAFF/STUDENT NUMBERS

職員・学生・研究員数等

国又は地域別留学生数

2012年5月1日現在

国又は地域	学部	修士課程	博士 後期課程	研究生等	計
中華人民共和国	82(28)	169(64)	190(76)	54(23)	495(191)
大韓民国	30(2)	35(7)	73(15)	7(2)	145(26)
タイ王国	8(4) [3]	48(19)	60(27)	1	117(50) [3]
ベトナム社会主義共和国	26(4)	25(9)	21(4)	1	73(17)
インドネシア共和国	7(1)	21(5)	37(9)	6(3)	71(18)
マレーシア	9(2) [9]	7(2)	12(7)	4(1)	32(12) [9]
フィリピン共和国		5(1)	14(5)	1	20(6)
モンゴル国	7(1)	4(1)	6(4)		17(6)
中華人民共和国(台湾)		4(1)	10(3)	3(1)	17(5)
スリ兰卡民主主義共和国	1(1)	4(2)	7(2)		12(5)
バングラデシュ人民共和国	3	1(1)	7(3)		11(4)
シンガポール	2(1)	3		5	10(1)
カンボジア王国		4	6(1)		10(1)
インド	1	1	4	1	7
ネパール連邦民主共和国		2(1)	3(1)		5(2)
パキスタン・イスラム共和国			3	1	4
ミャンマー連邦		3(1)			3(1)
中華人民共和国(香港)	1		1		2
中華人民共和国(マカオ)				1	1
ブータン王国		1			1
北米		6(2)	9(1)	5(3)	20(6)
アメリカ合衆国		1	2		3
カナダ					
ブラジル連邦共和国	2	1	4	2	9
メキシコ合衆国		3	3	1	7
コロンビア共和国	1		1	1	3
ニカラグア共和国			2		2
ボリビア多民族国		1(1)	1		2(1)
アルゼンチン共和国		1			1
エクアドル共和国		1			1
ペルー共和国		1			1
キューバ共和国			1(1)		1(1)
ジャマイカ				1	1
コスタリカ共和国			1		1
フランス共和国		4	3	7(1)	14(1)
ドイツ連邦共和国			2	10(3)	12(3)
スウェーデン王国			2	6	8
ロシア連邦		1	5(1)	1	7(1)
ルーマニア		2(1)	2	2	6(1)
オランダ王国				4(1)	4(1)

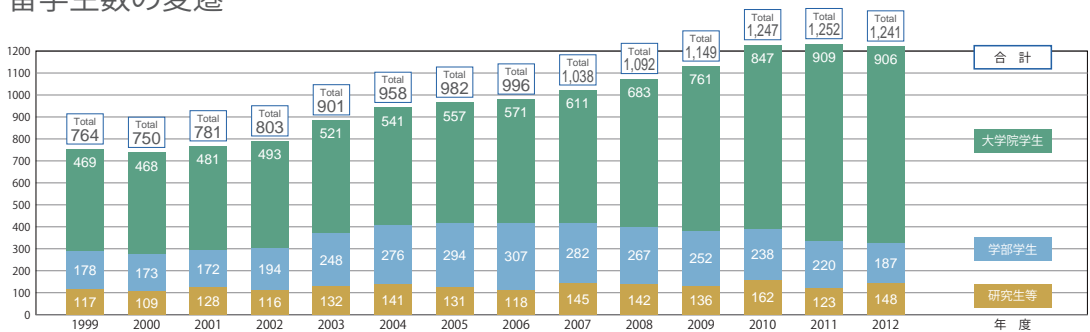
国又は地域	学部	修士課程	博士 後期課程	研究生等	計
フィンランド共和国		1(1)		3(1)	4(2)
リトアニア共和国	1	1	2(1)		4(1)
カザフスタン共和国	1	1(1)	1		3(1)
スペイン				3(2)	3(2)
ノルウェー王国				3(1)	3(1)
イタリア共和国		1	1	1	3
英国			1	1	2
ハンガリー		2(1)			2(1)
ポーランド共和国			1	1	2
ウクライナ			1		1
ブルガリア共和国	1(1)				1(1)
タジキスタン共和国			1		1
デンマーク王国				1	1
スロベニア共和国			1		1
スロバキア共和国				1	1
スイス連邦				1(1)	1(1)
オーストラリア連邦			1		1
イラン・イスラム共和国	1(1)		7(2)	1	9(3)
トルコ共和国		1	6(1)	2	9(1)
シリア・アラブ共和国		2	3		5
サウジアラビア王国	2 [2]				2 [2]
アラブ首長国連邦			1		1
ヨルダンハシムット王国				1	1
パレスチナ		1			1
アルジェリア民主人民共和国			4	2	6
エジプト・アラブ共和国			1	2	3
南アフリカ共和国			3		3
ケニア共和国		2			2
ウガンダ共和国	1				1
エチオピア連邦民主共和国		1			1
ガーナ共和国		1			1
カメルーン共和国			1		1
チュニジア共和国			1(1)		1(1)
ベナン共和国		1			1
スーダン共和国			1		1
シエラレオネ共和国		1			1
ナイジェリア連邦共和国			1		1
合計	187 (46) [14]	375 (121)	531 (165)	148 (43)	1,241 (375) [14]

(注) ()内は、女子。[]内は、政府派遣でいずれも内数

職員・学生・研究員数等

留学生数の変遷

各年度5月1日現在



入学・卒業状況等

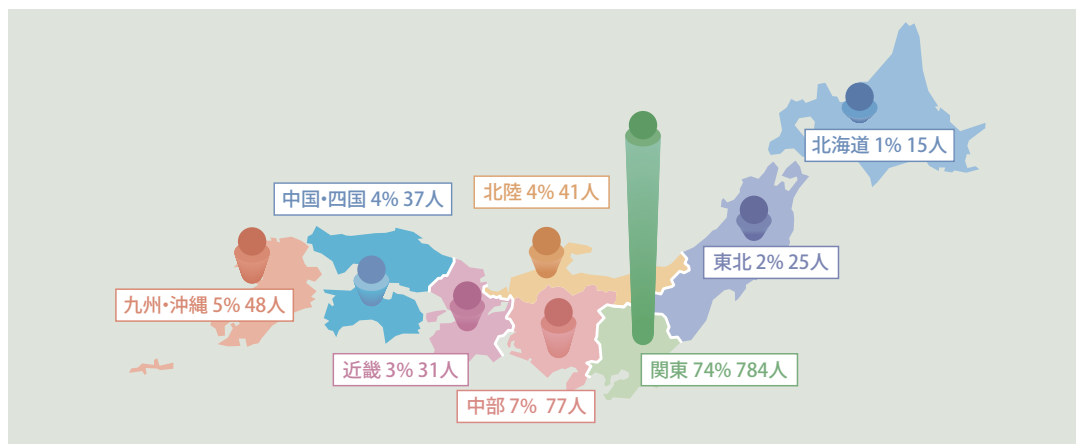
学部の入学状況

2012年度

	1類 理学部	2類 工学部	3類 工学部	4類 工学部	5類 工学部	6類 工学部	7類 生命工学部	計
志願者数	924	291	423	995	968	512	929	5,042
募集人員	185	85	108	201	201	95	153	1,028
入学者数	197	90	114	227	218	101	157	1,104

学部入学生の出身高校の地域別

2012年度

状況等
入学・卒業

大学院の入学状況

2012年度

	修士課程							博士後期課程						
	理工学研究科	生命理工学研究科	総合理工学研究科	情報理工学研究科	社会理工学研究科	イノベーションマネジメント研究科※	合計	理工学研究科	生命理工学研究科	総合理工学研究科	情報理工学研究科	社会理工学研究科	イノベーションマネジメント研究科※	合計
志願者数	1,299	181	1,069	185	188	97	3,019	176	43	151	27	41	12	450
入学定員	664	146	494	116	124	40※	1,584	212	44	219	38	44	10	567
入学者数	667(69)	129(14)	474(51)	113(11)	113(11)	36(7)	1,532(163)	107(52)	31(11)	105(35)	13(11)	27(9)	1(5)	284(123)

(注) ()内は、2012年10月入学で外数。※は、専門職学位課程。

国際大学院プログラム入学状況

2012年5月1日現在

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度			1993～2012年度		
	修士課程	博士後期課程	計	修士課程	博士後期課程	計	修士課程	博士後期課程	計	修士課程	博士後期課程	計	修士課程	博士後期課程	計	修士課程	博士後期課程	計
理工学研究科	47	19	66	53	42	95	54	42	96	43	42	85	1	12	13	445	412	857
生命理工学研究科	12	5	17	12	10	22	10	8	18	11	9	20	0	0	0	101	96	197
総合理工学研究科	21	7	28	28	28	56	40	27	67	35	31	66	5	16	21	215	221	436
情報理工学研究科	6	5	11	4	7	11	5	6	11	3	3	6	1	4	5	66	57	123
社会理工学研究科	7	4	11	8	2	10	7	5	12	6	3	9	1	1	2	66	36	102
イノベーションマネジメント科	0	0	0	2	0	2	2	0	2	1	1	2	0	0	0	5	1	6
合計	93	40	133	107	89	196	118	88	206	99	89	188	8	33	41	898	823	1,721

入学・卒業状況等

学部の就職状況

2011年度

	卒業者数	進学者数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他
理学部	184	151	3	18	2	0	10
工学部	814	710	15	52	0	3	34
生命理工学部	166	146	3	10	0	0	7
合計	1,164	1,007	21	80	2	3	51

(注)その他は、研究生・海外留学・帰国外国人等である。

大学院の就職状況

2011年度

■ 修士課程

	修了者数	進学者数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他
理工学研究科	724	108	411	157	5	17	26
生命理工学研究科	136	34	57	31	0	2	12
総合理工学研究科	535	78	291	139	1	8	18
情報理工学研究科	117	8	37	66	1	1	4
社会理工学研究科	118	16	14	74	1	1	12
イノベーションマネジメント研究科*	37	1	3	8	0	1	24
合計	1,667	245	813	475	8	30	96

(注)その他は、研究生・海外留学・帰国外国人等である。*印は、専門職学位課程。

■ 博士課程

	修了者数	製造業	非製造業	教員	公務員	その他
理工学研究科	175	36	21	16	2	100
生命理工学研究科	35	9	4	4	0	18
総合理工学研究科	130	38	12	3	1	76
情報理工学研究科	24	3	2	3	0	16
社会理工学研究科	27	0	4	1	1	21
イノベーションマネジメント研究科	5	0	0	1	0	4
合計	396	86	43	28	4	235

(注)その他は、PD 研究員・帰国外国人・海外留学・研究生等である。

博士学位授与数

2012年3月31日現在

区分	課程博士					論文博士					
	理学	工学	学術	技術経営	計	理学	工学	学術	技術経営	計	
理工学研究科	2011年度	33	129	13	0	175	3	9	0	0	12
	累計	1,201	3,336	172	0	4,709	406	2,473	23	0	2,902
生命理工学研究科	2011年度	19	16	0	0	35	0	1	1	0	2
	累計	394	393	8	0	795	40	56	1	0	97
総合理工学研究科	2011年度	15	103	12	0	130	0	2	0	0	2
	累計	500	2,028	82	0	2,610	138	815	12	0	965
情報理工学研究科	2011年度	3	16	5	0	24	0	0	0	0	0
	累計	90	197	65	0	352	17	46	4	0	67
社会理工学研究科	2011年度	1	9	17	0	27	0	0	0	0	0
	累計	10	148	210	0	368	1	17	18	0	36
イノベーションマネジメント研究科	2011年度	0	2	2	1	5	0	0	0	0	0
	累計	0	5	5	10	20	0	0	0	0	0
総計		2,195	6,107	542	10	8,854	602	3,407	58	0	4,067

研究プログラム

グローバルCOEプログラム

2012年7月現在
(単位：千円)

http://www.rso.titech.ac.jp/cats5/detail_44.html

「グローバルCOEプログラム」とは文部科学省が2007年度から開始したプログラムで、「21世紀COEプログラム」の基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化しようとするものです。世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援することで、国際競争力のある大学づくりを目指しています。

2007年度採択

生命時空間ネットワーク進化型教育研究拠点

分子・細胞・組織・個体がネットワークを構築しこれが時間変化する中で生命が維持されるメカニズムの解明から、さらにこれを制御することによるバイオ・医療応用まで、基礎と応用を両立させた研究を推進し、これを実践できる独創的な若手人材の育成を推進しています。

申請分野名	■ 生命科学
部局名	■ 生命理工学研究所 / 理工学研究所
専攻等名	■ 分子生命科学 ■ 生体システム ■ 生命情報 ■ 生物プロセス ■ 生体分子機能工学 ■ 電気電子工学
拠点リーダー名	徳永 万喜洋
連携先	■ 理化学研究所脳科学総合研究センター ■ 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 ■ カリフォルニア大学ロサンゼルス校 ■ スクリップス研究所 ■ フランスCNRS(国立科学研究センター)

2011年度交付額	297,498 (0)
2010年度交付額	250,080 (0)
2009年度交付額	325,104 (75,024)
2008年度交付額	349,570 (80,670)
2007年度交付額	349,570 (80,670)
交付総額	1,571,822 (236,364)

材料イノベーションのための教育研究拠点

科学技術のブレークスルーを可能にできる材料技術者・研究者を育成するために、プロジェクトマネージング、分野横断的なナノ材料物理、コミュニケーションスキルなどの教育を行います。このような教育に基づき、研究を活性化し、アジアの研究者と協力してグローバルな視点をもった教育、研究の拠点を作ります。

申請分野名	■ 化学・材料科学
部局名	■ 理工学研究所 / 総合理工学研究所
専攻等名	■ 材料工学 ■ 有機・高分子物質 ■ 物質科学創造 ■ 材料物理科学
拠点リーダー名	竹添 秀男
連携先	■ (独)物質・材料研究機構 光触媒材料センター ■ (独)産業技術総合研究所 ナノテクノロジー研究部門

2011年度交付額	173,213 (0)
2010年度交付額	192,096 (0)
2009年度交付額	277,472 (64,032)
2008年度交付額	298,350 (68,850)
2007年度交付額	270,140 (62,340)
交付総額	1,211,271 (195,222)

新たな分子化学創発を目指す教育研究拠点

21世紀COE拠点「分子多様性の創出と機能開拓」の成果を発展、継承するとともに、「合成」と「解析」という異なる要素の融合教育を通して、次代の化学領域の研究・開発を担う若手研究者を育成します。

申請分野名	■ 化学・材料科学
部局名	■ 理工学研究所 / 総合理工学研究所
専攻等名	■ 化学 ■ 物質科学 ■ 応用化学 ■ 化学工学 ■ 物質電子化学 ■ 化学環境学
拠点リーダー名	鈴木 啓介
連携先	■ 理化学研究所 基幹研究所

2011年度交付額	219,250 (0)
2010年度交付額	254,273 (0)
2009年度交付額	284,726 (65,706)
2008年度交付額	306,150 (70,650)
2007年度交付額	303,420 (70,020)
交付総額	1,367,819 (206,376)

計算世界観の深化と展開

自然現象や社会現象を「計算過程」として見ることで、高度な数学を駆使し、スーパーコンピューティングを武器に、様々な現象を解明していく科学の新たな手法が生まれつつあります。その先駆けとして、計算世界観に基づく手法の確立をし、その実践者の育成をします。

申請分野名	■ 情報・電気・電子
部局名	■ 情報理工学研究所 / 理工学研究所 / 総合理工学研究所
専攻等名	■ 数理・計算科学 ■ 計算工学 ■ 数学 ■ 原子核工学 ■ 知能システム科学 ■ 物理情報システム
拠点リーダー名	渡辺 治
連携先	■ スイス連邦工科大学チューリッヒ校 ■ カリフォルニア大学サンディエゴ校

2011年度交付額	126,339 (0)
2010年度交付額	140,112 (0)
2009年度交付額	202,384 (46,704)
2008年度交付額	217,620 (50,220)
2007年度交付額	215,020 (49,620)
交付総額	901,475 (146,544)

フォトニクス集積コアエレクトロニクス

東工大が世界をリードしてきた半導体レーザーの研究を始めとして、フォトニックデバイスの革新を進めるとともに、シリコン電子システムとの集積・融合による高度な光電子集積技術を開発し、応用システムへと展開します。世界をリードし、基礎から産業界までを見通すことのできる人材育成を行います。

申請分野名	■ 情報・電気・電子
部局名	■ 総合理工学研究所 / 理工学研究所
専攻等名	■ 物理電子システム創造 ■ 物理情報システム ■ 電気電子工学 ■ 電子物理工学 ■ 集積システム
拠点リーダー名	小山 三三夫
連携先	■ カリフォルニア大学パークレイ校・ナノフォトニクス研究センター ■ ケンブリッジ大学先端光電子工学研究センター

2011年度交付額	206,697 (0)
2010年度交付額	229,230 (0)
2009年度交付額	294,879 (68,049)
2008年度交付額	317,070 (73,170)
2007年度交付額	317,070 (73,170)
交付総額	1,364,946 (214,389)

2008年度採択

ナノサイエンスを拓く量子物理学拠点

20世紀の人類の発展を支えた量子物理学は、今世紀に入り、ナノサイエンス・ナノテクノロジーを支える学問領域として、その重要性は、ますます大きくなっています。当拠点では、ナノサイエンス領域と量子物理学領域における世界最先端の研究を展開しています。

申請分野名	■ 数学・物理学・地球科学
部局名	■ 理工学研究所
専攻等名	■ 物性物理学 ■ 基礎物理学
拠点リーダー名	齋藤 晋
連携先	■ カリフォルニア大学パークレイ校物理学科

2012年度交付額	135,620 (0)
2011年度交付額	131,991 (0)
2010年度交付額	146,380 (0)
2009年度交付額	190,294 (43,914)
2008年度交付額	204,620 (47,220)
交付総額	808,905 (91,134)

震災メカニクス軽減の都市地震工学国際拠点

わが国の大都市は、人口・産業・情報の集中により、都市機能が複雑化・脆弱化し、巨大地震や直下地震などによる大きな震災リスクを内包しています。これを軽減し、都市の耐震性を進めるための創成・再生・回復技術を統合した新たな都市地震工学の創成と実践のための教育・研究拠点を作ります。

申請分野名	■ 機械・土木・建築・その他の工学
部局名	■ 理工学研究所 / 総合理工学研究所 / 情報理工学研究所
専攻等名	■ 建築学 ■ 土木工学 ■ 人間環境システム ■ 環境理工学創造 ■ 情報環境学 ■ 時松 孝次
拠点リーダー名	時松 孝次
連携先	■ 太平洋地震工学研究センター

2012年度交付額	196,662 (0)
2011年度交付額	191,400 (0)
2010年度交付額	235,850 (0)
2009年度交付額	306,605 (70,755)
2008年度交付額	329,680 (76,080)
交付総額	1,260,197 (146,835)

エネルギー学理の多面的学術融合

私たちが直面している地球温暖化やエネルギー資源の枯渇に対し、多面的・学際的なエネルギー研究開発の推進と、未来を切り拓く創造力を持つ人材の育成を通じて、地球環境問題の解決に挑戦しています。

申請分野名	■ 学際・複合・新領域
部局名	■ 理工学研究所 / 総合理工学研究所 / 社会理工学研究所 / 留学生センター / イノベーションマネジメント研究所
専攻等名	■ 機械制御システム ■ 電子物理工学 ■ 化学工学 ■ 応用化学 ■ 機械宇宙システム ■ 化学 ■ 有機・高分子物質 ■ 材料工学 ■ 国際開発工学 ■ 物質科学創造 ■ 物質電子化学 ■ 化学環境学 ■ 物理電子システム創造 ■ 経営工学 ■ 原子核工学 ■ 技術経営 ■ 物質科学
拠点リーダー名	平井 秀一郎
連携先	■ ジョージア工科大学機械工学科 ■ 韓国科学技術院(KAIST)機械工学科 ■ シュワットガルト大学電子物理研究所

2012年度交付額	178,284 (0)
2011年度交付額	173,514 (0)
2010年度交付額	213,810 (0)
2009年度交付額	277,953 (64,143)
2008年度交付額	298,870 (68,970)
交付総額	1,142,431 (133,113)

2009年度採択

地球から地球たちへ

相次ぐ太陽系外の惑星の発見は、われわれの地球以外にも、宇宙には生命が存在可能な多様な惑星、「地球たち」が存在していることを示します。われわれの拠点では、「地球」の徹底理解のもとに宇宙の「地球たち」に迫る研究を通して、新たな地球・生命観を備えた人材を育てます。

申請分野名	■ 学際・複合・新領域
部局名	■ 理工学研究所 / 生命理工学研究所 / 総合理工学研究所
専攻等名	■ 地球惑星科学専攻 ■ 化学 ■ 生命情報 ■ 生体システム ■ 環境理工学創造 ■ 化学環境学
拠点リーダー名	井田 茂
連携先	■ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、大学院総合文化研究科広域科学専攻、大気海洋研究所

2012年度交付額	131,401 (0)
2011年度交付額	127,885 (0)
2010年度交付額	141,826 (0)
2009年度交付額	184,374 (42,548)
交付総額	546,339 (42,548)

2012年度交付額	(4件) 641,967 (0)
2011年度交付額	(9件) 1,647,787 (0)
2010年度交付額	(9件) 1,803,657 (0)
2009年度交付額	(9件) 2,343,791 (540,875)
2008年度交付額	(8件) 2,321,930 (535,830)
2007年度交付額	(5件) 1,455,220 (335,820)
交付総額	10,214,352 (1,412,525)

(注) 青字は中核となる。()内は、間接経費で内数。

研究プログラム

研究プログラム

寄附講座及び寄附研究部門

2012年7月1日現在

進行中寄附講座及び寄附研究部門

電子行政システム工学(NTTデータ)寄附研究部門

- 寄附者: (株)エヌ・ティ・ティ・データ
- 設置期間: 2007.10.1～2011.9.30
2011.10.1～2013.9.30
- 設置部局: 情報工学研究所
- 教育研究領域の概要: 行政機関や事業者とも協力して、次の事項の研究・開発を行うことにより、新たな学問分野の確立を目的とする。(1)行政のITガバナンスの確立に関する研究、(2)行政情報システム構築プロセスの在り方の研究、(3)情報連携基盤形成のためのITガバナンスの研究

エネルギー変換材料(凸版印刷)寄附研究部門

- 寄附者: 凸版印刷(株)
- 設置期間: 2009.4.1～2012.3.31
2012.4.1～2013.3.31
- 設置部局: 資源化学研究所
- 教育研究領域の概要: エネルギー変換のための優れた材料を開拓する。本部門では、燃料電池におけるプロトン伝導性高分子等のエネルギー変換にかかわる優れた有機材料の開発と該材料を用いるデバイスの開発等を行い、基礎科学と教育・応用の観点からこの学問分野を進展させることを目的とする。

生体代謝工学(ALA)寄附研究部門

- 寄附者: SBIファーマ(株)
- 設置期間: 2009.11.1～2012.10.31
- 設置部局: フロンティア研究機構
- 教育研究領域の概要: 5-アミノプリン酸(ALA)の高度な生化学的研究を通じて医療(特にがんの診断や治療に画期的な進歩をもたらす)や健康(基礎代謝に関連した様々な疾病や老化の防止に役立つ)への応用の可能性を探る研究を推進・展開し、その研究成果が関連技術との融合により産業界にも有用な多くの発見や実用化の提案に結びつくことを目的とする。

終了済寄附講座及び寄附研究部門

講座/部門	寄附者	設置期間	設置部局
知能機械(日立)寄附講座	(株)日立製作所	1989.10.1～1992.9.30	工学部
知能情報システム(東芝)寄附講座	(株)東芝	1989.10.1～1992.9.30	工学部
JMA創造性開発寄附講座	(社)日本能率協会	1990.1.1～1991.12.31	総合理工学研究所
LIFE ファジィ理論寄附講座	技術研究組合国際ファジィ工学研究所	1990.9.1～1994.8.31	総合理工学研究所
先端機能セラミックス(TDK)寄附研究部門	TDK(株)	1988.5.1～1993.3.31	総合理工学研究所
固体機能デバイス(日立)寄附講座	(株)日立製作所	1991.4.1～1994.3.31	工学部
宇宙機械システム学(三菱電機)寄附講座	三菱電機(株)	1991.10.1～1996.9.30	工学部
高機能エネルギーシステム(東京電力)寄附講座	東京電力(株)	1991.10.1～1996.9.30	工学部
インテリジェントコントロール(新日本製鐵)寄附講座	新日本製鐵(株)	1992.4.1～1995.9.30	工学部
分子生命医科学(シェリング・プラウ)寄附講座	シェリング・プラウ(株)	1992.4.1～2000.3.31	生命理工学部
糖鎖生命科学(三菱化成・生化学工業)寄附講座	三菱化成(株)、生化学工業(株)	1993.4.1～1998.3.31	生命理工学部
静粛工業(JR東日本)寄附研究部門	東日本旅客鉄道(株)	1992.10.1～1995.9.30	精密工学研究所
宇宙インフラストラクチャー工学(三菱重工業)寄附講座	三菱重工業(株)	1994.10.1～1996.9.30	工学部
量子デバイス・システム(日立)寄附研究部門	(株)日立製作所	1994.11.1～1997.10.31	量子効果エレクトロニクス研究センター
協調工学(JR東日本)寄附講座	東日本旅客鉄道(株)	1996.4.1～1999.3.31	工学部
ヘルスケア情報(凸版印刷)寄附研究部門	凸版印刷(株)	1997.11.1～2003.10.31	工学部→理工学研究所
鋼橋設計工学(新日鐵、日本鋼管、川崎製鉄、住友金属、神戸製鋼)寄附講座	新日本製鐵(株)、日本鋼管(株)、川崎製鉄(株)、住友金属工業(株)、(株)神戸製鋼所	1998.8.1～2001.7.31	工学部→理工学研究所
エネルギー・マネージメント(東京電力)寄附講座	東京電力(株)	2000.4.1～2005.3.31	理工学研究所
特許情報処理(JAPIO)寄附研究部門	(財)日本特許情報機構	2001.4.1～2003.3.31	精密工学研究所
IT都市創造工学(NTTコミュニケーションズ)寄附研究部門	NTTコミュニケーションズ(株)	2001.10.1～2007.9.30	理工学研究所
環境助長損傷制御学(東京電力)寄附講座	東京電力(株)	2003.10.1～2008.3.31	理工学研究所
カーボン触媒工学(日清紡)寄附講座	日清紡績(株)	2008.4.1～2011.3.31	理工学研究所
NRI サーブイノベーション寄附研究部門	(株)野村総合研究所	2008.10.1～2012.3.31	エージェントベースシステム科学センター

東京工業大学創立130周年記念「ぐるなび」食の未来創成寄附講座

- 寄附者: 滝久雄氏及び(株)ぐるなび
- 設置期間: 2010.10.1～2014.9.30
- 設置部局: イノベーションマネージメント研究科
- 教育研究領域の概要: イノベーションによる新しい食ビジネス・産業創出のためのビジネスモデルの構築を目指すとともに、こうした新しい食ビジネスを担う人材を育成することを目的とする。また、食に関する講座を複数開講する。

鉄道の技術イノベーションと標準化(JR東日本寄附講座)

- 寄附者: 東日本旅客鉄道(株)
- 設置期間: 2011.1.1～2015.12.31
- 設置部局: 理工学研究所
- 教育研究領域の概要: (1)国際標準化にかかわる人材育成、知見の創出 (2)鉄道など、オペレーション事業者にとっての国際標準化の進め方、戦略への提言 (3)大学内での教授、および招聘する有識者との連携を目的とする。

量子生命科学技術創成寄附講座

- 寄附者: (株)ハーバー研究所
- 設置期間: 2011.4.1～2016.3.31
- 設置部局: 生命理工学研究所
- 教育研究領域の概要: 人間に優しい、地球環境に優しい科学技術の展開による現代社会支援の一翼を担うために、生命工学を中心として環境を科学し、美を創造する研究を行うことで特に高齢化・成熟社会での市民生活に大きく貢献し、更には医療技術の発展に貢献する。

国際原子力人材育成(日立GEニュークリア・エナジー)寄附講座

- 寄附者: 日立GEニュークリア・エナジー(株)
- 設置期間: 2011.4.1～2014.3.31
- 設置部局: 理工学研究所
- 教育研究領域の概要: エネルギー資源や環境問題、またエネルギー政策を積極的に取り入れた新たな視点の教育研究を柱に据え、高い信頼性のある原子力発電システムの開発及びエネルギーの長期安定供給方法の研究などに関わる教育研究者や原子力ビジネスを支える技術者などの人材育成を推進する。

生体医工学創生寄附講座

- 寄附者: (株)ハーバー研究所
- 設置期間: 2011.5.1～2014.4.30
- 設置部局: 生命理工学研究所
- 教育研究領域の概要: 日本における医療機器技術の発展と人材の育成の一端を担うため、健康・長寿・医療に貢献するための生体医工学技術開発拠点の確立を目的とし、次世代の研究者・技術者等の育成を行う。

大日精化バイオマテリアル創成寄附研究部門

- 寄附者: 大日精化工業(株)
- 設置期間: 2012.4.1～2014.3.31
- 設置部局: バイオ研究基盤支援総合センター
- 教育研究領域の概要: 新たな機能を付与したバイオマテリアルの開発研究とそれらの応用技術開発を行い、再生医療の基盤および動物実験代替法となり得る技術を確立し、人類のみならず動物の福祉向上を目的とした産学連携・医工学連携研究を実施する。

再生医工学バイオマテリアル設計寄附講座

- 寄附者: ソマル(株)
- 設置期間: 2012.4.1～2015.3.31
- 設置部局: 生命理工学研究所
- 教育研究領域の概要: ES/iPS細胞の分化誘導細胞を再生医療に応用するために、均一な各種分化細胞を大量に得る方法とその周辺技術を確立し、近年における本学での飛躍的なバイオマテリアル開発技術を再生医療・動物実験代替法等々の再生工学分野に応用する基盤的研究を展開する。

共同研究講座及び共同研究部門

2012年5月1日現在

AGC 旭硝子 ガラス・無機材料共同研究部門

- 申込者: 旭硝子株式会社
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2014.3.31
- 設置部局: 応用セラミックス研究所
- 研究題目: ガラス基盤技術の深化に関する研究
新材料創製に関する研究

情報流通基盤システム共同研究部門

- 申込者: エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2013.3.31
- 設置部局: ソリューション研究機構
- 研究題目: 情報流通基盤システムに関する研究

NTT・NTTファシリティーズ スマートエネルギーネットワーク共同研究部門

- 申込者: ①日本電信電話株式会社
②株式会社 NTT ファシリティーズ
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2013.3.31
- 設置部局: ソリューション研究機構
- 研究題目: コミュニティにおける需要側から見た次世代エネルギーネットワーク(スマートエネルギーネットワーク)に関する研究

ENEOS 低炭素エネルギーシステム共同研究部門

- 申込者: JX 日鉱日石エネルギー株式会社
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2013.3.31
- 設置部局: ソリューション研究機構
- 研究題目: 低炭素社会を担う総合エネルギーシステムの研究開発

三菱商事再生可能エネルギー共同研究部門

- 申込者: 三菱商事株式会社
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2015.3.31
- 設置部局: ソリューション研究機構
- 研究題目: 再生可能エネルギーの高度化利用に関する研究

東京ガススマートエネルギーネットワーク共同研究部門

- 申込者: 東京瓦斯株式会社
- 設置期間: 2010.4.1 ~ 2013.3.31
- 設置部局: ソリューション研究機構
- 研究題目: スマートエネルギーネットワークに関する研究

セルジーン共同研究講座

- 申込者: Celgene Corporation
- 設置期間: 2012.4.1 ~ 2015.3.31
- 設置部局: 大学院生命理工学研究科
- 研究題目: セレブロン(CRBM)及びその関係因子を対象とした新規薬物の開発

環境モニタリング用センサ制御システム共同研究部門

- 申込者: 株式会社富士通研究所
- 設置期間: 2012.4.1 ~ 2015.3.31
- 設置部局: 異種機能集積研究センター
- 研究題目: 環境モニタリング用センサ制御システムに関する共同研究

SEC 未来技術共同研究講座

- 申込者: サムスン電子株式会社
- 設置期間: 2012.5.1 ~ 2015.3.31
- 設置部局: 大学院総合理工学研究科
- 研究題目: 次世代インターネット社会に向けた情報ポータル・アーキテクチャに関する研究

イノベーション研究推進体(9件)

2012年4月1日現在

研究課題	名称	代表者	
震災からの復興、再生の実現	付加価値リモートセンシング	総合理工学研究科	教授 小杉 幸夫
グリーンイノベーションの推進	光機能材料デザイン研究 推進体	理工学研究科	教授 腰原 伸也
グリーンイノベーションの推進	最先端無機材料	ソリューション研究機構	教授 原 亨和
安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現	構造健全性評価と材料・構造のスマート化	理工学研究科	教授 轟 章
安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現	都市基盤システム創造研究プロジェクト	理工学研究科	教授 朝倉 康夫
安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現	先端的交通研究ユニット	総合理工学研究科	教授 屋井 鉄雄
我が国の産業競争力の強化	コンビナトリアル科学研究推進体	理工学研究科	教授 高橋 孝志
我が国の産業競争力の強化	高度無線システムにおける信号処理とネットワーク技術に関する研究推進体	理工学研究科	教授 鈴木 博
その他基礎的研究又は萌芽的研究の推進	多機能革新プラズマ技術	総合理工学研究科	教授 堀田 栄喜

研究プログラム

産学連携

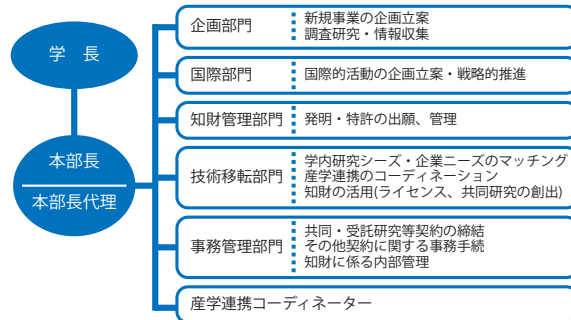


産学連携推進本部

<http://www.sangaku.titech.ac.jp/>

本学の産学連携活動の一元的窓口

本学の産学連携活動の一元的窓口として、東京工業大学産学連携ビジョンに即した取り組みを実践し、大学と産業界の協力関係を重視し、新産業の創生、イノベーションの促進に貢献するとともに、さらなる知財の創出を追求していきます。また、国際的産学連携にも重点的に取り組んで参ります。



企業との組織的連携

2012年5月1日現在

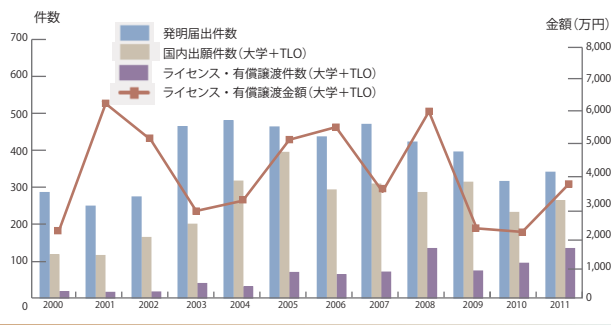
メーカーとはそれぞれ、次世代を担う製品や技術の研究開発に向けて組織的な連携を図っていきます。さらに商社との連携では、新技術と知的財産の事業化による社会的価値の創造という観点からの協定を締結。より広範囲なテクノロジーマーケティングの展開をめざします。

業種	企業名	締結日	テーマ
製造業	株式会社富士通研究所	2004年1月21日	IT分野の先端技術
	三菱化学株式会社	2004年1月22日	化学変換プロセス技術及び新機能性材料技術
	三菱電機株式会社	2004年2月27日	次世代先端デバイス技術
	パナソニック株式会社	2004年3月11日	次世代エレクトロニクス分野のコア技術
	凸版印刷株式会社	2004年10月13日	コーティング技術、微細加工技術を活用したナノ薄膜利用技術
	住友化学株式会社	2005年4月6日	次世代材料技術・触媒技術・ライフサイエンス
	キヤノン株式会社	2005年8月2日	先端材料とイメージング技術
	株式会社半導体理工学研究センター	2006年9月1日	次世代半導体技術
	株式会社日立製作所	2011年7月1日	社会イノベーションに貢献する次世代技術
非製造業 (サービス業)	三井住友銀行株式会社	2004年10月1日	新技術及び新産業の創出を通じた社会の持続的発展
	日本電信電話株式会社	2008年9月10日	情報通信分野の研究開発
非営利機関	株式会社野村総合研究所	2008年9月22日	サービスイノベーションに関する研究開発
	財団法人神奈川科学技術アカデミー	2007年4月2日	研究開発、人材育成、産業振興等

知財管理

2012年5月1日現在

発明届出件数	国内出願件数 (大学+TLO)	ライセンス・有償譲渡件数 (大学+TLO)	ライセンス・有償譲渡金額 (大学+TLO) (万円)
2000年度	286	17	2,167
2001年度	249	115	6,025
2002年度	274	164	5,000
2003年度	465	200	2,998
2004年度	481	317	3,728
2005年度	464	395	4,950
2006年度	437	293	5,296
2007年度	471	309	3,530
2008年度	423	286	5,729
2009年度	396	314	2,264
2010年度	316	232	2,165
2011年度	343	267	3,840



産学連携

東工大発ベンチャー企業一覧

2012年7月1日現在

承認日	名称	主な事業概要	申請資格 該当条項	起業時期
2003.1.9	日本シー・エー・ディー(株)	ゴルフ練習場の横搬送用チェインコンベア、ボールのティーアップ装置、これらの制御用コンピュータシステムの製作、工事、保守	第3号	1977.4.28
2003.1.9	(株)応用計測研究所	光を利用した計測をメインテーマにした製品の開発、販売	第3号	1981.4.11
2003.1.9	(株)脳機能研究所	脳波研究成果に基づく機器販売・研究受託	第2号	1994.2.1
2003.1.9	(有)新技術マネージメント	ECF(電界共役流体)技術の産業実用化事業	第2号	1995.7.21
2003.1.9	(株)タイトム	醸造コロイダルシリカの製造技術を核とする技術供与及び同技術を用いた製品の製造販売	第2号	1996.4.3
2003.1.9	(株)ディノ	コンピュータソフトウェアの製造販売ほか	第3号	1998.8.14
2003.1.9	(有)フウズラボ	3D映像の撮影、作画、改像、保管等に関するシステム及び機器開発ほか	第2号 第3号	1999.7.30
2003.1.9	(株)エコミート・ソリューションズ	廃棄物ガス化発電システムを中核に企業の廃棄物に最適な処理システムの設計ほか	第1号 第2号	2000.7.25
2003.1.9	(株)ケムジェネシス	コンビナトリアルケミストリー技術を軸とした化合物ライブラリーの製造・販売	第1号	2001.3.1
2003.1.9	(株)光コム	光コム発生器およびその応用製品の開発・製造・販売・サービス	第1号	2002.4.1
2003.1.9	(株)ジェノメンブレン	生命工学及び遺伝子工学の手法による医薬品、診断薬などの研究開発及び研究開発の受託研究並びに技術指導ほか	第1号 第2号	2002.4.1
2003.1.9	(株)アフエニックス	磁気ビーズを使用した創薬ターゲットの探索と創薬	第1号	2002.4.10
2003.1.9	(株)アイフェイス	熱拡散率測定装置「アイフェイスa」の製造販売ほか	第1号 第2号	2002.4.16
2003.5.12	(株)マイクロ・エナジー	産業廃棄物及び一般廃棄物を燃料としたガス化発電システム及び有機物熱分解ガス化処理装置等の開発及び製造・販売ほか	第1号	2003.4.9
2003.7.15	(株)コネクタス	情報システムに関する教育指導及びそのコンサルタント業務ほか	第3号	2001.12.20
2003.7.15	(株)薄膜ソフト	液晶やPDP用の薄膜作製プロセス開発及び作製装置の開発・販売ほか	第2号	2000.7.7
2004.5.18	(有)セラジックス	炭酸アパタイトナノ粒子を用いた遺伝子送達方法の開発	第1号	2002.7.15
2004.5.18	(株)ハイボット	各種ロボットの受注生産、販売ほか	第2号 第3号	2004.4.15
2004.6.15	東京ジオテック(株)	土木構造物、建築構造物の建設に際しての地盤調査、解析、予測及び地震、自然災害に関する地盤調査ほか	第1号 第2号 第3号	2004.5.18
2004.8.9	トリオンサイト企業組合	地方自治体の産業振興施策計画施策支援、調査事業請負、コンサルティングWEBサイト構築、販売、運営	第2号 第3号	2004.7.2
2004.9.13	イーコンピュート(株)	コンピュータシステム、ハードウェア、ソフトウェアの企画、設計、開発、製造及び販売、教育、保守、管理運営ほか	第1号 第2号	2004.1.15
2004.9.13	(株)TTES	土木・建築構造物の調査・計画・設計・点検診断及び補修管理・維持管理ほか	第2号 第3号	2004.7.22
2004.9.13	(有)mimi	携帯電話アプリケーションソフトの開発及び販売	第3号	2004.5.18
2004.11.2	Luvina Software Company	ソフトウェア開発・運用、ベトナム投資コンサルティングほか	第3号	2004.8.6
2004.12.13	(株)テクノマネージメントソリューションズ	次世代管理支援システムの開発・販売と教育・コンサルティング	第2号	2004.10.1
2004.12.13	HUB ネットワークス(株)	ソフトウェア及びハードウェア制御システムの開発	第2号 第3号	2003.4.10
2005.8.29	(有)カメラワークス	ソフトウェアの製作・販売及び管理、情報技術に関する研究開発、医療機器に関する研究開発	第3号	2005.8.4
2005.10.11	(株)インターローカス	CAD/CAM/CAE/CGに関するシステム開発・販売・教育、エンジニアリングサービス及びソリューション	第1号 第2号	2005.9.9
2005.10.11	川副フロンティアテクノロジー(株)	水素エネルギー関連材料技術等の技術開発及び技術コンサルティングほか	第2号	2003.1.6
2005.12.6	(株)アムシス	高周波関連半導体素子・部品・機器の開発・設計・製造・販売及び輸出入ほか	第2号	2005.10.11
2006.2.27	オイシックス(株)	インターネット上における食品販売、牛乳販売/酒販店経由の食品の販売	第3号	2000.6.1
2006.3.14	(株)テクノバース	ソフトウェアの製作、販売、賃貸及び保守管理ほか	第3号	2006.2.8
2006.4.25	(株)構造材料研究会	建築鋼構造及び建築耐震構造の分野における研究開発及び技術指導	第2号	1986.10.1
2007.2.27	(株)MERSTech	電力の発電、送電、消費、貯蔵に関わるパワーエレクトロニクス技術の開発、開発の受託及び売買ほか	第1号	2007.1.15
2007.4.2	(株)iMott	DCL 薄膜技術のコンサルティング及びコーティングサービス	第1号	2007.2.8
2007.4.2	(有)プレシステム	テストングツールの開発・販売ほか	第2号 第3号	2002.2.1

承認日	名称	主な事業概要	申請資格該当条項	起業時期
2007.7.23	(株)ポププリベラル	ウェブシステムを中心とするソフトウェアの受託開発 先進的な自社プロダクトの開発	第3号	2007.5.25
2007.9.10	(株)フォスメガ	医療関係機器、電子計測機器、ロボットの開発及び試作品の製造販売ほか	第2号	2007.8.10
2007.10.9	(株)ビジュアル・テクノロジー研究所	東工大所有の複数の特許技術を活用した照明・色彩・景観に関するシミュレーションソフトの開発・販売、特許ライセンス、コンサルティング業務	第1号 第2号	2007.8.17
2007.11.19	(株)TechEngine	情報品質管理と開発に関する業務	第3号	2007.5.1
2008.3.17	INFERRET JAPAN(株)	音声認識や自然言語処理を用いたスマートフォン用のアプリケーション開発、特に携帯電話会社に依存しない、音声で検索できるスマートフォン用のアプリケーション開発	第2号	2007.8.9
2008.5.26	インビテクス(株)	ユーザーインターフェース研究開発のための開発環境、開発ツール、ソフトウェアライブラリ、組み込みシステム、要素部品等の提供、その応用製品の開発・販売ほか	第1号	2008.3.27
2008.10.6	(株)プラズマコンセプト東京	大気圧プラズマ生成・応用装置のコンサルティング及び技術指導ほか	第2号	2008.7.2
2008.11.17	MCX(株)	エネルギー供給に係るシステム・設備機器の研究、開発、販売及びコンサルティング業務 高性能熱交換器、関連機器とそれらを構成するシステムの研究、開発、製造及び販売ほか	第2号	2008.3.3
2009.3.6	(株)エフェクテック戦略研究所	製造業等の技術経営戦略、事業開発戦略の策定と実行支援、及び科学技術政策の調査研究	第2号 第3号	2008.5.2
2009.3.6	MieruPC(株)	コンピュータ及びコンピュータ関連製品の開発、製造、販売	第2号 第3号	2009.2.19
2009.9.18	(株)NuSAC	原子力に関する調査・研究、教育、人材育成、人材紹介など関連したソリューション提案ほか	第2号	2009.4.28
2010.1.7	Bi2-Vision(株)	3D映像撮影システム及び大学、研究機関、企業研究所のロボット研究者らに対するアクティブ両眼視覚	第1号	2009.8.28
2010.3.12	名校志向塾(株)	留学生に対する学習指導、学習塾の経営、日本留学の仲介ほか	第3号	2009.4.2
2010.11.9	(株)テックアイデア	技術コンサルタント、アナログ、RF CMOS 回路技術の開発と販売、教育教材の作成と販売	第1号	2010.4.23
2010.12.3	(株)建築構造研究所	構造物の耐震、制震、免震技術に関する研究企画、実験検証、製品開発ほか	第1号 第2号	2010.9.17
2011.7.6	Resonic GmbH	・剛体特性計測機器の設計、製造及び販売 ・剛体特性の計測サービス	第1号	2011.3.14
2011.10.7	プラズマファクトリー株式会社	①大気圧プラズマ処理装置の開発、製造、販売 ②大気圧プラズマ照射実験の受託・代行、技術コンサルティング ③大気圧プラズマ効果に関する次世代の研究開発ほか	第1号 第2号	2011.7.4
2011.11.28	エナジー・ストレージ・マテリアルズ合同会社	・蓄電池及び蓄電設備並びにそれらの材料及び部品の研究、開発、製造及び販売 ・前号に関する新技術の研究、開発及び技術提供 ・前各号に関するソフトウェアの企画、開発及び販売並びに情報提供サービス	第1号	2011.8.10
2011.11.28	メドテックハート株式会社	・医療機器、医薬品の研究開発 ・医療機器、医薬品のライセンス契約 ・医療機器、医薬品の製造、販売及び輸出入 ・医療機器の臨床導入の伴うトレーニング及び講習会業務	第1号	2011.8.22
2011.12.19	株式会社ソイン	学習型人工知能"SOINN"に関する商用化技術開発、アプリケーション開発、事業化展開	第1号	2011.10.17
2012.6.11	株式会社ゼタ	・ESD法を利用したナノファイバーの製造装置やナノコーティング装置の開発販売 ・ナノファイバーやナノコーティング等のテクノロジーを用いたアプリケーション(カーボンナノファイバー、海水淡水化、植物用DDS等)の研究開発	第1号	2011.11.11

(注1①)旧申請資格該当条項(～2010.9.14)

第1号：職員又は学生が所有する特許権を活用 第2号：研究成果又は習得した技術を活用 第3号：学生が設立又は設立に深く関与した場合

(注1②)新申請資格該当条項(2010.9.15～)

第1号：職員又は学生が所有する特許権を活用、若しくは、研究成果又は習得した技術を活用 第2号：学生が設立又は設立に深く関与した場合

(注2)称号授与後、解散等した企業は掲載していない。

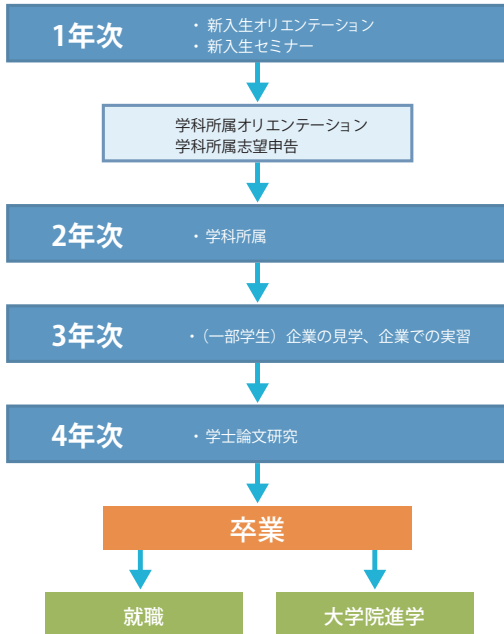
東工大発ベンチャー起業社数・称号授与件数

2012年7月1日現在

名称	年度	1999年以前	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
称号授与件数		—	—	—	16	3	11	6	3	9	5	4	2	5	1
起業社数		9	4	3	7	4	7	4	3	9	3	4	3	5	0
起業社数累計		9	13	16	23	27	34	38	41	50	53	57	60	65	65

教育プログラム

入学から卒業までの流れ



類別入学制度について

本学は、理学部、工学部及び生命理工学部を類を置き、本学に入学し学科に所属するまでの学生を所属させます。これは、自分に最適な道へ進むため、入学時には所属学科を決めず、7つの類別に入学者を決定するシステムで、2年次になる段階になって、自分の選んだ類別内のいずれかの学科に進むというものです(類外の学科に進む場合もあります)。

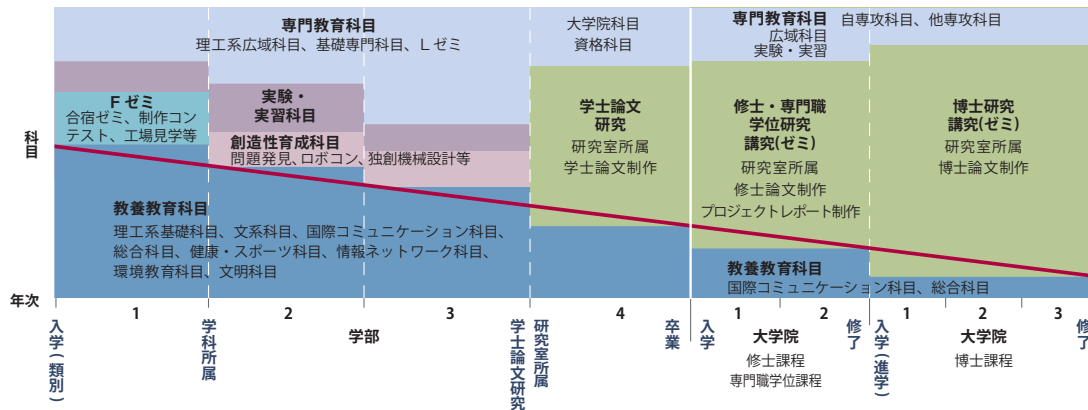
各類に対応する学科一覧

理学部	第1類	数学科	工学部	第4類	機械知能システム学科
		物理学科			機械宇宙学科
		化学科			国際開発工学科
		情報科学科			社会工学科
工学部	第2類	地球惑星科学科	第5類	第6類	制御システム工学科
		金属工学科			電気電子工学科
		有機材料工学科			情報工学科
		無機材料工学科			社会工学科
	第3類	社会工学科	生命理工学部	第7類	土木・環境工学科
		化学工学科			建築学科
		高分子工学科			社会工学科
		社会工学科			生命科学科
第4類	経営システム工学科	生命工学科			
	機械科学科				

約 90% 大学院進学

学部学生の標準的な教育課程

2012年5月1日現在



教育プログラム

サークル一覧

正課以外においても自己の可能性を追求するとともに、学生相互、顧問教員、OBとの交流を深め、心豊かな人間性と高度の専門知識や技能を身につける場となります。文化系の大学とは異なり、本学は、実験・実習・演習など、とかく勉学に追われ、学生各自の好みに応じたスポーツあるいは文化活動に大いに活躍することの重要性が忘れられがちになると思われます。そこで学生諸君が進んでこうした活動に参加でき、有意義な学生生活となるよう配慮し、サークル活動のための時間として水曜日の午後がとられています。本学には、次のようなサークルがあり、活発な活動が行われています。

文系サークル: 管弦楽団 / ロス・ガラチェロス / ギター研究会 / ロック研究会 / モダンジャズ研究会 / コールライネス / フォークソングサークル / 向岳合唱団 / 美術部 / アニメーション研究会 / SF研究会 / 演劇研究部 / 写真研究部 / 映画研究部 / デザイン研究会 / 英語研究部(ESS) / 漫画 / 茶道部 / 鉄道研究部 / 放送研究会 / 園芸部 / 将棋部 / 天文研究部 / クライダー部 / ロボット技術研究会 / 自動車部 / 無線研究部 / 社会科学研究部 / 公害研究会 / 新聞部 / 東洋思想研究会 / 現代問題研究会 / マイスター / 東工大 Science Techno/Bio Creative Staff / ジャグテック / 工大祭実行委員会 / 国際開発サークル / **体育系サークル:** 硬式野球部 / 準硬式野球部 / ソフトテニス部 / サッカー部 / ハンドボール部 / ラクビー部 / アメリカンフットボール部 / ハレーボール部 / 硬式庭球部 / バドミントン部 / 卓球部 / バスケットボール部 / フットサル部 / ゴルフ部 / 合気道部 / 柔道部 / 少林寺拳法部 / ワンダーフォーゲル部 / 漢友会 / サイクリング部 / 弓道部 / 剣道部 / 空手部 / 端艇部 / 陸上競技部 / オリエンテーリング部 / スキー部 / 水泳部 / ヨット部 / 山岳部 / ウェイトトレーニング部 / フォークダンスクラブ / フェンシング部 / 舞踏研究部 / 体操部 / トライアスロン部 / ハンググライダー部

教育ポリシー



学部教育プログラム

本学と東京医科歯科大学、東京外国語大学、一橋大学による四大学連合のメリットを活かし、他大学でも一つの専門分野を学び、複数学士を取得することも可能な「複合領域コース」や創造性の育成、国際的リーダーの育成を目的とした「理工系学生能力発見・開発プロジェクト」など本学は卓越性と多様性、創造性を特色とする教育プログラムを全学的に大きく展開しています。

- 四大学連合「複合領域コース」
<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yonandai/>
- 理工系学生能力発見・開発プロジェクト
<http://www.cradle.titech.ac.jp/elite/index.html>

大学院教育プログラム

計画的なカリキュラムと研究指導により、従来より短期間で博士の学位を取得できる「博士一貫教育プログラム」や博士後期課程と技術経営修士(専門職)の両方の学位取得を目指す「デュアルディグリープログラム」、大学院の教育研究の高度化及び多様化に資するための専攻、研究科横断型の「大学院特別教育研究コース」、中国清華大学と本学の学生がそれぞれのキャンパスで共に学び、両大学の修士、博士(博士課程は一方の学位)の学位を修得する「大学院合同プログラム」など、本学は様々な革新的大学院教育プログラムを創出しています。また、文部科学省の高等教育支援プログラムにも、多くのプログラムが採択されています。

- 博士一貫教育プログラム
<http://www.idep.titech.ac.jp/>
- デュアルディグリープログラム
http://www.mot.titech.ac.jp/dual_degree/
- 大学院特別教育研究コース
<http://www.eduplan.titech.ac.jp/promo/g-course.html>
- 東工大-清華大 大学院合同プログラム
<http://ttjp.ipc.titech.ac.jp/top/>

国際大学院プログラム

http://www.gakumu.titech.ac.jp/nyusi/prospectus/cat16/detail_74.html

本学は、長年にわたる国際大学院コースなどの留学生教育の経験を生かし、2007年に国際大学院プログラムを設置しました。国際大学院プログラムは講義を全て英語で提供する国際的な大学院プログラムです。履修する専門分野は様々ですが、多くは国際的課題となっている分野を専門とするコース(各プログラムに設置)において、関連する複数の専攻が教育を実施します。専門以外にも、教養、文化などの講義、日本語講義(初級～上級)を準備し、修了後、日本で職を求める学生が、日本社会で活躍できるよう工夫が施されています。本プログラムは、世界各国から本学の交流協定締結校出身学生を中心に優秀な学生に入学を許可します。特に優秀な学生には、文部科学省国費奨学金が与えられます。大学院の課程は、大部分が本学の通常大学院でも実施している、博士一貫教育課程ですが、専門分野によっては修士課程、博士課程などの課程が準備されているコースもあります。

プログラム

- 持続可能な発展のための国際高等技術者育成特別プログラム
- 都市・建築デザイン国際協働研究による人材養成プログラム
- 博士一貫教育・バイオ理工学国際コースプログラム
- 日本との架け橋となる行動的科学研究者育成プログラム
- 日本の先端ITのグローバル化を担う人材育成プログラム
- 技術の効果的利活用のための社会理工学国際プログラム技術の利活用コース
- 日本の地震防災技術による国際貢献を担う高度技術者の育成プログラム
- 東工大-清華大大学院合同プログラム(ダブル・ディグリープログラム)
- 東工大-理研連携国際スクール

教育プログラム

2012年度創造性育成科目・登録科目一覧

優れた「創造性育成科目」の選定および認定制度

教育推進室では、高い評価を受けた創造性教育をより進化・発展させるため、各学科・専攻等からの申請に基づき創造性育成科目を登録し、各授業科目における創意工夫を全学の経験として共有しています。

大江戸講/コラムランド/ものづくり/英語で学ぶ日本事情 | Topics on Japan | /メディアアート技法/ミュージックサウンド入門/留学対策セミナー(口頭表現)/機械工学系リテラシー/バイオ創造設計I/地惑巡検/金属工学創成実験/セラミクス実験第一/化学工学実験/応用化学実験/高分子工学実験/独創機械設計プロジェクト第一、第二/機械知能システム創造第二/機械創造/機械宇宙プロジェクトB/創造設計第一/メカトロニクスラボ/電気電子工学創造実験/創造設計第二/情報工学創作実習/情報工学科 情報実験第四 組込みシステム/環境計画演習/インフラストラクチャーの計画と設計/構造力学実験/地盤工学実験/コンクリート実験/建築設計製図第一/設計製図第二/建築設計製図第三/建築設計製図第四/建築意匠/造形演習/社会学計画演習/バイオ創造設計II/物理基本実験I/建築空間設計特別演習/建築意匠設計第二/システム開発プロジェクト総合実験基礎・システム開発プロジェクト総合実験応用/情報環境プロジェクト第一(必修)【後期】/化学環境学特論第二/人間情報学特別演習/人間環境システム特別実験第一/

エネルギーサイエンス創成プロジェクト/物理学実験第一、第二/コラムキングダム/化学総合実験第三/情報科学総合演習・実験/材料科学実験第一(無機担当分)/有機材料工学コロキウム第一、第二/プロジェクト研究/機械知能システム創造第一/機械宇宙ゼミ/情報システム基礎実験/空間デザイン/水理学実験/物質科学概論/化学産業ものづくり特論/ITインターナシップ1~10/物質派遣プロジェクト第一、第二/宇宙システム工学特論/ビジネス情報システムプロジェクト/横断型分野協同プラクティス/科学技術創造設計/共同創作実習(分子生命)/共同創作実習(生物プロ)/システムモデリング/微小重力利用物質科学/デザイン思考/原子伊物理学実験/国際開発コロキウム/メディアアートデッサン/ものづくりプロジェクトマネジメント/機械宇宙プロジェクトA/材料科学実験(金属)/教育システム研究プロジェクト/化学総合演習第三/有機・高分子物質研究第一/有機・高分子物質研究第二/有機・高分子物質研究第三/有機・高分子物質研究第四/

四大学連合「複合領域コース」(特別履修プログラム)履修者数

東京工業大学所属学生の実績数

年度	2006		2007		2008		2009		2010		2011		2012		
	志願者	履修者	志願者	履修者	志願者	履修者	志願者	履修者	志願者	履修者	志願者	履修者	志願者	履修者	
3 大学 間 コ ー ス	小 計	46	42	29	26	39	31	29	28	12	12	16	15	18	18
	総合生命科学※1	27	23	25	23	31	25	26	25	8	8	15	14	15	15
	海外協力※1	6	6	4	3	2	2	3	3	2	2	1	1	2	2
	生活空間研究※1	13	13			6	4			2	2	0	0	1	1
2 大 学 間 コ ー ス	小 計	136	101	77	54	90	68	81	74	33	33	61	56	42	39
	科学技術と知的財産※2	16	15	12	12	13	13	12	12	6	6	8	8	2	2
	技術と経営※2	31	6	28	6	26	6	13	6	3	3	10	6	6	5
	文理総合※2	40	37	19	18	22	20	33	33	14	14	30	29	15	15
	医用工学※3	33	31	14	14	24	24	16	16	8	8	8	8	12	11
	国際テクニカルライティング※4	16	12	4	4	5	5	7	7	2	2	5	5	7	6
医療・介護・経済※5															
合 計	182	143	106	80	129	99	110	102	45	45	77	71	60	57	

(注) ※1のコースは、東京工業大学と一橋大学及び東京医科歯科大学でのコースです。
 ※2のコースは、東京工業大学と一橋大学でのコースです。
 ※3のコースは、東京工業大学と東京医科歯科大学でのコースです。
 ※4のコースは、東京工業大学と東京外国語大学でのコースです。
 ※5のコースは、東京医科歯科大学と一橋大学でのコースで東京工業大学では履修できません。

教育
プログラム

東京工業大学-清華大学 大学院合同プログラム入学者数

2012年5月1日現在

修士課程は、両大学の教員の指導を受けながら研究を行い、両大学の修士号を取得するプログラムです。博士後期課程は、一方の大学の博士号を取得するプログラムです。

	2010年度			2011年度			2012年度		
	修士課程		博士後期課程	修士課程		博士後期課程	修士課程		博士後期課程
	東京工業大学	清華大学		東京工業大学	清華大学		東京工業大学	清華大学	
ナノテクノロジーコース	0	4	1	0	3	1	5	2012年10月 入学予定	2012年10月 入学予定
バイオコース	0	2	1	3	2	1	3		
社会理工学コース	1	3	1	3	3	2	4		
計	1	9	3	6	8	4	12		

国際連携

本学では、国際活動を展開するにあたって国際交流から国際連携へと活動を進化させてきました。国際連携の方針決定に中心的役割を果たす国際室は教員からなる国際企画員・アドバイザー・国際連携プランナーおよび国際室付事務職員、国際連携コーディネーターとその実行組織としての国際部から構成されています。本学はこれまで理工系大学にふさわしい戦略的な協定校とのネットワーク作り、積極的な海外進出、ポストクの拡充や国際的産学官連携の推進を実現するために国際室ポリシーペーパーや本学の将来構想において活動方針を明らかにしてきました。学生、教員、学内体制、講義システムにおける方針の策定を通じて、大学の様々な国際連携の実現に努力するとともに、本学学内の国際連携活動を支援しています。

国際室

<http://www.ipo.titech.ac.jp/>

学生について

日本人学生

- 英語・その他外国語の学力強化
- 海外留学の積極的な推奨
- 国際性を育てる授業・プログラムの拡充

留学生

- 海外広報活動の充実
- 奨学金制度の確立と重点配分
- 協定校との連携推進

教員について

- 語学力強化
- 教員の多国籍化
- 海外との教員交換
- 外国人客員教員の増員

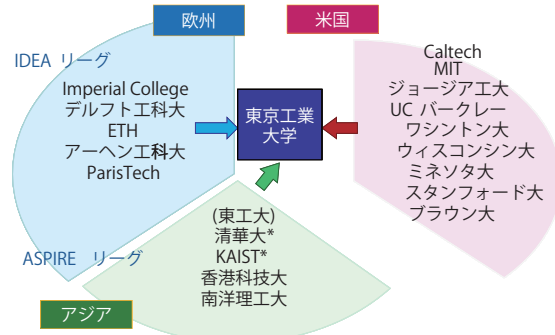
学内体制

- 国際オフィス
- 国際アドバイザー
- 事務職員の語学力強化
- 英語による情報提供
- 国際的産学官連携体制の推進

講義システム

- 国際大学院プログラム
- 海外向けカリキュラム
- 合同大学院プログラム
- 衛星通信/インターネットによる遠隔講義

国際的なネットワーク



※清華大、KAISTとは、別プログラムを実施

本学では、世界理工系トップ大学とのネットワークの構築にも積極的に取り組んでいます。

海外オフィス

本学では海外の大学と約90の大学間協定、約100の部局間協定を結んで、交流を行っています。さらに、本学と諸外国との学術交流及び国際連携を戦略的に推進するための活動拠点として、現在、海外3カ国3都市(タイ・バンコク、フィリピン・マニラ、中国・北京)にオフィスを設置しています。

タイオフィス (Tokyo Tech Thailand Office)

タイオフィスは、平成14年9月、タイ王国首都バンコクのタイ王国サイエンスパーク内に設置されました。本学とタイ王国は、古くから学術交流を行っており、教育面では、開設後も衛星通信 / インターネットによる遠隔講義を行い、学生・研究者等の人材交流などを行っています。また、その他タイで行われるイベントにおける支援、19年度から開始された東工大ータイ科学技術開発庁連携大学院(TAIST)事業に対する協力、帰国留学生や留学希望者への支援窓口としての活動も行っています。

中国オフィス (Tokyo Tech China Office)

北京市清華大学キャンパス内に、平成16年に設置された清華大学合同プログラム北京事務所とは別に、新たに平成18年10月に東京工業大学・清華大学協力事務所を設置し、現在、教育研究活動の交流などを進めています。

フィリピンオフィス (Tokyo Tech Philippines Office)

フィリピンオフィスは、平成17年9月、フィリピン共和国の首都マニラ中心部にあるデラ・サール大学マニラ校内に設置されました。本学とフィリピンの学術交流の歴史も長く、これまで様々なプロジェクトが行われており、開設後はインターネットを使用した双方向の講義配信/受信などの教育研究活動の交流、帰国留学生を含む人脈の形成、語学研修を組み合わせた学生交流、本学の広報などの活動を展開しています。

日本学術振興会国際交流関係事業実施状況

2011年度

事業名	実施件数	内継続分	事業名	実施件数	内継続分
二国間交流事業(共同研究・セミナー)	10	2	若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム	2	2
アジア・アフリカ学術基盤形成事業	1	1	若手研究者招聘事業	1	
アジア研究教育拠点事業	1	1	外国人招へい研究者(短期)	11	1
先端研究拠点事業	1	1	外国人招へい研究者(長期)	2	0
多国間国際研究協力事業	1	1	外国人招へい研究者(対応機関からの推薦)	3	0
国際研究集会	2		外国人特別研究員(一般)	40	29
特定国派遣研究者	1	0	外国人特別研究員(欧米短期)	3	0
論文博士号取得希望者に対する支援事業	5	4	サマープログラム	4	
海外特別研究員	5	0	HOPE ミーティング	3	
組織的な若手研究者等海外派遣プログラム	2	2	日本-欧州先端科学セミナー	1	
頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	2	1			

国際協力機構事業への協力教員(派遣)一覧

2011年度

派遣教員名	所属部局	事業名	派遣先	派遣期間
松下 慶寿	理工学研究科	エジプト日本科学技術大学プロジェクト長期派遣専門家(技術部長アドバイザー)	エジプト	2010/5/2~2013/5/1
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(2)	タイ	2011/4/17~4/20
三木 千壽	理工学研究科	エジプト日本科学技術大学プロジェクト運営指導調査	エジプト	2011/4/28~5/5
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(3)	タイ	2011/5/23~5/28
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(5)	タイ	2011/6/19~6/22
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(7)	タイ	2011/7/12~7/15
荒木 純道	理工学研究科	カンボジア国産業人材育成プロジェクト詳細計画策定調査	カンボジア	2011/7/31~8/3
因幡 和晃	理工学研究科	カンボジア国産業人材育成プロジェクト詳細計画策定調査	カンボジア	2011/7/31~8/6
高田 潤一	理工学研究科	カンボジア国産業人材育成プロジェクト詳細計画策定調査	カンボジア	2011/7/31~8/10
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(9)	タイ	2011/8/2~8/6
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(10)	タイ	2011/9/19~9/23
西原 明法	社会理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(18)	タイ	2011/9/22~9/27
吉川 邦夫	総合理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(15)	インドネシア・ベトナム	2011/10/3~10/14
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(19)	タイ	2011/10/9~10/13
屋井 鉄雄	総合理工学研究科	カンボジア・プノンペン市都市交通計画プロジェクト詳細計画策定調査	カンボジア	2011/10/16~10/22
阿部 直也	理工学研究科	フィリピン・プロジェクト研究「環境管理案件における課題対応能力の向上に係る取組みの現状と課題の分析」(現地調査(アジア分))	フィリピン	2011/10/16~10/22
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(20)	タイ	2011/10/19~10/22
松本 浩嗣	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(23)	タイ	2011/10/24~10/27
三浦 弘之	総合理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(23)	タイ	2011/10/24~10/27
山北 昌毅	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(34)	ベトナム	2011/11/6~11/10
倉林 大輔	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(31)	インドネシア・マレーシア	2011/11/9~11/14
竹村 次朗	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(35)	インドネシア	2011/11/20~11/26
森 伸介	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(35)	インドネシア	2011/11/21~11/24
吉村 千洋	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(35)	インドネシア	2011/11/21~11/24
吉川 邦夫	フロンティア研究機構	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(36)	ベトナム・カンボジア	2011/12/11~12/18
中崎 清彦	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(41)	フィリピン	2011/12/12~12/16
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(28)	タイ	2011/12/19~12/23
井上 裕嗣	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(38)	ベトナム	2011/12/25~12/28
北詰 昌樹	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(45)	ベトナム	2012/1/7~1/11
吉川 邦夫	フロンティア研究機構	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(44)	インドネシア	2012/1/17~1/20
中崎 清彦	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(48)	タイ	2012/1/17~1/20
竹村 次朗	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(48)	タイ	2012/1/17~1/20
竹村 次朗	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(48)	タイ	2012/1/17~1/21
吉村 千洋	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(48)	タイ・カンボジア	2012/1/17~1/25
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(55)	タイ	2012/1/19~1/26
丹治 保典	生命理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(49)	タイ	2012/1/25~1/28
高橋 邦夫	理工学研究科	インドネシア・溶接技術向上プロジェクト短期派遣専門家(溶接技術(溶接法、溶接機器))	インドネシア	2012/2/4~2/6
鈴木 正昭	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(62)	マレーシア	2012/2/8~2/11
日野出 洋文	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(62)	マレーシア	2012/2/8~2/11
丸山 俊夫	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(56)	インドネシア	2012/2/9~2/12
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(59)	タイ	2012/2/15~2/20
荒木 純道	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(59)	タイ	2012/3/4~3/7
日野出 洋文	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(83)	ベトナム	2012/3/7~3/10
サリム クリス	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(83)	ベトナム	2012/3/7~3/10
北詰 昌樹	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(79)	ベトナム	2012/3/9~3/12
田中 義敏	社会理工学研究科	インドネシア・知的財産保護強化プロジェクト短期派遣専門家(産学官協同・知財活用促進)	インドネシア	2012/3/10~3/18
山北 昌毅	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(43)	カンボジア	2012/3/11~3/25
三木 千壽	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(76)	タイ	2012/3/18~3/20
日野出 洋文	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(80)-1	タイ	2012/3/18~3/21
高田 潤一	理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(80)-1	タイ	2012/3/19~3/24
丹治 保典	生命理工学研究科	アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査(72)	カンボジア	2012/3/24~3/31
天谷 賢治	情報理工学研究科	カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト運営指導調査	カンボジア	2012/3/30~4/3
高田 潤一	理工学研究科	カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト運営指導調査	カンボジア	2012/3/30~4/4
水谷 義弘	理工学研究科	カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト運営指導調査	カンボジア	2012/3/30~4/4

国際連携

海外連携(国又は地域)

アジア ASIA



ASIA			
アジア留学生総計データ			
学部	177人	協定機関	大学間47機関
修士課程	336人		部局間46機関
博士後期課程	454人		
研究生等	85人		
2012年5月1日現在			

■ バングラデシュ人民共和国

留学生	学部 3	修士課程 1	博士後期課程 7	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ カンボジア王国

留学生	学部 0	修士課程 4	博士後期課程 6	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ 中華人民共和国

留学生	学部 83	修士課程 169	博士後期課程 191	研究生等 55
-----	-------	----------	------------	---------

大学間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	1980.10.23 ~ ハルビン工業大学
		1985.4.19 ~ 清華大学
		1991.8.14 ~ 上海交通大学
		1991.8.26 ~ 西安交通大学
		1993.9.2 ~ 浙江大學
		1993.12.9 ~ 北京理工大学
		1997.9.26 ~ 中国科学技術大学
		2006.11.28 ~ 大連理工大学
		2007.4.26 ~ 同濟大学
		2007.8.24 ~ 天津大学
	2010.4.6 ~ 香港科技大学	
部局間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	清華大学科学技術社会研究センター
		2001.9.19 ~ 社会理工学研究科経営工学専攻
		大連理工大学材料科学と工程学院
		2008.3.3 ~ 理工学研究科材料工学専攻
		東北師範大学城市与環境学院
		2008.6.11 ~ 総合理工学研究科
		南京理工大学機械工程学院
		2009.9.20 ~ 総合理工学研究科
		中国科学院電工研究所
		2009.11.25 ~ 統合研究ソリューション研究機構
		東南大学バイオエレクトロニクス国家重点研究室
		2010.1.11 ~ 資源化学研究所
		北京化工大学材料理工学院
		2010.1.11 ~ 資源化学研究所
		東南大学生物科学医学工学院
		2010.3.8 ~ 総合理工学研究科
		北京化工大学材料理工学院
	2010.3.9 ~ 総合理工学研究科	
	電子科技大学マイクロエレクトロニクス固体エレクトロニクス学部	
	2011.6.29 ~ 資源化学研究所	
	北京師範大学水科学研究院	
	2011.9.18 ~ 総合理工学研究科 環境理工学創造専攻	
	東南大学蘇州研究院	
	2011.12.28 ~ 資源化学研究所	
	南京大学大学院	
	2012.4.1 ~ 総合理工学研究科	
部局間 協定	● 学生交流	上海交通大学生命科学技術学院
		2011.12.16 ~ 生命理工学研究科
	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換	北京科学技術大学(旧北京鋼鉄学院)
	1980.8.31 ~ 工学部総合理工学研究科	

■ インド

留学生	学部 1	修士課程 1	博士後期課程 4	研究生等 1
-----	------	--------	----------	--------

部局間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	ペロール工科大学情報工学研究科
		2010.5.19 ~ 情報理工学研究科
		インド工科大学マドラス校バイオテクノロジー専攻
	2011.11.29 ~ 学術国際情報センター	

■ インドネシア共和国

留学生	学部 7	修士課程 21	博士後期課程 37	研究生等 6
-----	------	---------	-----------	--------

大学間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	1988.6.23 ~ バンドン工科大学
		1992.12.15 ~ インドネシア大学
		2000.2.21 ~ ガジャマダ大学
部局間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	インドネシア大学コンピュータ科学学部
		2011.12.9 ~ 像情報工学研究所
	● 学生交流	バンドン工科大学採炭・石油工学部
		2011.10.26 ~ 総合理工学研究科
	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換	インドネシア原子力庁
		1997.6.4 ~ 原子炉工学研究所

■ 大韓民国

留学生	学部 30	修士課程 35	博士後期課程 73	研究生等 7
-----	-------	---------	-----------	--------

大学間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	1986.5.20 ~ 韓国科学技術院(KAIST)
		1992.7.14 ~ 韓国海洋大学
		1992.9.22 ~ 高麗大学
		1993.7.31 ~ 慶北大学
		1996.4.24 ~ 漢陽大学
		2002.4.8 ~ 延世大学
		2003.3.12 ~ ポーハン科学技術大学
		2007.3.22 ~ ソウル国立大学
		2008.10.8 ~ 成均館大学校
		● 教員・研究者交流 / 学術情報交換
部局間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	仁荷大学化学工学部
		2000.2.1 ~ 理工学研究科化学工学専攻
		高麗大学新素材工学科
		2005.10.24 ~ 理工学研究科材料工学専攻
		忠南大学工科大学建築工学科
		2012.2.27 ~ 総合理工学研究科 環境理工学創造専攻
	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換	韓国機械研究院
		2008.4.21 ~ 精密工学研究所

■ ラオス人民民主共和国

留学生	学部 0	修士課程 0	博士後期課程 0	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

部局間 協定	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換	ラオス人民民主共和国ルアンパバーン政府世界遺産局
		2006.4 ~ 理工学研究科国際開発工学専攻及び学術国際情報センター

■ マレーシア

留学生	学部 9	修士課程 7	博士後期課程 12	研究生等 4
-----	------	--------	-----------	--------

■ モンゴル国

留学生	学部 7	修士課程 4	博士後期課程 6	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

大学間 協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	2003.6.24 ~ モンゴル科学技術大学
		2007.4.4 ~ モンゴル国立大学
	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換	モンゴル国立大学原子核研究センター
		2011.9.9 ~ 革新的原子力研究センター(CRINES)

■ ミャンマー連邦

留学生	学部 0	修士課程 3	博士後期課程 0	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ ネパール連邦民主共和国

留学生	学部 0	修士課程 2	博士後期課程 3	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ パキスタン・イスラム共和国

留学生	学部 0	修士課程 0	博士後期課程 3	研究生等 1
-----	------	--------	----------	--------

■ フィリピン共和国

留学生	学部 0 修士課程 5 博士後期課程 14 研究生等 1
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1992.5.20 ~ デラサール大学 1992.8.31 ~ フィリピン大学
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 フィリピン大学土木関係学科等 1993.04 ~ 工学部土木工学科 デラサール大学工学部化学工学科 2005.9.18 ~ 理工学研究所化学工学専攻 フィリピン工科大学工学部 2010.9.20 ~ 理工学研究所国際開発工学専攻

■ シンガポール共和国

留学生	学部 2 修士課程 3 博士後期課程 0 研究生等 5
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1991.2.11 ~ シンガポール国立大学 2009.12.10 ~ 南洋理工大

■ スリランカ民主社会主義共和国

留学生	学部 1 修士課程 4 博士後期課程 7 研究生等 0
-----	-----------------------------

■ 台湾

留学生	学部 0 修士課程 4 博士後期課程 10 研究生等 3
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1997.11.24 ~ 国立成功大学 1998.11.16 ~ 国立清華大学 1999.1.26 ~ 国立台湾大学 2004.11.9 ~ 国立交通大学 2007.10.15 ~ 国立中央大学
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 国立中央大学防災研究センター 2005.11.15 ~ 都市地震工学センター ● 学生交流 国立台湾大学工学院国立台湾大学電気情報学院 2011.5.2 ~ 理工学研究所(工学系)

■ タイ王国

留学生	学部 8 修士課程 48 博士後期課程 60 研究生等 1
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1985.10.15 ~ チュラロンコン大学 1992.11.24 ~ キングモンクット工科大学ラカパン校 1996.3.26 ~ タマサート大学 1996.12.26 ~ カセサート大学 2001.9.20 ~ 国家科学技術開発庁(タイ NSTDA) 2005.1.18 ~ キングモンクット工科大学ノースバンコク校 2005.12.21 ~ アジア工科大学院 2006.12.25 ~ TAIST-Tokyo Tech 2007.10.1 ~ キングモンクット工科大学トンブリ校
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 タマサート大学工学部(化学工学科) 2006.9.8 ~ 理工学研究所化学工学専攻 チェンマイ大学工学部 2010.3.1 ~ 理工学研究所(工学系) マヒドン大学理学部・大学院理学研究科 2010.6.10 ~ 大学院生命理工学研究所 ユネスコ・バンコク事務所 2011.2.7 ~ 学術国際情報センター 及び 大学院理工学研究所国際開発工学専攻 ● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 チュラロンコン大学工学部 2007.6.20 ~ 学術国際情報センター チェンマイ大学工学部 2010.3.28 ~ 学術国際情報センター チュラロンコン大学工学部原子核工学科 2010.5.12 ~ 原子炉工学研究所 タイ原子力技術研究所 2011.7.13 ~ 原子炉工学研究所

■ ベトナム社会主義共和国

留学生	学部 26 修士課程 25 博士後期課程 21 研究生等 1
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1995.8.2 ~ ハノイ工科大学 1995.8.2 ~ ハノイ大学 2012.2.2 ~ ホーチミン市工科大学
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ハノイ大学理学部物理学科 2003.10.15 ~ 原子炉工学研究所 レクイーン技術大学 2011.11.18 ~ エージェントベース社会システム科学研究センター ● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 ベトナム原子力委員会 1999.11.25 ~ 原子炉工学研究所 ハノイ工科大学日立 GE ニュークリア・エナジー 2011.4.22 ~ 原子炉工学研究所 ベトナム電力大学 2011.7.21 ~ 原子炉工学研究所

■ ブータン王国

留学生	学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0
-----	-----------------------------

オセアニア

OCEANIA



OCEANIA

オセアニア留学生総計データ

学部	0 人	協定機関	大学間 2機関
修士課程	0 人	部局間	2機関
博士後期課程	1 人		2012年5月1日現在
研究生等	0 人		

■ オーストラリア連邦

留学生	学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1994.8.1 ~ メルボルン大学 2003.4.29 ~ シドニー工科大学
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ロイヤル・メルボルン工科大学建設環境工学部建築学科 1999.8 ~ 工学部建築学科

■ ニュージーランド

留学生	学部 0 修士課程 0 博士後期課程 0 研究生等 0
-----	-----------------------------

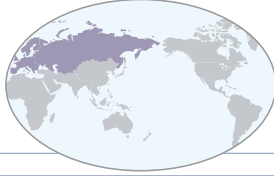
コンソーシアム

部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 アジア・オセアニア地域工学系大学連盟(AOTULE) (メルボルン大学、清華大学、国立台湾大学、香港科学技術大学、バンドン工科大学、韓国高等科学技術院、マラヤ大学、オークランド大学、南洋理工大、チュラロンコン大学) 2007.3.20 ~ 理工学研究所(工学系)
-------	---

海外連携(国又は地域)

ヨーロッパ

EUROPE



EUROPE			
ヨーロッパ留学生総計データ			
学部	3人	協定機関	大学間32機関
修士課程	13人		部局間49機関
博士後期課程	23人		
研究生等	45人		
2012年5月1日現在			

■ オーストリア共和国

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程0	研究生等0
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ウィーン工科大学建築計画学部 2009.9.1～工学部 			

■ ベルギー王国

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程0	研究生等0
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1992.9.15～ゲント大学 			

■ ブルガリア共和国

留学生	学部1	修士課程0	博士後期課程0	研究生等0
-----	-----	-------	---------	-------

■ デンマーク王国

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程0	研究生等1
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1992.9.21～デンマーク工科大学 2007.8.13～コペンハーゲン大学、カールスバーグ研究所 			

■ フィンランド共和国

留学生	学部0	修士課程1	博士後期課程0	研究生等3
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1995.10.24～アールト大学 1999.4.16～ラッペンランタ工科大学 			
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ユヴァスキュラ大学情報技術学部・アゴラセンター 2009.3.5～社会理工学研究科 			

■ フランス共和国

留学生	学部0	修士課程4	博士後期課程3	研究生等7
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1992.9.21～ボン・ゼ・ショセ(エコール・デ・ボン・パリテック)* 2002.4.22～アール・ゼ・メティエ* 2002.5.9～レンヌ第一大学 2004.4.8～ストラスブール大学 2007.4.4～パリ・テック** 2007.4.11～エコール・デ・ミンヌ・ド・パリ* ● 学生交流 2006.2.1～エコール・ポリテクニーク* 			
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 国立科学研究センター・高温放射線極限条件材料研究所 2008.9.12～原子炉工学研究所 ボン・ゼ・ショセ 2010.9.9～理工学研究科、総合理工学研究科、社会理工学研究科 テレコムパリテック 2012.3.3～社会理工学研究科 ● 学生交流 パリ建築大学ヴィレット校 2000.7.19～工学部 パリ第6大学 2012.3.27～理工学研究科(工学系) 			

*: グランドゼコール(リイベルレの高等教育機関) **: 在(リ)理工学系グランドゼコール連合

■ ドイツ連邦共和国

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程2	研究生等10
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1982.7.5～ミュンヘン工科大学 1992.4.9～シュツツガルト大学 2001.8.1～ヨハネス・ゲーテンベルク大学 2004.2.3～ハノーバー大学 2007.9.19～アーヘン工科大学 2008.10.2～ベルリン工科大学 			
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ミュンヘン大学人間科学研究センター 2001.5.1～総合理工学研究科 ドイツ癌研究センター 2008.5.20～生命理工学研究科 エルンストマッハ研究所 2008.11.19～応用セラミックス研究所 マックスプランク研究所適応的行動と認知研究センター 2009.3.11～社会理工学研究科 ハイデルベルク大学薬学分子生命工学研究所 2009.9.24～生命理工学研究科 ハイデルベルク大学生化学センター 2009.9.24～生命理工学研究科 ハンブルク工科大学技術・マネジメント研究科 2010.10.1～社会理工学研究科 エルランゲン＝ニュルンベルク大学工学部 2010.11.20～学術国際情報センター ● 学生交流 アーヘン工科大学 数学・情報科学・自然科学部 土木工学部 機械工学部 地質資源材料工学部 電気工学・情報技術学部 2012.2.8～理工学研究科(工学系) ● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 ポル・ドゥルード固体物理学研究所 1994.9～量子ナノエレクトロニクス研究センター カールスルーエ研究所 1998.2.5～原子炉工学研究所 			

■ ハンガリー共和国

留学生	学部0	修士課程2	博士後期課程0	研究生等0
-----	-----	-------	---------	-------

■ イタリア共和国

留学生	学部0	修士課程1	博士後期課程1	研究生等1
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1997.3.27～ポローニヤ大学 1998.9.21～ローマ大学 2002.5.13～ミラノ工科大学 			
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 イタリア学術研究会議・電子磁性材料研究所 2007.10.17～理工学研究科 トレント大学認知科学部 2010.2.25～社会理工学研究科 ピサ大学工学部 2010.4.13～理工学研究科(工学系) ● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 IAC-CNR 2011.2.10～学術国際情報センター 			

■ カザフスタン共和国

留学生	学部1	修士課程1	博士後期課程1	研究生等0
部局間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 カザフ国立大学化学部 2006.11.3～理工学研究科化学工学専攻 カザフ・プリティッシュコ工科大学エネルギー・石油・ガス産業学部 2006.11.3～理工学研究科化学工学専攻 			

■ キルギス

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程0	研究生等0
-----	-----	-------	---------	-------

■ リトアニア

留学生	学部1	修士課程1	博士後期課程2	研究生等0
-----	-----	-------	---------	-------

■ オランダ王国

留学生	学部0	修士課程0	博士後期課程0	研究生等4
大学間協定	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 2009.2.23～デルフト工科大学 			

ノルウェー王国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等3

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1993.2.24～ノルウェー工科大学
1993.2.24～ノルウェー工科大学

ポーランド共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等1

ルーマニア

留学生 学部0 修士課程2 博士後期課程2 研究生等2

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
バベス・ボライア大学物理学部
2008.3.7～原子炉工学研究所

ロシア連邦

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程5 研究生等1

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ボレスコフ触媒研究所
2008.01.??～原子炉工学研究所

セルビア共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等0

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ベオグラード大学ピンカ原子力科学研究所
2011.4.5～原子炉工学研究所
ベオグラード大学機械工学部
2012.3.21～総合理工学研究所

スロバキア共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

スロベニア共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
リュブリャナ大学人文学部
2007.2.27～留学生センター

スペイン

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等3

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
セビリア大学物性物理学部
2010.3.26～応用セラミクス研究所
マドリッド工科大学
2010.5.14～理工学研究所(工学系)

スウェーデン王国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程2 研究生等6

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1991.9.16～スウェーデン王立工科大学
1992.10.30～シャルマーズ工科大学
2008.2.4～リンシェーピン大学

スイス連邦

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1978.9.6～スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH)
2007.7.16～チューリッヒ大学
2011.3.8～スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ジュネーブ大学理学部
2002.4.1～理化学部、工学部、総合理工学研究所
スイス連邦工科大学ローザンヌ校生物工学研究所
2009.9.24～生命理工学研究所
スイス連邦工科大学ローザンヌ校生物システム物理学研究所
2009.9.24～生命理工学研究所

タジキスタン共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

ウクライナ

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

英国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等1

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1993.2.26～ストラスカイド大学
2001.3.19～ケンブリッジ大学チャーチルカレッジ
2010.11.4～ダーラム大学

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ブリストル大学地震工学センター
2009.1.1～都市地震工学センター
ヨーク大学化学部
2011.2.15～資源化学研究所
マンチェスター大学光子科学研究所・工学 / 物理学部化学科学部
2011.2.11～資源化学研究所
インペリアルカレッジ理学部化学専攻
2011.3.15～生命理工学研究所
サウサンプトン大学
2011.6.7～理工学研究所(工学系)

● 学生交流
ケンブリッジ大学工学部
2005.04～理工学研究所(工学系)
インペリアルカレッジ工学部
2005.4.5～理工学研究所(工学系)
オックスフォード大学エンジニアリング科学部
2006.10.30～理工学研究所
ウォーリック大学工学部
2007.10～理工学研究所
オックスフォード大学化学部
2008.1.30～理工学研究所
ケンブリッジ大学化学部
2008.4.25～理工学研究所
オックスフォード大学材料科学部
2008.5.7～理工学研究所(工学系)

コンソーシアム

● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ヨーロッパ原子力教育ネットワーク協会
2009.3.6～原子炉工学研究所、大学院理工学研究所原子核工学専攻
エラスムス・ムンドス BEAM プログラム
(エコー・サントラル・パリ(ECP)、エコー・サントラル・ナント、ブリュッセル自由大学、ミュンヘン工科大学、マドリッド工芸大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京工業大学、岡山大学、慶應義塾大学、早稲田大学、韓国科学技術院(KAIST)、漢陽大学校)
2010.7.15～理工学研究所(工学系)

● 学生交流
デルフト工科大学(オランダ)、デンマーク工科大学(デンマーク)
王立工科大学(スウェーデン)
大阪大学工学研究科、東京大学工学系研究科及び新領域創成科学研究科
2009.3～理工学研究所機械系
欧州原子力教育ネットワーク協会(ENEN)(代表)
原子力科学技術機構(INSTN)(フランス)
ナント鉱業大学(EMN)(フランス)
プカレスト工科大学(UPB)(ルーマニア)
スロバキア工科大学(STU)(スロバキア)
京都大学原子炉実験所(日本)
日本原子力研究開発機構(JAEA)(日本)
2010.6.11～理工学研究所(原子核専攻)・原子炉工学研究所

● 教員 / 情報
欧州委員会共同研究センター、ロスアトム(ロシア)
2010.11.22～革新的原子力研究センター

中東

MIDDLE EAST



MIDDLE EAST

中東留学生総計データ			
学部	3人	協定機関	大学間 3機関 部局間 1機関
修士課程	4人		
博士後期課程	17人		
研究生等	4人		
2012年5月1日現在			

■ イラン・イスラム共和国

留学生	学部 1	修士課程 0	博士後期課程 7	研究生等 1
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 2000.11.2 ~ シャリアフ工科大学			

■ ヨルダン・ハシェミット王国

留学生	学部 0	修士課程 0	博士後期課程 0	研究生等 1
-----	------	--------	----------	--------

■ レバノン共和国

留学生	学部 0	修士課程 0	博士後期課程 0	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ パレスチナ

留学生	学部 0	修士課程 1	博士後期課程 0	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ サウジアラビア王国

留学生	学部 2	修士課程 0	博士後期課程 0	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ シリア・アラブ共和国

留学生	学部 0	修士課程 2	博士後期課程 3	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

■ トルコ共和国

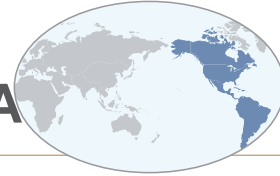
留学生	学部 0	修士課程 1	博士後期課程 6	研究生等 2
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1992.12.21 ~ 中東工科大学 1998.3.20 ~ ボアージュ工科大学			
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ユルドゥス工科大学 電気・電子工学部 機械工学部 土木工学部 化学・金属工学部 造船工学部 商船学部 自然・応用科学研究所 2011.7.22 ~ 理工学研究科 (工学系)			

■ アラブ首長国連邦

留学生	学部 0	修士課程 0	博士後期課程 1	研究生等 0
-----	------	--------	----------	--------

アメリカ

AMERICA



NORTH AMERICA

北米留学生総計データ			
学部	0人	協定機関	大学間 4機関 部局間 14機関
修士課程	7人		
博士後期課程	11人		
研究生等	5人		
2012年5月1日現在			

■ カナダ

留学生	学部 0	修士課程 1	博士後期課程 2	研究生等 0
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 2006.12.1 ~ ウォータールー大学			
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 カナダ気象庁・数値予報研究部 2002.12.18 ~ 学術国際情報センター			

■ アメリカ合衆国

留学生	学部 0	修士課程 6	博士後期課程 9	研究生等 5
大学間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 1974.5.4 ~ ワシントン大学 2001.1.17 ~ ジョージア工科大学 2012.4.10 ~ カリフォルニア大学バークレー校			
部局間協定	● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換 ワシントン大学建築都市計画学部建築学科 1978.1 ~ 工学部建築学科 マサチューセッツ工科大学機械工学科 1991.6.6 ~ 工学部制御システム工学科 スタンフォード大学機械工学科 1999.10 ~ 理工学研究科機械3専攻 マサチューセッツ工科大学先進原子力研究センター 2006.2.26 ~ 革新的原子力研究センター ライス大学電気・コンピューター工学科 2006.5.23 ~ 像情報工学研究所 ライス大学電気・コンピューター工学科 2008.2.12 ~ 総合理工学研究科物理電子システム創造専攻 ライス大学ナノスケール科学技術研究所 2008.2.18 ~ 理工学研究科物性物理学専攻 カリフォルニア大学バークレー校 (太平洋地震工学研究センター) 2008.2.7 ~ 都市地震工学センター ペンシルバニア州立大学材料科学科 2009.4.8 ~ 理工学研究科材料工学専攻無機材料分野 ハワイ大学マノア校機械工学専攻 2011.3.2 ~ 理工学研究科機械制御システム専攻 ハワイ大学マノア校言語・言語学・文学カレッジ 2012.3.19 ~ 社会理工学研究科			
	● 学生交流 ミネソタ大学工学部 2005.2.1 ~ 工学部 ウィスコンシン大学マディソン校工学部 2010.9.15 ~ 理工学研究科 (工学系)			
	● 教員・研究者交流 / 学術情報交換 カリフォルニア大学サンディエゴ校 サンディエゴスーパーコンピューターセンター (SDSC) 2003.1 ~ 学術国際情報センター			

CENTRAL AND SOUTH AMERICA

中南米留学生総計データ

学部	3人	協定機関	大学間 1機関
修士課程	8人		部局間 0機関
博士後期課程	13人		
研究生等	5人		

2012年5月1日現在

■ アルゼンチン共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ エクアドル共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ キューバ共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ コスタリカ共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ コロンビア共和国

留学生 学部 1 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 1

■ ニカラグア共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 2 研究生等 0

■ ブラジル連邦共和国

留学生 学部 2 修士課程 1 博士後期課程 4 研究生等 2

大学間協定 ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1991.5.14～サンパウロ大学

■ ボリビア共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 1 研究生等 0

■ ジャマイカ

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 0 研究生等 1

■ メキシコ合衆国

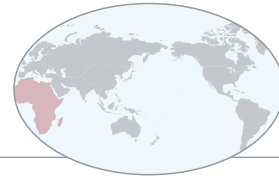
留学生 学部 0 修士課程 3 博士後期課程 3 研究生等 1

■ ペルー共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

アフリカ

AFRICA



AFRICA

アフリカ留学生総計データ

学部	1人	協定機関	大学間 0機関
修士課程	6人		部局間 3機関
博士後期課程	12人		
研究生等	4人		

2012年5月1日現在

■ アルジェリア民主人民共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 4 研究生等 2

■ ベナン共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ カメルーン共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ エジプト・アラブ共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 2

部局間協定 ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
アシュート大学
2010.2.1～原子炉工学研究所
エジプト日本科学技術大学(E-JUST)
2012.1.15～理工学研究科工学系、社会理工学研究科

■ エチオピア連邦民主共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ ガーナ共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ ケニア共和国

留学生 学部 0 修士課程 2 博士後期課程 0 研究生等 0

■ スーダン共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ タンザニア連合共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 0 研究生等 0

部局間協定 ● 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
タンザニア水産学研究所
2006.4.1～生命理工学研究科

■ チュニジア共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ ナイジェリア連邦共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 1 研究生等 0

■ シエラレオネ共和国

留学生 学部 0 修士課程 1 博士後期課程 0 研究生等 0

■ 南アフリカ共和国

留学生 学部 0 修士課程 0 博士後期課程 3 研究生等 0

■ ウガンダ共和国

留学生 学部 1 修士課程 0 博士後期課程 0 研究生等 0

キャンパスマップ

大岡山キャンパス 建物配置図



キャンパスマップ

すずかけ台キャンパス 建物配置図



B地区 B-Area	
1 B1・B2高層棟	16,103m ²
2 B1・B2-A棟	2,753m ²
3 B1・B2-B棟	1,622m ²
4 B1・B2-C棟	980m ²

S地区 S-Area	
1 S1棟	6,000m ²
2 S2高層棟	7,687m ²
3 S3棟	4,697m ²
4 S4棟	613m ²
5 S5棟	440m ²
6 S6棟	593m ²
7 S7棟	1,672m ²

R地区 R-Area	
1 R1高層棟	8,180m ²
2 R1-A棟	1,395m ²
3 R1-B棟	216m ²
4 R2高層棟	8,582m ²
5 R2-A棟	656m ²
6 R2-B棟	1,001m ²
7 R2-C棟	711m ²
8 R3本棟	4,865m ²
9 R3-A棟	200m ²
10 R3-B棟	225m ²
11 R3-C棟	844m ²
12 R3-D棟	1,500m ²

G地区 G-Area	
1 G1高層棟	9,571m ²
2 G2高層棟	7,665m ²
3 G3高層棟	11,669m ²
4 G4棟	1,865m ²
5 G4-A棟	494m ²
6 G5高層棟	6,720m ²

H地区 H-Area	
1 H1棟	3,191m ²
2 H2棟	

J地区 J-Area	
1 J1高層棟	6,277m ²
2 J2・J3高層棟	29,272m ²

棟番号案内		Introductory Guide
生命理工学研究科	B1-2	
総合理工学研究科	G1-5	
すずかけホール	H1-2	
資源化学研究所	R1	
精密工学研究所	R2	
像情報工学研究施設	R2	
応用セラミックス研究所	R3	
事務部	J1 J2	
総合研究館	S1	
フロンティア研究センター	S2	
附属図書館	S3	

田町キャンパス 建物配置図



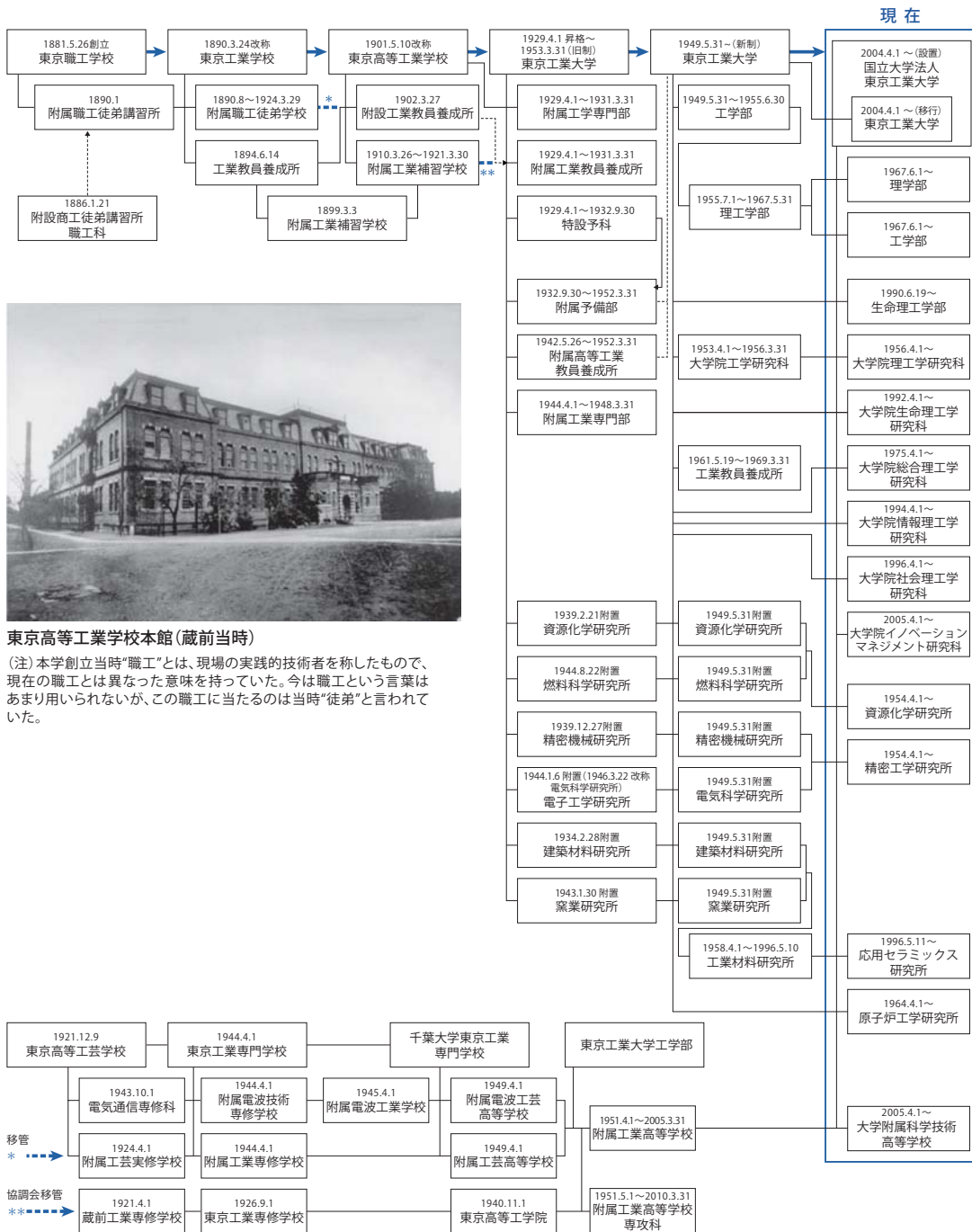
キャンパス所在地

団地名	研究科等名	所在地	交通	備考
大岡山	理工学研究科、情報理工学研究科、社会理工学研究科、イノベーションマネジメント研究科、原子炉工学研究所、理学部、工学部、事務局、その他	〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1	東京急行大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩1分	
	国際交流会館	〒145-0061 大田区石川町1-1-18	東京急行大井町線・目黒線 大岡山駅下車 徒歩10分 東京急行池上線 石川台駅下車 徒歩7分	
すずかけ台	生命理工学研究科、総合理工学研究科、資源化学研究所、精密工学研究所、応用セラミクス研究所、生命理工学部、総合研究館、その他	〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259	東京急行田園都市線 すずかけ台駅下車 徒歩5分	
田町	東京工業大学附属科学技術高等学校、その他	〒108-0023 港区芝浦3-3-6	JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩2分	
松風台	松風学舎、松風留学生会館	〒227-0067 横浜市青葉区松風台21-13	東京急行田園都市線 青葉台駅下車 徒歩15分	
梅が丘	梅が丘留学生会館	〒227-0052 横浜市青葉区梅が丘17-2	東京急行田園都市線 藤が丘駅下車 徒歩15分	
戸田	「福利厚生関係施設」(艇庫)	〒355-0024 埼玉県戸田市戸田公園1-55	JR埼京線戸田公園駅下車 徒歩15分	収容人員 30名
塩山	「福利厚生関係施設」(山小屋)	〒402-0211 山梨県甲州市塩山大字小屋敷2319-1	JR中央本線塩山駅下車 徒歩約20Km	収容人員 40名
草津	火山流体研究センター(草津白根火山観測所)	〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津字滝尻原641-36	JR吾妻線長野原駅から JRバス草津温泉下車 徒歩30分	

キャンパス

歴史

沿革図



沿革

年	月日	沿革	歴代校長・学長
1881年	5.26	東京職工学校設立	山岡 次郎(事務取扱)(1881年5月)
1890年	3.24	東京工業学校と改称	正木 退蔵(1881年9月) 手島 精一(1890年3月) 阪田 貞一(1898年2月)
1901年	5.10	東京高等工業学校と改称	手島 精一(1899年2月) 手島 精一(1901年5月) 阪田 貞一(1916年9月) 吉武 栄之進(1920年12月) 中村 幸之助(1926年6月)
1929年	4. 1	東京工業大学へ昇格。染料化学科、紡織学科、窯業学科、応用化学科、電気化学科、機械工学科、電気工学科及び建築学科の8学科と数学教室、物理学教室、物理化学教室及び分析化学教室の4教室設置	
1930年	7. 10.	無機化学教室設置 有機化学教室設置	
1931年	9.	化学工学科教室設置	
1932年	9.30	附属予備部設置	
1934年	2.28	建築材料研究所附置	中村 幸之助(1929年4月)
1935年	6.	工業経済教室設置	
1939年	2.21 4. 8 12.27	資源化学研究所附置 航空機工学科設置 精密機械研究所附置	
1940年	4. 1	化学工学科教室を廃止し、化学工学科新設	
1941年	4. 1	金属工学科及び燃料工学科新設	
1942年	5.26	附属高等工業教員養成所設置	
1943年	1.30 10. 1	窯業研究所附置 特別研究生制度発足、幹部技術者講習所及び附属予備部特別予科設置	
1944年	1. 6 4. 1 8.22	電子工学研究所附置 附属工業専門部設置。機械科、電気科、電気通信科、航空機科、金属工学科及び化学工学科設置 燃料科学研究所附置	八木 秀次(1942年3月)
1945年	4. 1 12.31	附属工業専門部に窯業科新設 航空機工学科及び燃料工学科並びに専門部航空機科廃止	渡辺孫一郎(事務取扱)(1944年12月)
1946年	3.22	電子工学研究所を電気科学研究所と改称	
1948年	3.31	附属工業専門部廃止	
1949年	5.31	国立学校設置法公布により国立東京工業大学新設、工学部設置 旧制東京工業大学、同附属予備部及び同附属高等工業教員養成所は新制に包括し、建築材料研究所、資源化学研究所、精密機械研究所、窯業研究所、電気科学研究所及び燃料科学研究所附置	和田 小六(1944年12月)
1951年	4. 1	千葉大学東京工業専門学校附属電波工芸高等学校及び同附属工芸高等学校を本学工学部附属工業高等学校として移管	
1952年	3.31	附属予備部及び附属高等工業教員養成所廃止	山本 勇(事務取扱)(1952年6月)
1953年	4. 1	大学院工学研究科設置。応用物理学、化学及び化学工学、機械工学、電気工学、金属工学、繊維工学及び建築学の7専攻設置	
1954年	4. 1 9. 7	建築材料研究所、資源化学研究所、精密機械研究所、窯業研究所、電気科学研究所及び燃料科学研究所を建築材料研究所、資源化学研究所、精密工学研究所及び窯業研究所に整備し、学部印刷技術研究施設設置講座新設	内田 俊一(1952年8月)
1955年	7. 1	工学部を理工学部と改称。理工学部に数学、物理学、化学、化学工学、機械工学、電気工学、金属工学、繊維工学、建築学及び経営工学の10学科設置	
1956年	4. 1	理工学部に原子炉研究施設設置。大学院工学研究科を大学院理工学研究科と改称	
1957年	4. 1	大学院理工学研究科に原子核工学専攻設置	
1958年	4. 1	建築材料研究所及び窯業研究所を統合し、工業材料研究所附置	
1960年	4. 1	理工学部に数学科、物理学科、化学科、金属工学科、繊維工学科、無機材料工学科、化学工学科、工業化学科、機械工学科、制御工学科、経営工学科、電気工学科、電子工学科及び建築学科の14学科設置	山内 俊吉(1958年8月)
1961年	4. 1 5.19	理工学部に応用物理学科設置 工業教員養成所設置	
1962年	4. 1	理工学部に高分子工学科、応用電気化学科及び生産機械工学科設置	
1963年	3.31 4. 1	大学院の名称及び課程を理工学研究科及び5年課程と規定 理工学部に酵素化学研究施設設置 理工学部工業化学科を合成化学科と改称	
1964年	4. 1	原子炉研究施設を廃止し、原子炉工学研究所附置 理工学部に土木工学科設置 大学院理工学研究科に制御工学専攻、電子工学専攻及び経営工学専攻設置 印刷技術研究施設を印写工学研究施設と改称	大山 義年(1962年8月)
1965年	4. 1	酵素化学研究施設を天然物化学研究施設と改称 理工学部に電子物理工学科設置 大学院理工学研究科に応用物理学専攻設置	

歴史

年	月日	沿革	歴代校長・学長
1966年	4. 1	理工学部にて社会工学科設置 大学院理工学研究科に生産機械工学専攻設置	實吉 純一(1966年8月)
1967年	4. 1 6. 1	理工学部にて機械物理工学科設置 理工学部を理学部、工学部に分離、天然物化学研究施設は理学部に、 印写工学研究施設及び附属工業高等学校は工学部にそれぞれ附属	
1968年	4. 1	大学院理工学研究科に土木工学専攻設置	新波 忠夫(事務取扱)(1968年8月) 新波 忠夫(1968年10月)
1969年	3.31 4. 1	工業教員養成所廃止 大学院理工学研究科に電子物理工学専攻設置	
1970年	4. 1	理学部に情報科学科設置 工学部応用電気化学科を電気化学科と改称 大学院理工学研究科に社会工学専攻設置	加藤 六美(事務取扱)(1969年5月) 加藤 六美(1969年10月)
1971年	4. 1	工学部繊維工学科を有機材料工学科と改称。保健管理センター設置 大学院理工学研究科に機械物理工学専攻設置	
1972年	4. 1	大学院理工学研究科に物理情報工学専攻設置	川上 正光(1973年10月)
1973年	4. 1 4.27	教育学開発センター設置 大学院理工学研究科に電子化学専攻、社会開発工学専攻及び精密機械システム専攻設置 工学部化学工学科、合成化学科及び電気化学科を改組し化学工学科設置	
1974年	4. 1 4.11	工学部電気工学科、電子工学科及び電子物理工学科を改組し、新たに電気・電子工学科、 電子物理工学科及び情報工学科設置。 工学部附属印写工学研究施設を同附属情報工学研究施設と改称 大学院理工学研究科に情報科学専攻、材料科学専攻、電子システム専攻及び化学環境工学専攻設置 資源化学研究所に附属資源循環研究施設設置	
1975年	4. 1	大学院総合理工学研究科設置(既設の理工学研究科に置かれていた7専攻に加えて3専攻 (生命化学、エネルギー科学、システム科学)を新設し10専攻で発足)	齋藤 進六(1977年10月)
1976年	5. 1	総合情報処理センター設置。工業材料研究所に附属水熱合成材料実験施設設置	
1978年	4. 1 10. 1	大学院理工学研究科の電気工学専攻、電子工学専攻及び電子物理工学専攻を改組し、電気・電子工学専攻、電子物理工学専攻及び情報工学専攻設置 長津田地区に附属図書館長津田分館設置	齋藤 進六(1977年10月)
1979年	4. 1	長津田地区に総合理工学研究科等事務部を設置し、長津田地区の事務を一元化 理工学国際交流センター設置 大学院理工学研究科繊維工学専攻を有機材料工学専攻と改称	
1981年	4. 1	極低温エネルギー実験センター設置	松田 武彦(1981年10月)
1982年	4. 1	研究・情報交流センター設置	
1983年	4. 1	文教施設総合研究センター設置	
1984年	3.31 4. 1	工業材料研究所附属水熱合成材料実験施設廃止 工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設設置	田中 郁三(1985年10月)
1986年	4. 1	理学部附属天然物化学研究施設廃止 理学部に生命工学科、工学部に生物工学科設置	
1987年	4. 1	工学部電気・電子工学科及び電子物理工学科を改組し、新たに電気・電子工学科及び電子物理工学科設置	末松 安晴(1989年10月)
1988年	4. 1 4. 8	理学部に生体機構学、工学部に生体分子工学科設置 留学生教育センター及び草津白根火山観測所設置 工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設を廃止し、同附属セラミックス研究センター設置	
1989年	5.29	遺伝子実験施設設置	末松 安晴(1989年10月)
1990年	4. 1 6.19	大学院理工学研究科に生命理学専攻及び生命工学専攻設置 生命工学科設置 (理学部の生命工学科及び生体機構学並びに工学部の生物工学科及び生体分子工学科を振替)	
1991年	3.31 4. 1 4.12	極低温エネルギー実験センター廃止 大学院総合理工学研究科生命化学専攻を知能科学専攻と改称 極低温システム研究センター設置	
1992年	4. 1 4.10	大学院生命理工学研究科設置(大学院理工学研究科の生命理学専攻及び生命工学専攻を振替、バイオサイエンス及びバイオテクノロジーの2専攻) 炭素循環素材研究センター設置。理学部に地球・惑星科学科設置	木村 孟(1993年10月)
1993年	4. 1	大学院総合理工学研究科に環境物理工学専攻設置 工学部機械工学科、生産機械工学科、機械物理工学科、制御工学科及び経営工学科を改組し、機械科学科、 機械知能システム学、機械宇宙学、制御システム工学科及び経営システム工学科設置 文教施設総合研究センターを廃止し、文教施設研究開発センター設置	
1994年	4. 1 6.24	大学院情報理工学研究科設置(大学院理工学研究科の情報工学専攻及び情報科学専攻を振替、数理・計算科学、計算工学及び情報環境学の3専攻) 留学生教育センターを廃止し、留学生センター設置 量子効果エレクトロニクス研究センター及び生物実験センター設置	木村 孟(1993年10月)
1995年	4. 1	大学院総合理工学研究科の社会開発工学及びエネルギー科学専攻を改組し、 人間環境システム及び創造エネルギー専攻設置 工学部化学工学科、機械科学科、電子物理工学科及び土木工学科を改組し、化学工学科、機械科学科、 電子物理工学科、土木工学科及び開発システム工学科設置	
1996年	4. 1 5.11	大学院社会理工学研究科設置(大学院理工学研究科の社会工学専攻及び経営工学専攻を振替、人間行動システム、価値システム、経営工学及び社会学の4専攻) 大学院理工学研究科に地球惑星科学専攻設置 大学院総合理工学研究科の知能科学及びシステム科学専攻を改組し、知能システム科学専攻設置 理学部地球・惑星科学科を地球惑星科学科改称 外国語研究教育センター設置 工業材料研究所を改組し、応用セラミックス研究所設置 工業材料研究所附属セラミックス研究センターを改組し、応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センター設置	

年	月 日	沿 革	歴代校長・学長
1997年	4. 1	アイソトープ総合センター設置 大学院総合理工学研究科の電子化学及び材料科学専攻を改組し、物質電子化学、 材料物理科学及び物質科学創造専攻設置	内藤 喜之(1997年10月)
1998年	4. 1	大学院理工学研究科の数学、物理学、化学、応用物理学、地球惑星科学、金属工学(一部)、 有機材料工学(一部)、無機材料工学(一部)、化学工学(一部)及び高分子工学専攻(一部)を改組し、数学、 基礎物理学、物性物理学、化学、地球惑星科学及び物質科学専攻を設置 大学院総合理工学研究科の化学環境工学及び環境物理工学専攻を改組し、 化学環境学及び環境理工学創造専攻を設置 理学部数学科、物理学科、化学科、応用物理学科、情報科学科及び地球惑星科学科を改組し、 数学科、物理学科、化学科、情報科学科及び地球惑星科学科を設置	
	5. 9	研究・情報交流センターを廃止し、フロンティア創造共同研究センターを設置	
1999年	4. 1	理財工学研究センター設置 大学院理工学研究科に国際開発工学専攻を設置し、金属工学、有機材料工学、無機材料工学、 化学工学及び高分子工学専攻を改組し、材料工学、有機・高分子物質、応用化学及び化学工学専攻を設置 大学院生命理工学研究科のバイオサイエンス(一部)及びバイオテクノロジー専攻(一部)を改組し、分子生命科学、 生命情報及び生体分子機能工学専攻を設置 大学院総合理工学研究科の物理情報工学及び電子システム専攻を改組し、 物理情報システム創造及び電子機能システム専攻を設置 生命理工学部生命理学科、生体機構工学科、生物工学科及び生体分子工学科を改組し、 生命科学科及び生命工学科を設置	
2000年	4. 1	草津白根火山観測所を廃止し、火山流体研究センターを設置 大学院理工学研究科機械工学、生産機械工学、機械物理工学、制御工学、電気・電子工学、電子物理工学、 土木工学及び建築学専攻を改組し、機械物理工学、機械制御システム、機械宇宙システム、電気電子工学、 電子物理工学、集積システム、土木工学及び建築学専攻を設置 像情報工学研究施設を工学部附属施設から大学院理工学研究科附属施設へ移行 大学院生命理工学研究科バイオサイエンス及びバイオテクノロジー専攻を改組し、 生体システム及び生体プロセス専攻を設置 工学部電気・電子工学科、電子物理工学科及び情報工学科を改組し、電気電子工学科及び情報工学科を設置 精密工学研究所に附属マイクロシステム研究センター設置 副学長制度を導入し、副学長(教育担当)及び副学長(研究担当)を設置	
2001年	4. 1	総合情報処理センター及び理工学国際交流センターを廃止し、学術国際情報センターを設置 極低温システム研究センターを廃止し、極低温物性研究センターを設置	
	5.25	長津田キャンパスをすずかけ台キャンパスと改称 附属図書館長津田分館をすずかけ台分館と改称	
	11. 5	研究戦略室を設置	
2002年	4. 1	炭素循環素材研究センターを廃止し、炭素循環エネルギー研究センターを設置 総合理工学研究科等事務部をすずかけ台地区事務部と改称 評価室及び国際室を設置	
	10. 1	総合安全管理センター及び広報・社会連携センターを設置	
2003年	4. 1	文教施設研究開発センターを廃止し、教育環境創造研究センターを設置 遺伝子実験施設、生物実験センター及びアイソトープ総合センターを廃止し、 バイオ研究基盤支援総合センターを設置	
	5.15	大学院総合理工学研究科精密機械システム専攻をメカノマイクロ工学専攻と改称	
	9. 1	教育推進室を設置	
	9. 5	都市地震工学センターを設置 産学連携推進本部を設置	
2004年	4. 1	国立大学法人東京工業大学設立 量子効果エレクトロニクス研究センターを廃止し、量子ナノエレクトロニクス研究センターを設置 企画室及び財務管理室を設置	
2005年	4. 1	大学院イノベーションマネジメント研究科設置(技術経営及びイノベーションの2専攻) 工学部附属工業高等学校を改組し、大学附属科学技術高等学校を設置 理財工学研究センター(学内共同研究教育施設)を廃止し、理財工学研究センター(共通施設)を設置、 大規模知識資源センター、インスティテューショナル技術経営学研究センター、量子ナノ物理学研究センター、 バイオフロンティアセンター、エージェントベース社会システム科学研究センター、分子理工学センター、 地球史研究センター、ものづくり教育研究支援センターを設置 大学院総合理工学研究科物理情報システム創造専攻及び電子機能システム専攻を改組し、 物理電子システム創造専攻及び物理情報システム専攻を設置 先進ナノマテリアル研究センターを設置	相澤 益男(2001年10月)
	9. 1	統合研究院を設置	
2006年	1. 1	革新的原子力研究センターを設置	
	4. 1	応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センターを廃止し、応用セラミックス研究所附属セキュアマテリアル 研究センターを設置 スーパーメカノシステム創造開発センター、学生支援センター、世界文明センターを設置 7. 1 Global Edge 研究院を設置 12.15 集積光電子工学研究センターを設置	
2007年	4. 1	入試室、技術部を設置 工学部土木工学科を土木・環境工学科と改称 情報基盤統括室を設置	伊賀 健一(2007年10月)
	10.12	広報・社会連携センターを廃止し、広報センター及び社会連携センターを設置	
	10.24	経営戦略室を設置	
	11. 1	フロンティア創造研究センター、総合研究館、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー及び インキュベーションセンターを統合し、フロンティア研究センターを設置	

歴史

年	月日	沿革	歴代校長・学長
2008年	4. 1	精密工学研究所セキュアデバイス研究センターを設置 工学部開発システム工学科を国際開発工学科と改称 太陽光発電システム研究センターを設置 情報系教育研究機構を設置	伊賀 健一(2007年10月)
	5. 1	アジア・アフリカ生物多様性・バイオテクノロジー研究センターを設置	
	7. 1	男女共同参画推進センターを設置 プロダクティブリーダー養成機構を設置	
	10.17	創立130周年事業統括本部を設置	
	11.21	計算世界観研究センターを設置	
2009年	3. 6	東工大蔵前会館を設置	
	4. 1	多元学術融合エネルギー研究センターを設置 社会人教育院を設置 アーカイブ推進機構を設置	
	5. 8	大学マネジメントセンターを設置	
	8.19	総合プロジェクト支援センターを設置	
	11. 1	多元学術融合エネルギー研究センターを廃止し、環境エネルギー機構を設置	
2010年	4. 1	精密工学研究所附属マイクロシステム研究センターを廃止し、同附属フォトニクス集積システム研究センターを設置 原子炉工学研究所に附属原子力国際共同研究センターを設置 大学院理工学研究科附属像情報工学研究施設を廃止し、像情報工学研究所を設置 フロンティア研究センターを廃止し、フロンティア研究機構を設置 ソリューション研究機構を設置 炭素循環エネルギー研究センター(学内共同研究教育施設)を廃止し、炭素循環エネルギー研究センター(共通施設)を設置 先進教育研究機構を設置 浸透圧発電研究センターを設置 大規模知識資源センターを廃止 統合研究院を廃止し、統合研究院を設置	
	10. 1	省エネルギー推進室を設置	
	11. 1	極低温物性研究センター(学内共同研究教育施設)を廃止し、極低温物性研究センター(共通施設)を設置 ライフ・エンジニアリング機構を設置 経営戦略室を廃止	
	1. 7	リベラルアーツセンターを設置	
	4. 1	教育工学開発センター(学内共同研究教育施設)を廃止し、教育工学開発センター(共通施設)を設置 地球データベースセンターを設置 異種機能集積研究センターを設置 百年記念館を廃止し、博物館を設置 総合分析支援センターを廃止 グローバルリーダー教育院を設置	
	8. 1	大学情報活用センターを設置	
	10. 1	バイオ研究基盤支援総合センターの一部を改組し、放射線総合センターを設置	
	12. 7	アドミッションセンターを設置 環境エネルギー協創教育院を設置 情報生命博士教育院を設置 グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院を設置	
	2012年	4. 1	先進ナノマテリアル研究センターを廃止 集積光電子工学研究センターを廃止 アーカイブ推進機構を廃止

諸事項の変遷

2012年5月1日現在

区分	学部		大学院				土地 (m ²)	建物 (m ²)	蔵書数 (冊)
	入学定員	卒業生数 (人)	修士課程		博士後期課程				
			入学定員(人)	修了生数(人)	入学定員(人)	修了生数(人)			
1929	150	0					3,834	21,525	
1940	252	178					262,902	51,848	
1945	400	358					293,345	72,555	
1950	旧制 460	392					312,211	58,499	92,925
	新制 300								
1955	355	335	135	37	68		309,514	71,114	111,173
1960	505	387	145	44	73	12	309,484	78,581	145,107
1965	705	590	213	205	87	37	308,737	111,166	200,208
1970	895	773	294	348	149	72	484,515	146,473	284,677
1975	774	790	617	512	205	68	510,683	185,309	360,499
1980	774	775	643	613	248	91	529,515	245,791	444,765
1985	836	776	665	694	250	86	531,848	261,968	538,884
1990	1,182	1,107	720	840	250	139	533,242	277,672	647,330
1995	1,317	1,282	908	1,154	331	253	535,239	319,404	750,172
2000	1,068	1,237	1,290	1,488	534	349	534,728	362,769	858,316
2005	1,068	1,175	1,322(30)	1,633	543	382	566,366	428,492	904,293
2006	1,068	1,188	1,322(30)	1,671	543	370	566,544	430,079	771,003
2007	1,068	1,161	1,322(30)	1,677	543	387	566,544	430,171	774,552
2008	1,068	1,168	1,322(30)	1,648	543	387	566,605	439,433	774,712
2009	1,068	1,128	1,327(35)	1,546	546	384	566,605	447,714	780,421
2010	1,068	1,130	1,327(35)	1,726	546	338	567,688	474,202	793,390
2011	1,068	1,164	1,584(40)	1,667	567	396	568,538	468,770	801,345

役員等紹介

2012年10月現在

役員

学長	三島 良直
理事・副学長(企画・人事)	岡田 清
理事・副学長(教育・国際)	丸山 俊夫
理事・副学長(研究)	辰巳 敬
理事・副学長(財務・広報)	大谷 清
監事	清水 康敬
監事	鈴木 基之

副学長

副学長(総務)	山田 道夫
副学長(人権)	塚本まみ子
副学長(教育運営)	水本 哲弥
副学長(安全・コンプライアンス)	植松 友彦
副学長(特命)	丸山 剛司

経営協議会構成員

日本女子大学理事長・学長	蟻川 芳子
東京電機大学監事	工藤 智規
独立行政法人国立高等専門学校機構理事長	小畑 秀文
(株)日立製作所相談役 一般社団法人蔵前工業会理事長	庄山 悦彦
千代田化工建設(株)相談役 (株)東芝研究開発センター首席技監	関 誠夫
一般社団法人蔵前工業会理事	土井美和子
元日本放送協会会長	中島 邦雄
学長	橋本 元一
理事・副学長(企画・人事)	三島 良直
理事・副学長(教育・国際)	岡田 清
理事・副学長(研究)	丸山 俊夫
理事・副学長(財務・広報)	辰巳 敬
大学院社会理工学研究科教授	大谷 清
大学院生命理工学研究科教授	圓川 隆夫
副学長・事務局長	広瀬 茂久 山田 道夫

教育研究評議会構成員

学長	三島 良直
理事・副学長(企画・人事)	岡田 清
理事・副学長(教育・国際)	丸山 俊夫
理事・副学長(研究)	辰巳 敬
理事・副学長(財務・広報)	大谷 清
大学院理工学研究科理学系長	西森 秀稔
大学院理工学研究科工学系長	岸本喜久雄
大学院生命理工学研究科長	関根 光雄
大学院総合理工学研究科長	内川 惠二
大学院情報理工学研究科長	小島 定吉
大学院社会理工学研究科長	飯島 淳一
大学院イノベーションマネジメント 研究科長事務取扱	田辺 孝二
理学部長	西森 秀稔
工学部長	岸本喜久雄
生命理工学部長	関根 光雄
資源化学研究所長	種田 宗隆
精密工学研究所長	佐藤 誠
応用セラミックス研究所長	林 静雄
原子炉工学研究所長	有富 正憲
大学院理工学研究科理学系教授	高橋 栄一
同	岡田 哲男
大学院理工学研究科工学系教授	植松 友彦
同	佐藤 勲
大学院生命理工学研究科教授	中村 聡
同	喜多村直美
大学院総合理工学研究科教授	小田原 修
同	堀田 栄喜
大学院情報理工学研究科教授	木村 康治
同	米崎 直樹
大学院社会理工学研究科教授	桑子 敏雄
同	中井 俊裕
学術国際情報センター教授	山口しのぶ

学長選考会議構成員

日本女子大学理事長・学長	蟻川 芳子
(株)日立製作所相談役 一般社団法人蔵前工業会理事長	庄山 悦彦
千代田化工建設(株)相談役 一般社団法人蔵前工業会理事	関 誠夫
元日本放送協会会長	中島 邦雄
大学院理工学研究科理学系長	橋本 元一
大学院理工学研究科工学系教授	西森 秀稔
大学院生命理工学研究科長	佐藤 勲
大学院社会理工学研究科長	関根 光雄
精密工学研究所長	飯島 淳一
理事・副学長	佐藤 誠 岡田 清

部局長等

大学院理工学研究科長	岸本喜久雄
大学院理工学研究科理学系長	西森 秀稔
大学院理工学研究科工学系長	岸本喜久雄
大学院生命理工学研究科長	関根 光雄
大学院総合理工学研究科長	内川 惠二
大学院情報理工学研究科長	小島 定吉
大学院社会理工学研究科長	飯島 淳一
大学院イノベーションマネジメント 研究科長事務取扱	田辺 孝二
理学部長	西森 秀稔
工学部長	岸本喜久雄
生命理工学部長	関根 光雄
資源化学研究所長	種田 宗隆
精密工学研究所長	佐藤 誠
応用セラミックス研究所長	林 静雄
原子炉工学研究所長	有富 正憲
附属図書館長	宮内 敏雄
附属科学技術高等学校長	大即 信明
技術部長	伊東 利哉

事務系役職者

事務局長	山田 道夫
総務部長	小島 浩孝
総務課長	松本 胤明
人事課長	平井 陽子
評価・広報課長	藤掛 亨祐
事務情報企画課長	田中 昇
130年事業事務室長	(兼) 橋本 美克
財務部長	坂口 広志
主計課長	倉本 光正
経理課長	稲田 一弘
契約課長	滝澤 重道
国際部長	金子 忠利
国際連携課長	塚田 由佳
留学生交流課長	青木 彰
国際事業課長	(兼) 塚田 由佳
学務部長	江澤 治正
教務課長	延 善洋
学生支援課長	秋友 豊香
入試課長	古谷 時夫
リーディング大学院支援室長	(兼) 江澤 治正
研究推進部長	西山 和徳
研究企画課長	竹田 和彦
研究資金管理課長	佐藤 千裕
産学連携課長	関根 直子
情報図書館課長	小川 聡
情報基盤課長	坂本 朝治
施設運営部長	佐藤 政弘
施設総合企画課長	京田 昭男
施設安全企画課長	安達 元英
施設整備課長	鈴木 久雄
すずかけ台地区事務部長	戸村 和弘
総務課長	馬島 紀子
会計課長	川村二三夫
学務課長	草薨 久男
大岡山第一事務区事務長	寺島 雄二
大岡山第二事務区事務長	篠原 岩雄
田町地区事務区事務長	園和 茂仁
事務局参事	橋本 美克



ACCESS

[大岡山キャンパス]

東急大井町線・目黒線 大岡山駅下車徒歩1分
羽田空港から約45分、東京駅から約30分

[すすかけ台キャンパス]

東急田園都市線 すすかけ台駅下車徒歩5分
羽田空港から約70分、東京駅から約55分

[田町キャンパス]

JR山手線・京浜東北線 田町駅下車徒歩1分
羽田空港から約25分、東京駅から約10分

国立大学法人東京工業大学 広報センター

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 tel: 03-5734-2975 fax: 03-5734-3661 <http://www.titech.ac.jp/>

2012年11月発行 ©2012 東京工業大学